

集合住宅用セキュリティシステム デジタルペア線式マンションシステム(アギーオ)用

中央制御装置VG-C101DA用

棟用

↑
大規模展開した場合
に記入管理する

1 プログラム表の作成と登録

2 プログラム登録(変更)マニュアル

様	年	月	日	設定者
---	---	---	---	-----

工事をなさる方へのお願い

住戸番号は、室内親機側の自動登録方式で登録・変更が可能です。(11頁参照)

条件： 室内親機と制御装置間の接続配線完了のこと。

制御装置のプログラムボードにより、プログラム番号90、11～18の設定が正しく行われていること。

室内親機、制御装置にAC電源が供給されていること。

制御装置のプログラムボードは、運用側であること。

(設定側では、住戸番号の自動登録不可。)

制御装置のプログラムボードによる住戸番号の登録設定は不要です。

住戸番号以外のプログラム設定は、制御装置側のプログラムボードにより設定します。)

室内親機は、住戸番号の自動登録可能タイプであること。

(自動登録可能タイプでない場合、制御装置のプログラムボードで行います。)

室内親機のハンドセットは、かけた状態であること。

セキュリティが作動していないこと。

変換器にアドレス設定は不要です。

但し、共用部機器に接続するか住戸機器に接続するかを変換器内部のSW1にて設定してください。

本書は、プログラム設定記録保存用としてご使用願います。

- ・工事完了後、動作テスト確認、仕様の変更(プログラム変更登録) 経歴、各種検査、定期点検、増改築工事等の際に必要な為、保管願います。

OLCユニットの実装状態に合わせてプログラム番号90を速やかに設定してください。

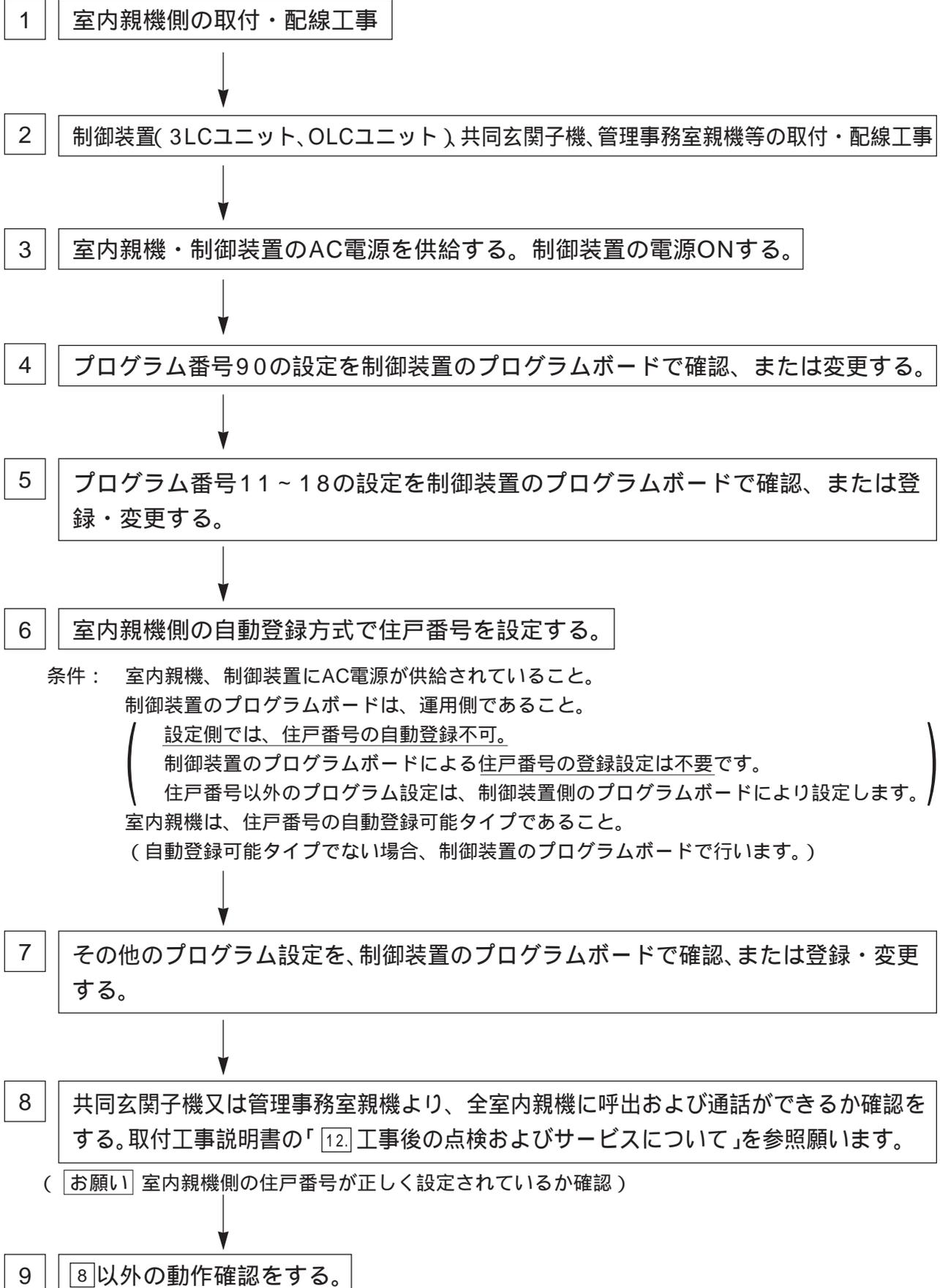
設定内容と実装状態が異なる場合、制御装置が定期的にはリセットされ設定ができない場合があります。

又、システムは停止状態となります。

具体的なプログラム設定の方法は、51頁の「**2** プログラム登録(変更)マニュアル」を参照願います。

工事をなさる方へのお願い

下記フローチャートにしたがい、取付工事を行ってください。



目 次

プログラム設定の具体的な方法は、51頁以降の「**2** プログラム登録（変更）マニュアル」を参照願います。

項 目		頁	
プログラム番号一覧		4～8	
住戸番号表の作成		9～10	
住戸番号の登録方法		11～12	
住戸番号表 1系統目～8系統目		13～20	
プログラム番号表	プログラム番号 00	(設定不要)	21
	プログラム番号 02	一斉放送有り/無し設定	21
	プログラム番号 03	警報音停止有り/無し設定	22
	プログラム番号 04	共同玄関子機1～8の接続系統番号設定	22
	プログラム番号 05	管理事務室親機1～8の接続系統番号設定	23
	プログラム番号 07	住戸からの管理事務室呼出規制有り/無し設定	23
	プログラム番号 08	管理事務室親機からの通信異常情報出力有り/無し設定	23
	プログラム番号 09	共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定	24
	プログラム番号 10	管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り/無し設定	24
	プログラム番号 11～18	系統別LC1～8が管理する棟番号設定	25～26
	プログラム番号 19	各種同時接続本数設定	27～28
	プログラム番号 20	LC1～8が管理する棟のアナログ映像ライン設定	29
	プログラム番号 21～28	共同玄関子機1～8が属する棟番号設定	30
	プログラム番号 30	管理事務室親機グループ着信有り/無し設定	30
	プログラム番号 31～38	管理事務室親機1～8が管理する棟番号設定	31
	プログラム番号 40	暗証番号2の種別設定	32
	プログラム番号 41～48	共同玄関子機1～8の電気錠暗証番号1、2設定	33
	プログラム番号 50	(設定不要)	33
	プログラム番号 51～58	共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間帯1、2設定	34
	プログラム番号 60	年月日(日付の)設定	35
	プログラム番号 61	時分秒(時刻の)設定	35
	プログラム番号 63	監視カメラ映像最大接続時間設定	36
	プログラム番号 64	共用部通話最大接続時間設定	36
	プログラム番号 65	住戸間通話最大接続時間設定	36
	プログラム番号 66	ガス断線発報の有り/無し設定	36
	プログラム番号 67	(設定不要)	36
	プログラム番号 68	報知音鳴動時間帯設定	36
	プログラム番号 69	(設定不要)	36
	プログラム番号 71～78	共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間設定	37
	プログラム番号 80	(設定不要)	37
	プログラム番号 81	集住映像伝送アダプター1～8の接続系統番号設定	38
	プログラム番号 82	(設定不要)	39
	プログラム番号 83	監視カメラ1～8の連動指定設定	39
	プログラム番号 84	管理事務室親機1～8のモニター連動指定設定	40
	プログラム番号 90	OLCユニット実装/未実装設定	41
	プログラム番号 91	集中制御装置の接続系統番号設定	41
	プログラム番号 92	アダプター1～8の接続系統番号設定	42
	プログラム番号 93	一斉放送の音量調整設定	42
	プログラム番号 94	(設定不要)	42
	プログラム番号 100	プログラムボードからの住戸番号登録許可/禁止設定	43
	プログラム番号 101～864	LC1～8に接続された室内親機の住戸番号の 確認 /設定	44
	プログラム番号 900～973	セキュリティ機能付室内親機のセキュリティパターン 1 , 2 , 3 , 4 の設定	45～48
プログラム番号 1000	IPLC1～8の接続系統番号設定	49	
プログラム番号 1001	FTPサーバーのIPアドレス設定	50	
プログラム番号 1002	デフォルトゲートウェイのIPアドレス設定	50	
プログラム番号 1003	サブネットマスク設定	50	
プログラム番号 1004	ログインアカウント設定	50	
プログラム番号 1005	ログインパスワード設定	50	

プログラム番号一覧

一覧表上の印の意味は以下の通りです

印：管理事務室親機のダイヤルにより設定可能な項目

印：管理事務室親機の「メニュー」ボタンにより設定可能な項目

または 印のないプログラムは中央制御装置で設定します。

印：VG-M369FA以降の機種に有効

カラーモニター室内親機の場合、セキュリティパターンは無効

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
00		【空白】-	設定しないでください
02	一斉放送有り/無し	【0】無し	【1】一斉有り【2】一斉、フロア一斉有り
03	警報音停止有り/無し	【0】無し	【1】有り(除く火災、ガス、非常)
04	1 共同玄関1 接続系統番号	【1】1系統	【1~8】接続系統番号 【空白】未接続
	2 " 2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 " 8 "	【空白】未設定	
05	1 管理事務室親機1 接続系統番号	【1】1系統	【1~8】接続系統番号 【空白】未接続
	2 " 2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 " 8 "	【空白】未設定	
07	住戸からの管理事務室呼出規制有り/無し	【0】無し	【1】有り
08	管理事務室親機からの通信異常情報出力有り/無し	【0】無し	【1】有り
09	共同玄関のセキュリティによる解錠有り/無し	【0】無し	【0】無し【1】火災【2】ガス【3】火災ガス
10	管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り/無し	【0】無し	【1】有り
11	LC1が管理する棟番号	【00】全棟指定	【00】全棟指定
12	LC2 "	【00】全棟指定	【01~98】棟指定
13	LC3 "	【空白】未設定	【空白】未実装時、または未接続 プログラム番号11(LC1)は未 設定【空白】にできません
14	LC4 "	【空白】未設定	
15	LC5 "	【空白】未設定	
16	LC6 "	【空白】未設定	
17	LC7 "	【空白】未設定	
18	LC8 "	【空白】未設定	
19	1 映像付き共同玄関同時接続本数	【2】2本	【0~2】本数
	2 監視カメラ映像同時接続本数	【6】6本	【0~6】本数
	3 映像なし通話同時接続本数	【3】3本	【0~3】本数
	4 IP接続データ上り同時接続本数	【2】2本	【0~2】本数

注1) 室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別に一斉放送はできません。

お願い (1) OLCユニットの実装状態に合わせてプログラム番号90を速やかに設定してください。
設定内容と実装状態が異なる場合、制御装置が定期的のリセットされ設定ができない場合があります。又、システムは停止状態となります。

(2) 住戸番号は、本説明書の住戸番号表の作成 および住戸番号表に記入して管理してください。
室内親機の機種によりプログラム番号100を設定します。

室内親機の種類	プログラム番号100の設定	プログラムボードによる住戸番号設定
住戸番号の自動登録タイプ： VL-M366FA、VG-M369FA、VL-M366LX VL-M367FA、VJ-M368FA、VG-M371FA VG-J372FA、VG-M373A、VL-M367LMA VG-M376D、VG-M377D	0(不可) 出荷時	不要
上記以外のタイプ：VL-365C	1(可)	必要

(3) 同梱の取付工事説明書と本説明書は、仕様の変更(プログラム変更登録)および経歴、各種検査、定期点検、増改築工事等の際に必要な為、中央制御装置の近くに保管願います。

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
20	1 LC1が管理する棟のアナログ映像ライン	【000】未使用	【000】アナログ映像未使用
	{ }	【000】未使用	【100】アナログ映像使用
	8 LC8 "	【000】未使用	
21	共同玄関1が属する棟番号	【00】全棟指定	【00】全棟指定
22	" 2 "	【00】全棟指定	【01～98】棟指定
23	" 3 "	【00】全棟指定	未設定【空白】にしないでください
24	" 4 "	【00】全棟指定	全棟または1つの棟を指定
25	" 5 "	【00】全棟指定	
26	" 6 "	【00】全棟指定	
27	" 7 "	【00】全棟指定	
28	" 8 "	【00】全棟指定	
30	管理事務室親機グループ着信有り/無し	【0】無し	【1】有り:グループ着信設定時、不在転送機能は無効
31	1 管理事務室親機1が管理する棟番号	【00】全棟管理	【00】全棟管理
	2 "	【空白】未設定	【01～98】棟指定管理
	{ }	【空白】未設定	【空白】未設定
	8 "	【空白】未設定	サブ項目1～8全てを未設定にしないでください。
32	1 管理事務室親機2が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 "	【空白】未設定	
33	1 管理事務室親機3が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 "	【空白】未設定	
34	1 管理事務室親機4が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 "	【空白】未設定	
35	1 管理事務室親機5が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 "	【空白】未設定	
36	1 管理事務室親機6が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 "	【空白】未設定	
37	1 管理事務室親機7が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 "	【空白】未設定	
38	1 管理事務室親機8が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 "	【空白】未設定	
40	暗証番号2の種別	【0】住戸用	【1】業者用 *1
41	1 共同玄関1の電気錠暗証番号1	【空白】未設定	【0000～9999】暗証番号
	2 " 2	【空白】未設定	【空白】未登録
42	1 共同玄関2の電気錠暗証番号1	【空白】未設定	
	2 " 2	【空白】未設定	

*1: 住戸用【0】に設定するとプログラム番号51～58の解錠時間帯で解錠状態になり、業者用【1】に設定するとプログラム番号51～58の解錠時間帯で解錠状態にならず、業者用の暗証番号(暗証番号2)で解錠可能有効時間帯となります。

プログラム番号	設定内容	初期値	備考	
43	1 共同玄関3の電気錠暗証番号1	【空白】未設定	【0000～9999】暗証番号 【空白】未登録	
	2 " 2	【空白】未設定		
44	1 共同玄関4の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
45	1 共同玄関5の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
46	1 共同玄関6の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
47	1 共同玄関7の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
48	1 共同玄関8の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
50		【0】		設定しないでください
51	1 共同玄関1の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		【0000～2359】-【0000～2359】 解錠時間帯1（住戸用） 暗証番号2の有効時間1（業務用） 【空白】未登録
	2 " 2	【空白】未設定		
52	1 共同玄関2の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定	同上 備考）住戸用、業務用はプログラム番号 40で指定する	
	2 " 2	【空白】未設定		
53	1 共同玄関3の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
54	1 共同玄関4の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
55	1 共同玄関5の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
56	1 共同玄関6の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
57	1 共同玄関7の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
58	1 共同玄関8の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
60	年月日設定	【010101】01年1月1日	【YYMMDD】YY年MM月DD日	
61	時分秒設定	【000000】0時0分0秒	【HHMMSS】HH時MM分SS秒	
63	監視カメラ映像最大接続時間	【30】30秒	【30～120】秒単位	
64	共用部通話最大接続時間	【03】3分	【01～10】分単位	
65	住戸間通話最大接続時間	【01】1分	【01～10】分単位	
66	ガス断発報有り/無し	【1】有り	【0】無し	
67		【03】	設定しないでください	
68	報知音鳴動時間帯	【0700-1900】 7時0分-19時0分	【0000～2359】-【0000～2359】鳴動時間帯 【空白】鳴動無し	
69		【空白】	設定しないでください	
71	共同玄関1の電気錠解錠時間	【15】15秒	【01～60】秒単位	
72	" 2 "	【15】15秒		
73	" 3 "	【15】15秒		

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
74	共同玄関4の電気錠解錠時間	【15】15秒	【01～60】秒単位
75	" 5 "	【15】15秒	
76	" 6 "	【15】15秒	
77	" 7 "	【15】15秒	
78	" 8 "	【15】15秒	
80		【0】	設定しないでください
81	1 集住映像伝送アダプター1 接続系統番号	【空白】未設定	【1～8】接続系統番号
	{ }	【空白】未設定	【空白】未接続
	8 " 8 "	【空白】未設定	
82	1	【0】	設定しないでください
	{ }	【0】	
	8	【0】	
83	1 監視カメラ1 連動指定	【空白】未設定	【11～84】連動指定
	{ }	【空白】未設定	上位の桁:集住映像伝送アダプターの機器番号 下位の桁:集住映像伝送アダプターの入力端子
	8 " 8 "	【空白】未設定	【空白】連動無し
84	1 管理事務室親機1 モニター連動指定	【空白】未設定	【11～84】連動指定
	{ }	【空白】未設定	上位の桁:集住映像伝送アダプターの機器番号 下位の桁:集住映像伝送アダプターの出力端子
	8 " 8 "	【空白】未設定	【空白】連動無し
90	OLCユニット実装/未実装 注意: <input type="checkbox"/> の(1)を参照願います	【0】未実装	【0】未実装 【1】実装
91	集中制御装置の接続系統番号	【空白】未設定	【1～8】接続系統番号、【空白】未接続
92	1 アダプター1 接続系統番号	【空白】未設定	【1～8】接続系統番号
	{ }	【空白】未設定	【空白】未接続
	8 " 8 "	【空白】未設定	
93	一斉放送の音量調整	【2】大	【1】中、【0】小
94		【0】	設定しないでください

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
100	プログラムボードからの住戸番号登録許可/禁止	【0】設定禁止	【0】設定禁止【1】登録許可
101～164	LC1に接続された室内親機の住戸番号の[確認]/設定	【空白】未設定	LC1-1～LC1-64
201～264	LC2に接続された室内親機の住戸番号の[確認]/設定	【空白】未設定	LC2-1～LC2-64
301～364	LC3に接続された室内親機の住戸番号の[確認]/設定	【空白】未設定	LC3-1～LC3-64
401～464	LC4に接続された室内親機の住戸番号の[確認]/設定	【空白】未設定	LC4-1～LC4-64
501～564	LC5に接続された室内親機の住戸番号の[確認]/設定	【空白】未設定	LC5-1～LC5-64
601～664	LC6に接続された室内親機の住戸番号の[確認]/設定	【空白】未設定	LC6-1～LC6-64
701～764	LC7に接続された室内親機の住戸番号の[確認]/設定	【空白】未設定	LC7-1～LC7-64
801～864	LC8に接続された室内親機の住戸番号の[確認]/設定	【空白】未設定	LC8-1～LC8-64
101～864 の内容	【101～9999】住戸番号(0000～0100)は、登録しないでください。 【1～4】セキュリティパターン 初期値は【1】		

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
900～913	住戸セキュリティ設定	下記参照	セキュリティパターン1
920～933	住戸セキュリティ設定		セキュリティパターン2
940～953	住戸セキュリティ設定		セキュリティパターン3
960～973	住戸セキュリティ設定		セキュリティパターン4
9×0	防犯玄関子機警報の有り/無し	【0】無し	【1】有り(移報遅延無)
9×1	防犯2のみ警報遅延(30/60秒)時間設定	【0】30秒	【1】60秒
9×2	防犯警報30秒自動停止の有り/無し	【0】無し	【1】有り
9×3	警報30分自動停止の有り/無し	【0】無し	【1】有り(除く火災、ガス、非常)
9×4	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し	【1】表示、警報有	【0】表示、警報無【2】表示のみ有
9×5	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し	【0】無し	【1】有り
9×6	トイレコールON時の移報遅延	【00】0秒	【00～60】移報遅延時間(秒)
9×7	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し	【0】無し	【1】有り
9×8	バスコールON時の移報遅延	【00】0秒	【00～60】移報遅延時間(秒)
9×9	火災確認時間	【2】2分	【2～5】火災断定時間(分)
9 0	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し	【0】無し	【1】有り(9×0防犯玄関子機警報有の時のみ有効)
9 1	バス・トイレSW対応種別	【0】ノンロック	【1】ロック(ロック:センサ連動)
9 2	家人呼びSWロック/ノンロック	【0】ロック	【1】ノンロック(ロック:センサ連動)
9 3	外部試験時テレコン移報出力(火災)有り/無し	【1】有り	【0】無し

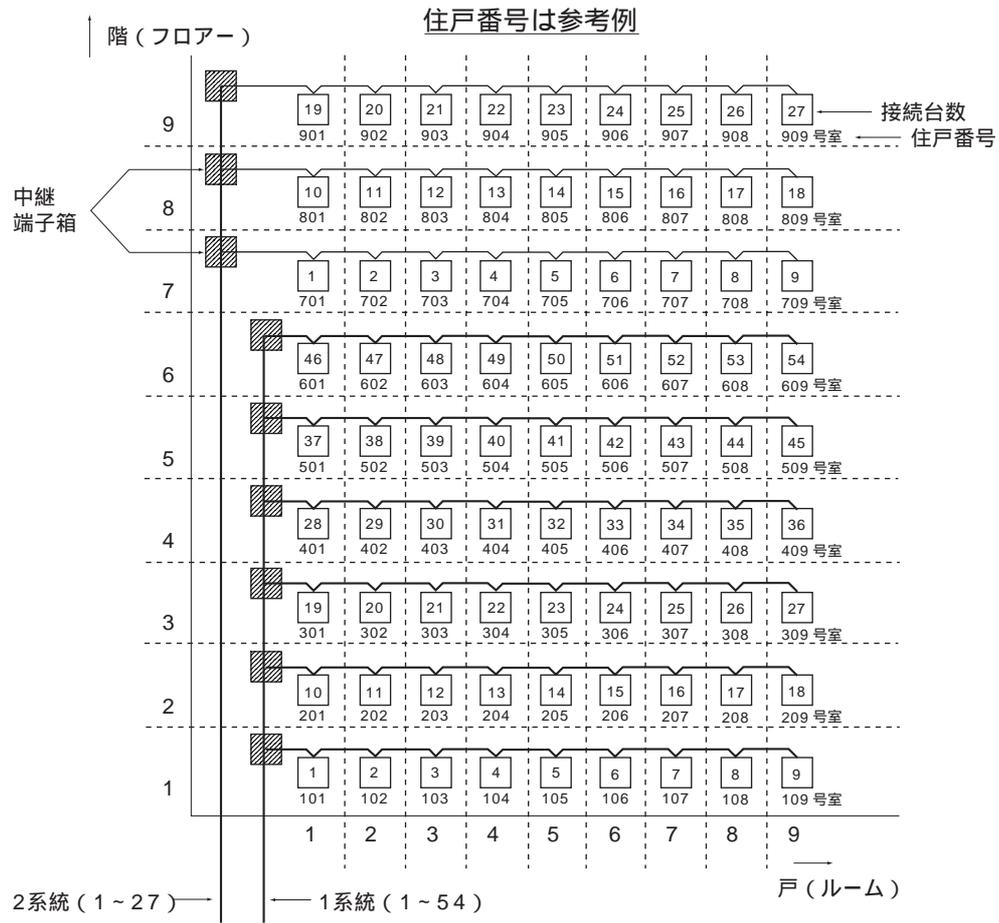
x : 0、2、4、6 : 1、3、5、7

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
1000	1 IPLC1 接続系統番号	【空白】未設定	【1～8】接続系統番号
	{ }	【空白】未設定	【空白】未接続
	8 " 8 "	【空白】未設定	
1001	FTPサーバーのIPアドレス	【192.168.000.100】 192.168.0.100	【xxx.xxx.xxx.xxx】 IPアドレス
1002	デフォルトゲートウェイのIPアドレス	【192.168.000.001】 192.168.0.1	【xxx.xxx.xxx.xxx】 IPアドレス
1003	サブネットマスク	【255.255.255.0】 255.255.255.0	【xxx.xxx.xxx.xxx】 サブネットマスク
1004	ログインアカウント	【12345678】 12345678	【0～99999999】アカウント
1005	ログインパスワード <u>本パスワード情報の管理には十分注意してください。</u>	【87654321】 87654321	【0～99999999】パスワード

住戸番号表の作成（室内親機側のみ住戸番号設定が必要）

お知らせ 住戸番号は、室内親機側の自動登録方式で登録設定します（11頁参照）

（例）9階×9戸……室内親機81台



住戸番号表（1系統目用）

プログラム番号 101-164

住戸番号が決まれば
↓
記入する

出荷時未設定

系統1	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号 [記入欄]	室内親機側の自動登録方式による登録・設定 [確認]	共同玄関子機と室内親機の動作 [確認]
	1	101	101		
	2	102	102		
	3	103	103		
	4	104	104		
	5	105	105		
	6	106	106		
	7	107	107		
	8	108	108		
	9	109	109		
	10	110	201		
	11	111	202		
	12	112	203		
	13	113	204		
LC1	14	114	205		
接続端子	15	115	206		
	50	150	605		
[1系統]	51	151	606		
	52	152	607		
	53	153	608		
	54	154	609		
	55	155			
	56	156			
	57	157			
	58	158			
	59	159			
	60	160			
	61	161			
	62	162			
	63	163			
	64	164			

ご注意

- ・1系統当たり室内親機は最大64台までです。
- ・共用部機器は、1～8系統いずれの系統にも接続可能ですが、1系統当たりの接続台数は共用部機器と室内親機の合計で最大64台までです。
（例）共用部機器接続台数が5台のときの室内親機の最大接続台数は59台となります。（64-5=59）
- また、1系統当たりの共用部機器と室内親機の合計接続可能台数は、配線条件により減ります。
（パターン5に該当の場合は最大32台）
- 詳細は取付工事説明書のパターン判別一覧、およびパターン判別フローを参照願います。

実際は1系統64台まで接続可能ですが、
フロー配線上、55台目を2系統の1台目にしました。

1系統 64台まで...1系統（1～54）

2系統 81-54=27台...2系統（1～27）

（住戸番号が決まれば
住戸番号表 [1系統目用] に記入）

（住戸番号が決まれば
住戸番号表 [2系統目用] に記入）

住戸番号表（2系統目用）

プログラム番号 201-264

住戸番号が決まれば
↓
記入する

出荷時未設定

系統2	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号 [記入欄]	室内親機側の自動登録方式による登録・設定 [確認]	共同玄関子機と室内親機の動作 [確認]
	1	201	701		
	2	202	702		
	3	203	703		
	4	204	704		
	5	205	705		
	6	206	706		
	7	207	707		
	8	208	708		
	9	209	709		
	10	210	801		
	11	211	802		
	12	212	803		
	13	213	804		
LC2	14	214	805		
接続端子	15	215	806		
[2系統]	16	216	807		
	17	217	808		
	18	218	809		
	19	219	901		
	20	220	902		
	21	221	903		
	22	222	904		
	23	223	905		
	24	224	906		
	25	225	907		
	26	226	908		
	27	227	909		
	28	228			
	29	229			
	30	230			
	31	231			
	32	232			

参考

系統目	接続台数	プログラムNo.	中央制御装置 接続端子名
1	1～64	101～164	1系統
2	1～64	201～264	2系統
3	1～64	301～364	3系統
4	1～64	401～464	4系統
5	1～64	501～564	5系統
6	1～64	601～664	6系統
7	1～64	701～764	7系統
8	1～64	801～864	8系統

ご注意

住戸番号は3桁または4桁のみ登録可能です。

住戸番号の登録方法

住戸番号は室内親機側の自動登録方式で登録設定が可能です。

- お知らせ** ・ 住戸番号の自動登録可能機種のみ、この機能があります。
・ 制御装置のプログラムボードからも住戸番号設定は可能です。

自動登録方式は、室内親機側の自動登録操作により、住戸番号を自動的に室内親機側と制御装置側（若い住戸番号順に並べ）に登録します。（制御装置のプログラムボードの設定モードが運用側の場合のみ住戸番号は登録されます。）

登録設定の条件： 室内親機と制御装置間の接続配線完了のこと。
制御装置のプログラムボードにより、プログラム番号90、11～18の設定が正しく行われていること。

室内親機、制御装置にAC電源が供給されていること。

制御装置のプログラムボードは、運用側であること。

（設定側では、住戸番号の自動登録不可。）

制御装置のプログラムボードによる住戸番号の登録設定は不要です。

住戸番号以外のプログラム設定は、制御装置側のプログラムボードにより設定します。）

室内親機は、住戸番号の自動登録可能タイプであること。

（自動登録可能タイプでない場合、制御装置のプログラムボードで行います。）

室内親機のハンドセットは、かけた状態であること。

セキュリティが作動していないこと。

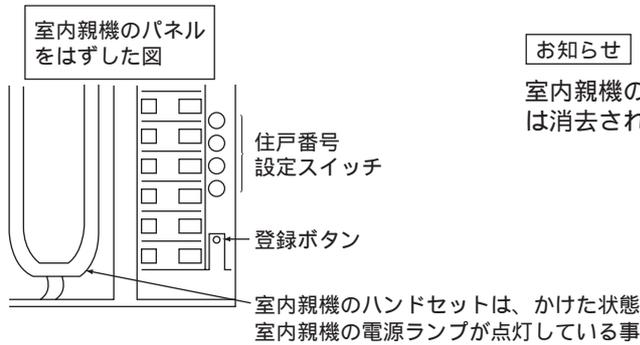
室内親機の種類	プログラム番号100の設定	プログラムボードによる住戸番号設定
住戸番号の自動登録タイプ： VL-M366FA、VG-M369FA、VL-M366LX VL-M367FA、VJ-M368FA、VG-M371FA VG-J372FA、VG-M373A、VL-M367LMA VG-M376D、VG-M377D	0（不可）出荷時	不 要
上記以外のタイプ：VL-365C等	1（可）	必 要

注意：電源投入、リセット入力、設定変更等を行なった後、1分間は、イニシャル処理のため自動登録ができないことがあります。1分以上経過後に自動登録してください。

注意：複数の室内親機で同時に登録ボタンを押すと自動登録ができないことがあります。各室内親機の自動登録は10秒以上の間隔をあけてください。

住戸番号を室内親機から自動登録方式で設定する手順

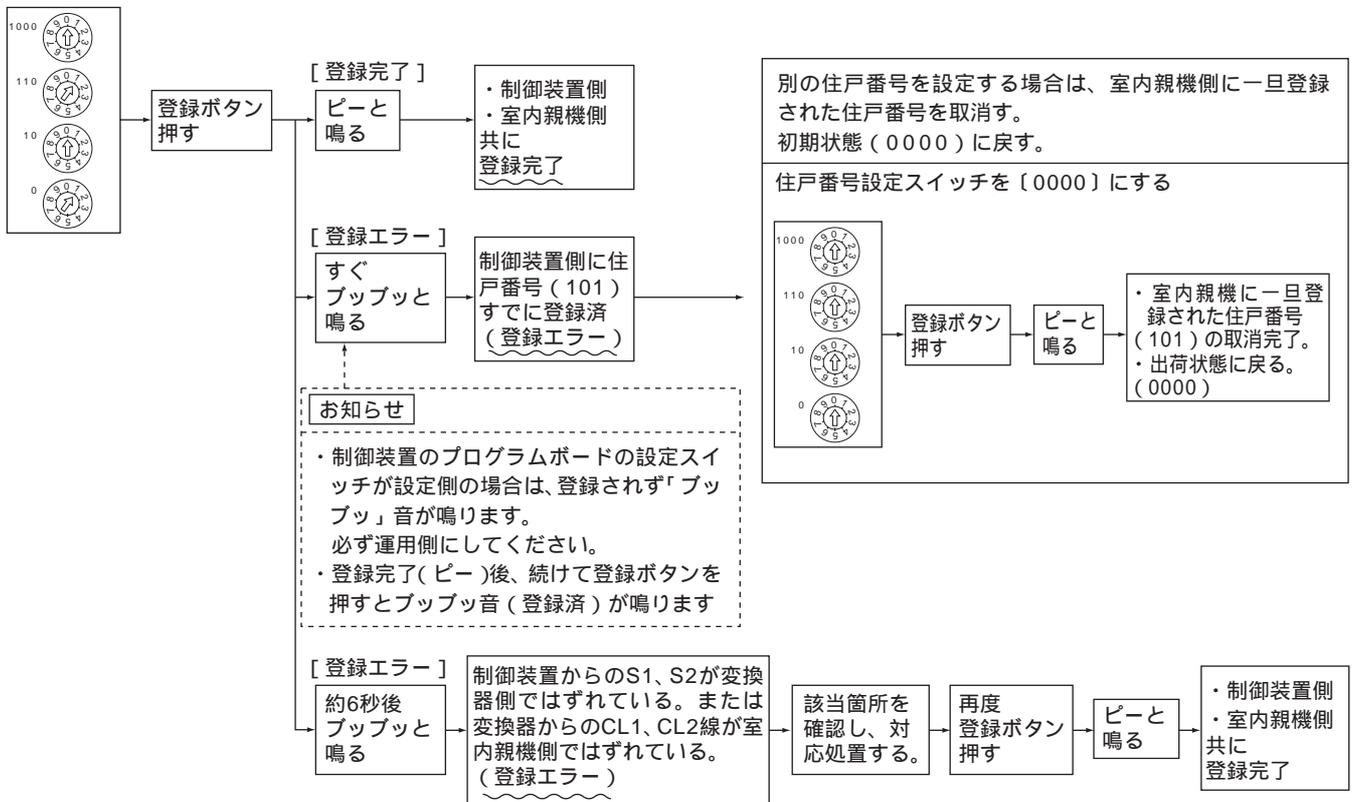
カラーモニター室内親機の自動登録方法は、取付工事説明書に記載のカラーモニター室内親機の「工事設定について」を参照願います。



住戸番号の設定

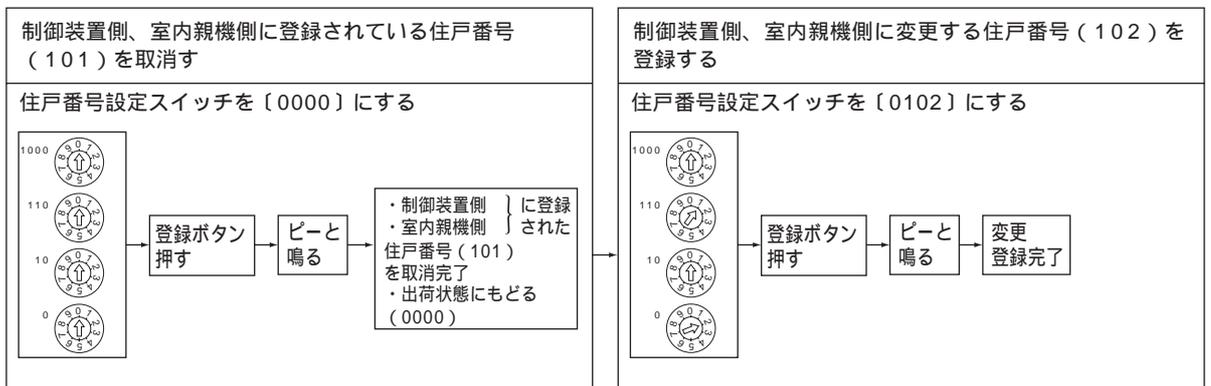
- 注意 中央制御装置の電源投入およびリセット後、1分以上経過した後に、自動登録してください。
- 注意 各室内親機の自動登録は10秒以上の間隔をあけてください。

(例) 101号室にする
住戸番号設定スイッチ〔0101〕



住戸番号の変更

(例) 101 102変更



住戸番号表 (1系統目、中央制御装置 VG-C101DAの接続端子 1系統)

プログラム番号 101 ~ 164

- お願い
- ・ 9 ~ 12頁の「住戸番号表の作成」および「住戸番号の登録方法」を参照し作成登録願います。
 - ・ 共用部機器の台数と合わせて64台までです。(また、配線条件により合計接続可能台数が減る場合があります。)

プログラム番号 101 ~ 164 ↓ 住戸番号が決まれば若番順に記入してください。

系統 1	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			セキュリティパターン	登録	確認
			記入欄	確認	確認
	1	101			
	2	102			
	3	103			
	4	104			
	5	105			
	6	106			
	7	107			
	8	108			
	9	109			
	10	110			
	11	111			
	12	112			
	13	113			
LC 1	14	114			
接続	15	115			
端子	16	116			
	17	117			
	18	118			
1系統	19	119			
	20	120			
	21	121			
	22	122			
	23	123			
	24	124			
	25	125			
	26	126			
	27	127			
	28	128			
	29	129			
	30	130			
	31	131			
	32	132			

系統 1	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			セキュリティパターン	登録	確認
			記入欄	確認	確認
	33	133			
	34	134			
	35	135			
	36	136			
	37	137			
	38	138			
	39	139			
	40	140			
	41	141			
	42	142			
	43	143			
	44	144			
	45	145			
LC 1	46	146			
接続	47	147			
端子	48	148			
	49	149			
	50	150			
1系統	51	151			
	52	152			
	53	153			
	54	154			
	55	155			
	56	156			
	57	157			
	58	158			
	59	159			
	60	160			
	61	161			
	62	162			
	63	163			
	64	164			

住戸番号表 (2系統目、中央制御装置 VG-C101DAの接続端子 2系統)

プログラム番号 201 ~ 264

- お願い
- ・ 9 ~ 12頁の「住戸番号表の作成」および「住戸番号の登録方法」を参照し作成登録願います。
 - ・ 共用部機器の台数と合わせて64台までです。(また、配線条件により合計接続可能台数が減る場合もあります。)

プログラム番号 201 ~ 264 ↓ 住戸番号が決まれば若番順に記入してください。

系統 2	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	セキュリティパターン	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			記入欄		確認	確認
LC 2 接 続 端 子 2系統	1	201				
	2	202				
	3	203				
	4	204				
	5	205				
	6	206				
	7	207				
	8	208				
	9	209				
	10	210				
	11	211				
	12	212				
	13	213				
	14	214				
	15	215				
	16	216				
	17	217				
	18	218				
	19	219				
	20	220				
	21	221				
	22	222				
	23	223				
	24	224				
	25	225				
	26	226				
	27	227				
	28	228				
	29	229				
	30	230				
	31	231				
	32	232				

系統 2	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	セキュリティパターン	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			記入欄		確認	確認
LC 2 接 続 端 子 2系統	33	233				
	34	234				
	35	235				
	36	236				
	37	237				
	38	238				
	39	239				
	40	240				
	41	241				
	42	242				
	43	243				
	44	244				
	45	245				
	46	246				
	47	247				
	48	248				
	49	249				
	50	250				
	51	251				
	52	252				
	53	253				
	54	254				
	55	255				
	56	256				
	57	257				
	58	258				
	59	259				
	60	260				
	61	261				
	62	262				
	63	263				
	64	264				

住戸番号表 (3系統目、中央制御装置 VG-C101DAの接続端子 3系統)

プログラム番号 301 ~ 364

- お願い ・ 9 ~ 12頁の「住戸番号表の作成」および「住戸番号の登録方法」を参照し作成登録願います。
 ・ 共用部機器の台数と合わせて64台までです。(また、配線条件により合計接続可能台数が減る場合があります。)

プログラム番号 301 ~ 364 住戸番号が決まれば若番順に記入してください。

系統 3	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			セキュリティパターン 記入欄	確認	確認
LC 3 接 続 端 子 3系統	1	301			
	2	302			
	3	303			
	4	304			
	5	305			
	6	306			
	7	307			
	8	308			
	9	309			
	10	310			
	11	311			
	12	312			
	13	313			
	14	314			
	15	315			
	16	316			
	17	317			
	18	318			
	19	319			
	20	320			
	21	321			
	22	322			
	23	323			
	24	324			
	25	325			
	26	326			
	27	327			
	28	328			
	29	329			
	30	330			
	31	331			
	32	332			

系統 3	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			セキュリティパターン 記入欄	確認	確認
LC 3 接 続 端 子 3系統	33	333			
	34	334			
	35	335			
	36	336			
	37	337			
	38	338			
	39	339			
	40	340			
	41	341			
	42	342			
	43	343			
	44	344			
	45	345			
	46	346			
	47	347			
	48	348			
	49	349			
	50	350			
	51	351			
	52	352			
	53	353			
	54	354			
	55	355			
	56	356			
	57	357			
	58	358			
	59	359			
	60	360			
	61	361			
	62	362			
	63	363			
	64	364			

住戸番号表 (4系統目、中央制御装置 VG-C101DAの接続端子 4系統)

プログラム番号 401 ~ 464

- お願い
- ・ 9 ~ 12頁の「住戸番号表の作成」および「住戸番号の登録方法」を参照し作成登録願います。
 - ・ 共用部機器の台数と合わせて64台までです。(また、配線条件により合計接続可能台数が減る場合もあります。)

プログラム番号 401 ~ 464 ↓ 住戸番号が決まれば若番順に記入してください。

系統 4	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	セキュリティパターン	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			記入欄		確認	確認
LC 4 接 続 端 子 4系統	1	401				
	2	402				
	3	403				
	4	404				
	5	405				
	6	406				
	7	407				
	8	408				
	9	409				
	10	410				
	11	411				
	12	412				
	13	413				
	14	414				
	15	415				
	16	416				
	17	417				
	18	418				
	19	419				
	20	420				
	21	421				
	22	422				
	23	423				
	24	424				
	25	425				
	26	426				
	27	427				
	28	428				
	29	429				
	30	430				
	31	431				
	32	432				

系統 4	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	セキュリティパターン	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			記入欄		確認	確認
LC 4 接 続 端 子 4系統	33	433				
	34	434				
	35	435				
	36	436				
	37	437				
	38	438				
	39	439				
	40	440				
	41	441				
	42	442				
	43	443				
	44	444				
	45	445				
	46	446				
	47	447				
	48	448				
	49	449				
	50	450				
	51	451				
	52	452				
	53	453				
	54	454				
	55	455				
	56	456				
	57	457				
	58	458				
	59	459				
	60	460				
	61	461				
	62	462				
	63	463				
	64	464				

住戸番号表 (5系統目、中央制御装置 VG-C101DAの接続端子 5系統)

プログラム番号 501 ~ 564

- お願い ・ 9 ~ 12頁の「住戸番号表の作成」および「住戸番号の登録方法」を参照し作成登録願います。
 ・ 共用部機器の台数と合わせて64台までです。(また、配線条件により合計接続可能台数が減る場合があります。)

プログラム番号 501 ~ 564 ↓ 住戸番号が決まれば若番順に記入してください。

系統 5	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			セキュリティパターン 記入欄	確認	確認
LC5 接 続 端 子 5系統	1	501			
	2	502			
	3	503			
	4	504			
	5	505			
	6	506			
	7	507			
	8	508			
	9	509			
	10	510			
	11	511			
	12	512			
	13	513			
	14	514			
	15	515			
	16	516			
	17	517			
	18	518			
	19	519			
	20	520			
	21	521			
	22	522			
	23	523			
	24	524			
	25	525			
	26	526			
	27	527			
	28	528			
	29	529			
	30	530			
	31	531			
	32	532			

系統 5	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			セキュリティパターン 記入欄	確認	確認
LC5 接 続 端 子 5系統	33	533			
	34	534			
	35	535			
	36	536			
	37	537			
	38	538			
	39	539			
	40	540			
	41	541			
	42	542			
	43	543			
	44	544			
	45	545			
	46	546			
	47	547			
	48	548			
	49	549			
	50	550			
	51	551			
	52	552			
	53	553			
	54	554			
	55	555			
	56	556			
	57	557			
	58	558			
	59	559			
	60	560			
	61	561			
	62	562			
	63	563			
	64	564			

住戸番号表 (6系統目、中央制御装置 VG-C101DAの接続端子 6系統)

プログラム番号 601 ~ 664

- お願い
- ・ 9 ~ 12頁の「住戸番号表の作成」および「住戸番号の登録方法」を参照し作成登録願います。
 - ・ 共用部機器の台数と合わせて64台までです。(また、配線条件により合計接続可能台数が減る場合もあります。)

プログラム番号 601 ~ 664 ↓ 住戸番号が決まれば若番順に記入してください。

系統 6	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	セキュリティパターン	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			記入欄		確認	確認
LC 6 接 続 端 子 6系統	1	601				
	2	602				
	3	603				
	4	604				
	5	605				
	6	606				
	7	607				
	8	608				
	9	609				
	10	610				
	11	611				
	12	612				
	13	613				
	14	614				
	15	615				
	16	616				
	17	617				
	18	618				
	19	619				
	20	620				
	21	621				
	22	622				
	23	623				
	24	624				
	25	625				
	26	626				
	27	627				
	28	628				
	29	629				
	30	630				
	31	631				
	32	632				

系統 6	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	セキュリティパターン	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			記入欄		確認	確認
LC 6 接 続 端 子 6系統	33	633				
	34	634				
	35	635				
	36	636				
	37	637				
	38	638				
	39	639				
	40	640				
	41	641				
	42	642				
	43	643				
	44	644				
	45	645				
	46	646				
	47	647				
	48	648				
	49	649				
	50	650				
	51	651				
	52	652				
	53	653				
	54	654				
	55	655				
	56	656				
	57	657				
	58	658				
	59	659				
	60	660				
	61	661				
	62	662				
	63	663				
	64	664				

住戸番号表 (7系統目、中央制御装置 VG-C101DAの接続端子 7系統)

プログラム番号 701 ~ 764

- お願い
- ・ 9 ~ 12頁の「住戸番号表の作成」および「住戸番号の登録方法」を参照し作成登録願います。
 - ・ 共用部機器の台数と合わせて64台までです。(また、配線条件により合計接続可能台数が減る場合があります。)

プログラム番号 701 ~ 764 住戸番号が決まれば若番順に記入してください。

系統 7	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	セキュリティパターン	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作	系統 7	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	セキュリティパターン	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			記入欄	確認	確認	記入欄				確認	確認		
LC7 接 続 端 子 7系統	1	701					LC7 接 続 端 子 7系統	33	733				
	2	702						34	734				
	3	703						35	735				
	4	704						36	736				
	5	705						37	737				
	6	706						38	738				
	7	707						39	739				
	8	708						40	740				
	9	709						41	741				
	10	710						42	742				
	11	711						43	743				
	12	712						44	744				
	13	713						45	745				
	14	714						46	746				
	15	715						47	747				
	16	716						48	748				
	17	717						49	749				
	18	718						50	750				
	19	719						51	751				
	20	720						52	752				
	21	721						53	753				
	22	722						54	754				
	23	723						55	755				
	24	724						56	756				
	25	725						57	757				
	26	726						58	758				
	27	727						59	759				
	28	728						60	760				
	29	729						61	761				
	30	730						62	762				
	31	731						63	763				
	32	732						64	764				

住戸番号表 (8系統目、中央制御装置 VG-C101DAの接続端子 8系統)

プログラム番号 801 ~ 864

- お願い
- ・ 9 ~ 12頁の「住戸番号表の作成」および「住戸番号の登録方法」を参照し作成登録願います。
 - ・ 共用部機器の台数と合わせて64台までです。(また、配線条件により合計接続可能台数が減る場合もあります。)

プログラム番号 801 ~ 864 ↓ 住戸番号が決まれば若番順に記入してください。

系統 8	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			セキュリティパターン	記入欄	確認
LC 8 接 続 端 子 8系統	1	801			
	2	802			
	3	803			
	4	804			
	5	805			
	6	806			
	7	807			
	8	808			
	9	809			
	10	810			
	11	811			
	12	812			
	13	813			
	14	814			
	15	815			
	16	816			
	17	817			
	18	818			
	19	819			
	20	820			
	21	821			
	22	822			
	23	823			
	24	824			
	25	825			
	26	826			
	27	827			
	28	828			
	29	829			
	30	830			
	31	831			
	32	832			

系統 8	接続台数	プログラム番号	登録予定住戸番号	室内親機側の自動登録方式による登録・設定	共同玄関子機と室内親機の動作
			セキュリティパターン	記入欄	確認
LC 8 接 続 端 子 8系統	33	833			
	34	834			
	35	835			
	36	836			
	37	837			
	38	838			
	39	839			
	40	840			
	41	841			
	42	842			
	43	843			
	44	844			
	45	845			
	46	846			
	47	847			
	48	848			
	49	849			
	50	850			
	51	851			
	52	852			
	53	853			
	54	854			
	55	855			
	56	856			
	57	857			
	58	858			
	59	859			
	60	860			
	61	861			
	62	862			
	63	863			
	64	864			

棟用

中央制御装置VG-C101DA用プログラム表

大規模展開した場合に記入管理する

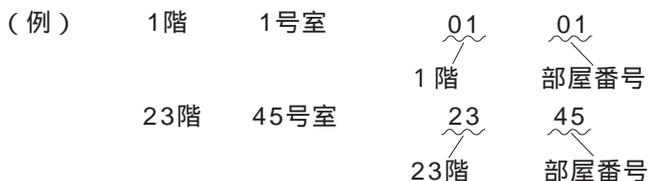
プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム指定確認欄
00	設定不要です。	- (空白)		
02	一斉放送有り/無し設定 ・管理事務室親機により全棟一斉放送、フロア別一斉放送、棟別放送、全棟緊急一斉放送、フロア別緊急一斉放送、棟別緊急放送を出すかの指定です。	一斉放送 無し(0)	全棟一斉(緊急)放送 } 有り(1) 棟別一斉(緊急)放送 } 全棟一斉(緊急)放送 } 有り(2) フロア別一斉(緊急)放送 } 棟別一斉(緊急)放送 }	

フロア別一斉放送・フロア別緊急放送の使用上の条件

フロア別の一斉放送及び緊急放送をする場合は住戸番号と棟番号の設定に条件があります。

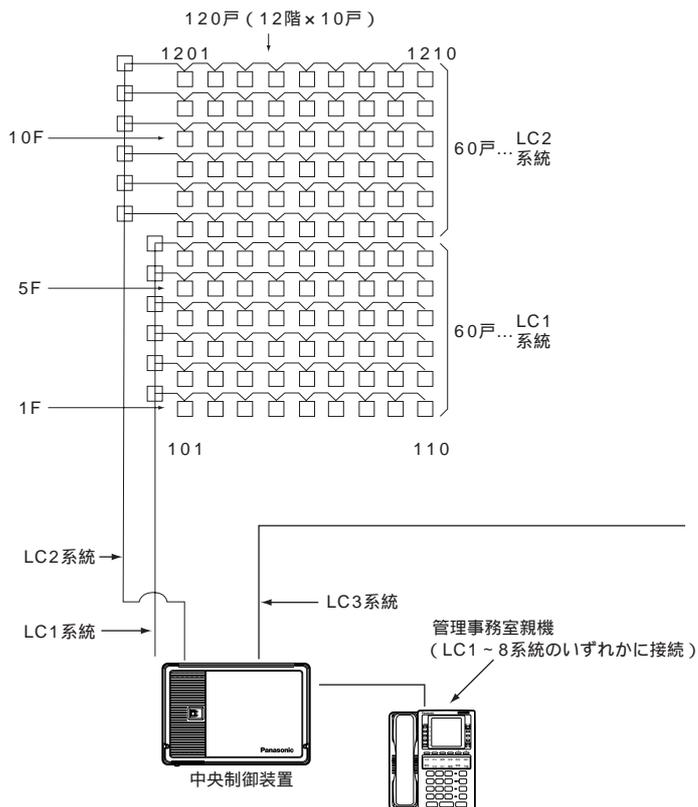
(1) 住戸番号

住戸番号4桁の上位2桁が階を表わします。



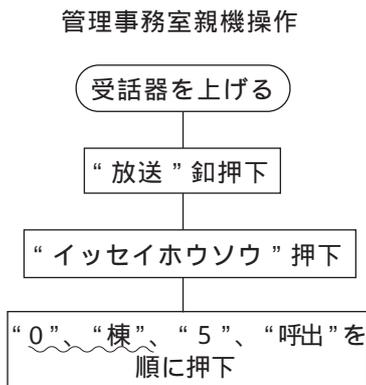
(2) 棟番号

1棟設定の場合(プログラム番号11~18を“00”に設定)は、フロア一斉、フロア緊急放送をする場合に0棟指定が必要になります。



(例)

5階のみにフロア一斉をする場合



系統(LCユニット)が複数混在した場合でも住戸番号の上位2桁が階番号になります。(上図で住戸番号“1210”は0棟12階10号室です。)

(注意: 室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別に一斉放送はできません。)

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム指定確認欄
03	警報音停止有り/無し設定 ・住戸内の室内親機、室内子機および戸外表示付玄関子機の警報音を管理事務室親機から停止させる。 (感知器作動・火災確定・ガス漏れ・非常の警報音は止められません)	警報音停止無し(0)	有り(1)	

共同玄関子機 (VG-K547CD「J」、K548CD「J」、他) を中央制御装置の何系統に接続するかの設定です。
系統番号は1桁〔1～8〕

プログラム番号	対象	初期値	接続する系統番号を記入する 1桁(1～8)	確認 チェック欄	
		1	共同玄関子機 1 設定用	1	
04	2	共同玄関子機 2 設定用	空白		
	3	共同玄関子機 3 設定用	空白		
	4	共同玄関子機 4 設定用	空白		
	5	共同玄関子機 5 設定用	空白		
	6	共同玄関子機 6 設定用	空白		
	7	共同玄関子機 7 設定用	空白		
	8	共同玄関子機 8 設定用	空白		

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

(注1) 中央制御装置1台に接続できる台数と機種

最大8台～最小0台

共同玄関子機 (VG-K547CD「J」、K548CD「J」、VL-575A「J」、576A「J」、545C「J」、546C「J」)

(注2) 共同玄関子機の電源については、取付工事説明書に記載の「24V電源への接続台数について」を参照願います。

(注3) 1系統に接続可能な台数は最大8台ですが、他の共用部機器と室内親機含めた1系統合計台数が64台(配線条件により減ります)を越えないように接続してください。

(注4) 接続されていない共同玄関子機に1～8を設定すると異常情報が上がります。

(共同玄関子機を1台も接続しない場合は、プログラム番号04-1を「空白」に設定してください。)

管理事務室親機（VG-E485A）を中央制御装置の何系統に接続するかの設定です。

→ 系統番号は1桁〔1～8〕

プログラム 番号	対 象	初期値	接続する系統番号を記入する 1桁（1～8）	確認 チェック欄
		1	管理事務室親機 1 設定用	1
05	2	管理事務室親機 2 設定用	空白	
	3	管理事務室親機 3 設定用	空白	
	4	管理事務室親機 4 設定用	空白	
	5	管理事務室親機 5 設定用	空白	
	6	管理事務室親機 6 設定用	空白	
	7	管理事務室親機 7 設定用	空白	
	8	管理事務室親機 8 設定用	空白	

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

（注1）中央制御装置1台に接続できる台数と機種

最大8台～最小0台

管理事務室親機（VG-E485A）

（注2）管理事務室親機の電源については、取付工事説明書に記載の「24V電源への接続台数について」を参照願います。

（注3）1系統に接続可能な台数は最大8台ですが、他の共用部機器と室内親機含めた1系統合計台数が64台（配線条件により減ります）を越えないように接続してください。

（注4）接続されていない管理事務室親機に1～8を設定すると異常情報が上がります。

（管理事務室親機を1台も接続しない場合は、プログラム番号05-1を「空白」にしてください。）

プログラム番号06番は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 （出荷時状態）	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
07	住戸からの管理事務室呼出規制有り/無し設定 各室内親機から管理事務室親機に呼び出しができないようにするかの設定です。 注）設定が呼出規制有り（呼出ができない）の状態においても、管理事務室親機から室内親機にメッセージ登録した場合は呼び出しできます。	呼出規制 無し（0）	有り（1）	
08	管理事務室親機からの通信異常情報出力有り/無し設定 変換器、室内親機等の故障、配線断線等が発生したときにその異常アラームを管理事務室親機へ出力表示させるかさせないかの設定です。 注）工事中は0にすること...室内親機の電源OFFで出力表示されるため	通信異常 情報出力 無し（0）	有り（1）	

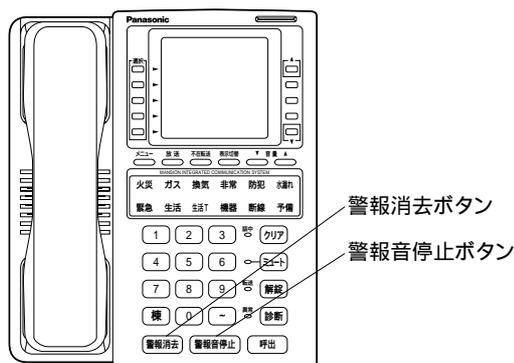
プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
09	共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定 火災・ガスもれ発生時に共同玄関の電気錠を自動的に解錠するか、しないかの設定です。	セキュリティ 解錠 無し(0)	火災発生時(1) ガス漏れ発生時(2) 火災及びガス漏れ 発生時(3)	

↑
[ご注意]

- (1) 管理事務室親機 (VG-E485A) が接続されないシステムの場合は、プログラム番号 [09] で「共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定」で有り [1] にしてもセキュリティによる解錠機能はできません。(復旧機能がないため)
よって、管理事務室親機が接続されていても、これらが障害中(故障中)の場合もセキュリティによる共同玄関解錠はできません。
- (2) 管理事務室親機が接続されたシステムで、プログラム番号 [09] の設定が3の場合、火災・ガス漏れ発生時に共同玄関電気錠は解錠します。電気錠の復旧方法は、下記のとおりです。

<共同玄関子機の電気錠復旧方法>

火災・ガスもれ発生時の操作・状態	電気錠復旧
火災・ガスセンサの復旧時	→ 復旧せず
室内親機 (VL-M367FA, VJ-M368FA, VG-M376D, VG-M377D等) の警報音停止ボタンを押したとき	→ 復旧せず
管理事務室親機の警報音停止ボタンと、警報消去ボタンを順に押したとき	→ 復旧します



管理事務室親機

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
10	管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り/無し設定	ワンタッチ解錠 無し(0)	有り(1)	

- (1) モニターテレビ無しでもワンタッチ解錠可能です。
- (2) 管理事務室親機が共同玄関子機より呼び出されなくてもオンフック状態でワンタッチ解錠可能です。

中央制御装置の系統別LCユニット (ラインカード)の棟番号設定

〔 何号棟を管理するかの設定です。
↳ 棟番号は2桁〔01～98〕 〕

(注) 出荷時はLC1(64端末)とLC2(64端末)の計128端末分は実装されています。

プログラム 番号	対 象	初期値		
		初期値	管理する号棟を記入する 2桁(01~98)	確認 チェック欄
11	LC1系統が管理する棟番号	00		
12	LC2系統が管理する棟番号	00		
13	LC3系統が管理する棟番号	空白		
14	LC4系統が管理する棟番号	空白		
15	LC5系統が管理する棟番号	空白		
16	LC6系統が管理する棟番号	空白		
17	LC7系統が管理する棟番号	空白		
18	LC8系統が管理する棟番号	空白		

2桁

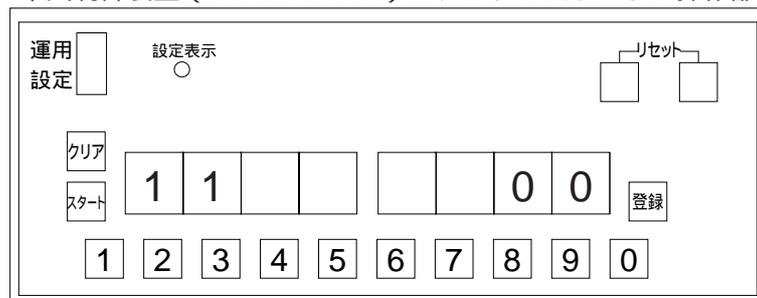
00：全棟指定

01～98：棟指定

空白：未実装時、
または未接続

51頁の[2]プログラム登録(変更)マニュアルを参照し、プログラム表の指定空欄に号棟を正確に記入してください。

中央制御装置(VG-C101DA)のプログラムボードの操作部



(例)
プログラム番号11(LC1系統)
の号棟が00棟の場合(全棟管理)

プログラムボタンで号棟(01~98)を登録する

(注1) 接続されていないLC系統分に号棟をプログラム登録すると異常が上がるので、該当のLC系統箇所のみ登録してください。

(注2) LC1系統は未設定(空白)にできません。

(注3) 全棟の場合は、必ず接続LC系統分に「00」と号棟を登録すること。

- ・1つの中央制御装置で構成するシステムにおいて、次の様な設定をしないでください。
(不可例) 1~4系統：「00」設定
5~8系統：「01」設定
- ・集中制御装置を接続した複数の中央制御装置で構成するシステムにおいて、次の様な設定をしないでください。
(不可例) 中央制御装置1の1~8系統：「00」設定
中央制御装置2の1~8系統：「01」設定

(注4) 集中制御装置を接続した複数の中央制御装置で構成するシステムにおいて、同じ中央制御装置内に複数の棟設定をした場合、それらの棟を他の中央制御装置に設定しないでください。

(不可例1) 中央制御装置1の1～4系統：「01」設定
中央制御装置1の5～8系統：「02」設定
中央制御装置2の1～8系統：「02」設定

集中制御装置側に異常情報が上がります。

(不可例2) 中央制御装置1の1～2系統：「01」設定
中央制御装置1の3～5系統：「02」設定
中央制御装置1の6～8系統：「03」設定
中央制御装置2の1～2系統：「04」設定
中央制御装置2の3～5系統：「05」設定
中央制御装置2の6～8系統：「01」設定

集中制御装置側に異常情報が上がります。

(不可例3) 中央制御装置1の1～4系統：「01」設定
中央制御装置1の5～8系統：「02」設定
中央制御装置2の1～4系統：「03」設定
中央制御装置2の5～8系統：「04」設定
中央制御装置3～8の各1～8系統：「04」設定

集中制御装置側に異常情報が上がります。

(良い例1) 中央制御装置1の1～4系統：「01」設定
中央制御装置1の5～8系統：「02」設定
中央制御装置2～8の各1～8系統：「03」設定

(良い例2) 中央制御装置1の1～2系統：「01」設定
中央制御装置1の3～5系統：「02」設定
中央制御装置1の6～8系統：「03」設定
中央制御装置2の1～2系統：「04」設定
中央制御装置2の3～5系統：「05」設定
中央制御装置2の6～8系統：「06」設定
中央制御装置3～8の各1～8系統：「07」設定

(良い例3) 中央制御装置1～4の各1～8系統：「01」設定
中央制御装置5～8の各1～8系統：「02」設定

それぞれを同時に使用しようとした場合に、各系統（1ペア）当たりで、何本を同時に多重接続許可するかの設定です。 本数1桁 ←

通常は初期値のままお使いください。（話中等になりにくい、最も効率の良い値となっています）
この設定は、例えば監視カメラの使用頻度が極端に高くなり、他の通話等の呼び出しがかかりにくいなどが発生した場合の調整用の設定です。

プログラム番号	設定内容	初期値	設定記入欄	プログラム指定確認欄
19-1	映像付き共同玄関同時接続本数 1つの系統内で、映像や通話等が全く使用されていない状態中に、映像を伴う共同玄関からの呼び出し通話を同時に何本接続許可するかの設定 1本につき、映像用に1パケット、双方向通話用に2パケット、合計3パケット使用します。	2	0~2本 (0~2)	
19-2	監視カメラ映像同時接続本数 1つの系統内で、映像や通話等が全く使用されていない状態中に、異なる監視カメラへの接続を同時に何本接続許可するかの設定 1本につき、映像用に1パケット使用します。	6	0~6本 (0~6)	
19-3	映像なし通話同時接続本数 1つの系統内で、映像や通話等が全く使用されていない状態中、映像を伴わない通話（カメラなし共同玄関通話、住戸間通話等）の呼び出し通話を同時に何本接続許可するかの設定 1本につき、双方向通話用に2パケット使用します。	3 ↑ 同時3通話を許可する設定値です	0~3本 (0~3)	
19-4	IP接続データ上り同時接続本数 1つの系統内で、映像や通話等が全く使用されていない状態中、外部ネットワークのTCP/IP通信で伝送する上りデータチャンネルの接続を同時に何本接続許可するかの設定（上りデータチャンネル1本につきカラーモニター室内親機1台からIP変換器方向への接続として割り当てられます） 1本につき、上りデータ用として1パケット使用します。	2	0~2本 (0~2)	

（注1）各同時接続本数は他に使用されていない状態中についての値です。従って、例えば19-2：「6」、19-1：「2」の設定の場合でも、異なる監視カメラが1つの系統で6本接続されている間は、その系統で例えば映像を伴う共同玄関からの呼び出し通話できません。
映像付き共同玄関の呼び出し通話を、他の動作（監視カメラ映像、住戸間通話等）に依存されず確実に1本を確保したい場合は次の設定をしてください。

プログラム番号	設定値
19	1 1以上
	2 0
	3 1以下
	4 任意

- 但し、
1. 全系統IP変換器は接続できません。
 2. 監視カメラは使用できない設定となります。
 3. 3系統以上使用するシステムの場合には、必ずOLCユニットを実装してください。
 4. 通話のみ（映像なし）の共同玄関の場合には、共同玄関通話専用として確実に1本を確保することはできません。

(注2) この設定値を下げた場合、下げた部分はつながりにくくなり、その他はつながり易くなる傾向となります。

(注3) IP変換器を接続設定した(プログラム番号1000による)系統は、下表の制限値以下で動作します。

IP変換器を接続した系統の例

プログラム番号	初期値	設定値	(IP変換器接続時の)制限値	動作	備考	
19	1	2	2	1	1本	設定値よりも制限値の方が小さいので制限値で動作
	2	6	4	5	4本	制限値よりも設定値の方が小さいので設定値で動作
	3	3	2	2	2本	設定値と制限値が同じ
	4	2	2		2本	設定値で動作

IP変換器を接続しない系統の例

プログラム番号	初期値	設定値	(IP変換器接続時の)制限値	動作	備考
19	1	2	2		設定値で動作
	2	6	4		
	3	3	2		
	4	2	2		動作しない

(注4) アナログ映像の共同玄関子機を使用したシステムの場合、映像付き共同玄関同時接続本数は、「各系統当たり」ではなく「各棟当たりに」1本までとなります。(棟ごとにアナログ映像線路の配線も必要です)

アナログ映像の共同玄関子機を使用するか、デジタル映像の共同玄関子機を使用するかの設定です。

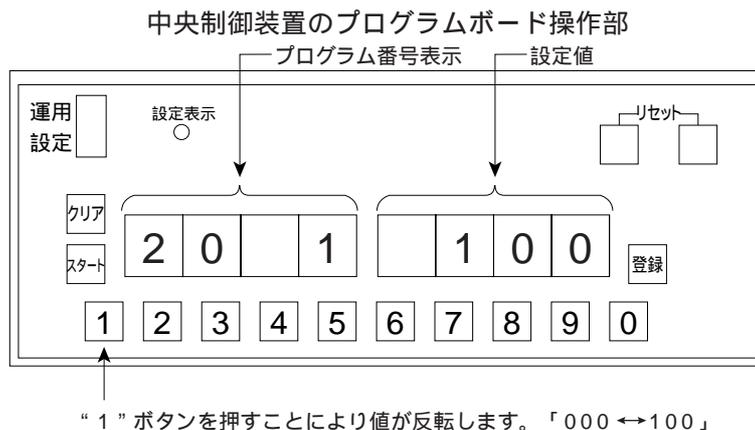
プログラム 番号	対 象				
		初期値	設定記入欄	プログラム 指定確認欄	
20	1	LC1が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	2	LC2が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	3	LC3が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	4	LC4が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	5	LC5が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	6	LC6が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	7	LC7が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	8	LC8が管理する棟のアナログ映像ライン	000		

000 : アナログ映像
を使用しない

100 : アナログ映像
を使用する

アナログ映像を使用するシステムの場合は、使用する棟に「100」を設定してください。

(例) LC1、LC2、LC3が同一棟の場合、プログラム番号20-1～3のいずれか1つ(例えば20-1)に「100」を設定すると、残りの2つ(20-2、3)も自動的に「100」と設定されます。



- (注1) デジタル映像の共同玄関子機 (VG-K547CD「J」、K548CD「J」)
- (注2) アナログ映像の共同玄関子機 (VL-545C「J」、546C「J」)
- (注3) デジタル映像の共同玄関子機と、アナログ映像の共同玄関子機を一同システムで使用することはできません。
- (注4) 20-1～8全ての設定値が「000」と設定されている時のみ、デジタル映像のシステムとなります。
(20-1～8のいずれか1つでも「100」と設定された場合には、アナログ映像のシステムとなります。)
- (注5) 集中制御装置を使用した大規模システムの場合には、アナログ映像を使用できません。
(デジタル映像のみのシステムとなります。)

中央制御装置に接続されている共同玄関子機（VG-K547CD「」、K548CD「」他）が何号棟に属するかの設定です。棟番号は2桁〔01～98〕

プログラム 番号	対 象	初期値	属する号棟を記入する 2桁（01～98）	確認 チェック欄
		21	共同玄関子機 1 設定用	00
22	共同玄関子機 2 設定用	00		
23	共同玄関子機 3 設定用	00		
24	共同玄関子機 4 設定用	00		
25	共同玄関子機 5 設定用	00		
26	共同玄関子機 6 設定用	00		
27	共同玄関子機 7 設定用	00		
28	共同玄関子機 8 設定用	00		

2桁
00：全棟指定
01～98：棟指定

プログラム表の指定空欄に号棟を正確に記入してください。

（注1）プログラム番号11～18の設定が全棟指定00の場合は、本設定を全棟指定00にしてください。

（注2）プログラム番号11～18の設定が棟指定01～98の場合で、

- ・本設定を全棟指定00にした場合、共同玄関子機からの呼び出しの際、部屋番号の前に必ず棟番号を入力する必要があります。（アナログ映像を用いるシステムの場合は本設定を全棟指定00にしないでください。必ず棟別に共同玄関を設置し、本設定は棟指定01～98にしてください。）
- ・本設定を棟指定01～98にした場合、共同玄関子機が属する棟以外の住戸を呼び出す際に部屋番号の前に棟番号を入力する必要があります。（但し、アナログ映像を用いるシステムの場合は、共同玄関子機が属する棟以外の呼び出しができません）

（注3）1台の共同玄関子機が複数の棟に属する指定はできません。（1つの棟に複数台（2～8台）の共同玄関子機が属する指定は可能です。）

（注4）未設定（空白）にはしないでください。

管理事務室親機グループ着信有り / 無し設定

プログラム番号29番は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
30	管理事務室親機が複数(2台～8台まで)接続されたシステムにおいて、各室内親機又は共同玄関子機より同一の棟を管理している全ての管理事務室親機に呼び出し音を鳴らす(1:有)か鳴らさない(0:無)の設定です。	無し(0)	有り(1)	

(1:有り)グループ着信有り設定時、管理事務室親機の不在転送はできなくなります。

中央制御装置に接続されている管理事務室親機が何号棟を管理するかの設定です。

棟番号は2桁〔01～98〕

□...空白です。

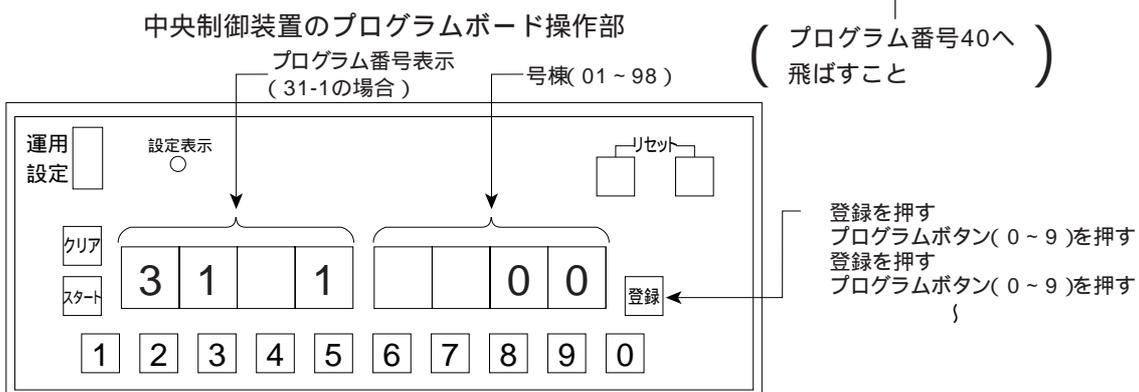
下表は初期値です。(出荷時状態)

プログラム番号	対象	プログラムボード上のプログラム番号表示								2桁(01~98)号棟記入欄	
		31-1	31-2	31-3	31-4	31-5	31-6	31-7	31-8		
31	管理事務室親機 1 設定用	00									
32	管理事務室親機 2 設定用	00									
33	管理事務室親機 3 設定用	00									
34	管理事務室親機 4 設定用	00									
35	管理事務室親機 5 設定用	00									
36	管理事務室親機 6 設定用	00									
37	管理事務室親機 7 設定用	00									
38	管理事務室親機 8 設定用	00									

プログラム表の指定空欄に号棟を正確に記入してください。

・各管理事務室親機(1台)で最大8ヶ所(01~98号棟の内)の号棟を管理できます。

(注1) 1棟のみ(棟管理がないとき)の場合は、プログラム番号31~38の登録不要です。



(例) 管理事務室親機1に1棟、2棟、3棟を管理させ、管理事務室親機2に4棟、5棟、6棟を管理させる場合(プログラム番号11~18で複数の棟が設定されていることとなりますので、管理事務室親機からの呼び出し時に必ず棟入力が必要です。)

プログラム番号	対象	プログラムボード上のプログラム番号表示								2桁(01~98)号棟記入欄	
		31-1	31-2	31-3	31-4	31-5	31-6	31-7	31-8		
31	管理事務室親機 1 設定用	01	02	03							
32	管理事務室親機 2 設定用	04	05	06							

暗証番号2の種別設定

〔暗証番号の住戸用と業者用（新聞配達員等）に設定分けができます。〕

プログラム番号40設定後、次頁のプログラム番号41-1（-2）～48-1（-2）で具体的に電気錠暗証番号を登録します。

プログラム番号39番は欠番です。

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム指定確認欄
40	プログラム番号41～48で設定する暗証番号2を住戸用か業者用のいずれかに設定できます。	住戸用(0)	業者用(1)	

プログラム番号40で0（住戸用）を設定した場合は、プログラム番号51～58の共同玄関子機の解錠時間帯に共同玄関子機が解錠状態になり、解錠時間帯以外は暗証番号1と2が有効になります。

また、プログラム番号40で1（業者用）を設定した場合は、プログラム番号51～58の共同玄関子機の解錠時間帯に共同玄関子機は解錠状態にはならず、暗証番号1と2で解錠できます。

解錠時間帯以外は、暗証番号2での解錠は不可になり、暗証番号1のみ有効になります。

・暗証番号2の種別による機能の違い

設定値	プログラム番号 41-2～48-2（暗証番号2）	プログラム番号 51～58の解錠時間帯	プログラム番号 51～58の時間帯以外
住戸用 0 (初期設定)	住戸用暗証番号2 (いつでも解錠可能)	解錠状態	通常施錠状態で、暗証番号1と2で解錠可能
業者用 1	業者用暗証番号 (プログラム番号51～58の 解錠時間帯のみ解錠可能)	施錠状態で住戸用及び業者用 暗証番号で解錠可能	施錠状態で住戸用暗証番号1 でのみ解錠可能業者用暗証番号 では解錠不可

中央制御装置に接続されている共同玄関子機の電気錠暗証番号設定登録

プログラム 番号	対 象	電気錠暗証番号				暗証番号1	暗証番号2
		千位	百位	十位	一位		
41	1	共同玄関子機 1 設定用					暗証番号1
	2						暗証番号2
42	1	共同玄関子機 2 設定用					暗証番号1
	2						暗証番号2
43	1	共同玄関子機 3 設定用					暗証番号1
	2						暗証番号2
44	1	共同玄関子機 4 設定用					暗証番号1
	2						暗証番号2
45	1	共同玄関子機 5 設定用					暗証番号1
	2						暗証番号2
46	1	共同玄関子機 6 設定用					暗証番号1
	2						暗証番号2
47	1	共同玄関子機 7 設定用					暗証番号1
	2						暗証番号2
48	1	共同玄関子機 8 設定用					暗証番号1
	2						暗証番号2

(注1) ・電気錠暗証番号(必ず4桁)は任意で暗証番号を必ず記入してください。

・4桁目“0”でもよい。(例 0123,0000)

・暗証番号として登録できない番号(3桁以下)

(注2) 共同玄関子機1台に対して、電気錠暗証番号は1種類又は、未登録でも運用動作します。

(例 プログラム番号41-1... のみ)

(注3) プログラム番号40で1(業者用)を登録した場合は、プログラム番号41-2、42-2、43-2、44-2、45-2、46-2、47-2、48-2は、業者用暗証番号になりプログラム番号51~58の共同玄関子機の電気錠解錠時間帯設定に連動し、設定された時間帯にのみ業者用暗証番号で解錠が可能です。

プログラム番号49番は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
50	初期設定でお使いください。	0		

中央制御装置に接続されている共同玄関子機(VG-K547CD「J」、K548CD「J」他)の電気錠解錠時間帯の設定登録

〔電気錠の解錠時間帯(開始～終了時刻)を決める。例えば新聞配達員等の出入口のため解錠に切り替える。〕
 (注) 解錠時間帯の設定登録時は、必ずプログラム番号61時刻(時分秒)の設定を行うこと。

- 2つの解錠時間帯が登録可能。
 - 1 開始時刻入力～1 終了時刻入力
 - 2 開始時刻入力～2 終了時刻入力

出荷時状態未設定

プログラム 番号	対 象	開始時刻入力				終了時刻入力						
		記入例(午後16時)から 記入例(午前7時)から				記入例(午後17時30分)まで 記入例(午前10時)まで						
51	共同玄関子機 1 設定用	1	0	7	0	0	1	0	0	0	記入欄	
											確認・チェック欄	
52	共同玄関子機 2 設定用	2	1	6	0	0	2	1	7	3	0	記入欄
												確認・チェック欄
53	共同玄関子機 3 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
54	共同玄関子機 4 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄
55	共同玄関子機 5 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
56	共同玄関子機 6 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄
57	共同玄関子機 7 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
58	共同玄関子機 8 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄

(例1) 9時～10時 09:00～10:00

(例2) 8時20分～9時 08:20～09:00 — 頭に“0”を入れて登録のこと。

(例3) 時間 分単位
09:59
 — 60以上登録できない。
 — 24以上登録できない。

日付・時刻の設定登録

プログラム番号59は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定値
60	年月日(日付の)設定	010101 2001年1月1日(西暦)	
61	時分秒(時刻の)設定	000000 00時00分00秒 (電源投入時より動作します。)	

- (1) 日付及び時刻は初回電源投入した時点、又はメモリースイッチを“セット”側にした時点より動作します。
- (2) 日付及び時刻の設定も他の設定項目と同様にメモリースイッチを“セット”側にしていれば電源OFFでもバックアップされます。
- (3) 登録された日付及び時刻は管理事務室親機に表示されます。

通話時間・その他設定時間等の設定登録

プログラム番号62は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
63	監視カメラ映像最大接続時間設定 集住映像伝送アダプターに接続された監視カメラへの最大接続時間の設定です。 他の通話等が話中等になる可能性がありますので短い時間設定をおすすめします。	30 (30秒)	30 ~ 120 (30秒 ~ 120秒の秒単位)	
64	共用部通話最大接続時間設定 共用部(共同玄関子機、管理事務室親機)間及び共用部と住戸間の最大通話時間を設定します。 (一斉放送、緊急放送は10分固定です。)	03 (3分)	01 ~ 10 (1分 ~ 10分の分単位)	
65	住戸間通話最大接続時間設定 住戸間通話ユニット(VL-M606)接続システム、又はカラーモニター室内親機における住戸間通話の最大通話時間の設定です。 他の通話等が話中等になる可能性がありますので短い時間設定をおすすめします。 カラーモニター室内親機で住戸間通話を行う時は、カラーモニター室内親機に設定が必要です。	01 (1分)	01 ~ 10 (1分 ~ 10分の分単位)	
66	ガス断線発報の有り/無し設定 室内親機に接続されたガスもれ検知器が断線検出機能付(有電圧タイプ)の場合にガス断線警報を管理事務室親機に表示・鳴動するか、しないかの設定です。	有り (1)	無し (0)	
67	初期設定でお使いください。	03		
68	報知音鳴動時間帯 宅配ロッカーからの滞留報知音等を鳴動させる時間帯の設定です。	0700-1900 (7:00-19:00)	0000 ~ 2359 (0:00 ~ 23:59)	
69	初期設定でお使いください。	空白		

中央制御装置に接続されている共同玄関子機(VG-K547CD¹、K548CD¹、他)の解錠時間の設定登録

〔電気錠の解錠時間をプログラム設定により01秒間～60秒間の範囲で選択設定できます。〕

プログラム番号70は欠番です。

プログラム番号	対 象	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
71	共同玄関子機1設定用	15		
72	共同玄関子機2設定用	15		
73	共同玄関子機3設定用	15		
74	共同玄関子機4設定用	15		
75	共同玄関子機5設定用	15		
76	共同玄関子機6設定用	15		
77	共同玄関子機7設定用	15		
78	共同玄関子機8設定用	15		

時間は01～60(秒)までの設定が可能。

[初期値(出荷時状態)...各15(秒)間]

プログラム番号79は欠番です。

プログラム番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
80	初期設定でお使いください。	0		

集住映像伝送アダプター（VG-R900D）を中央制御装置の何系統に接続するかの設定です。

→ 系統番号は1桁（1～8）

プログラム 番号	対 象	初期値	接続する系統番号を記入する 1桁（1～8）	確認 チェック欄
	2 集住映像伝送アダプター-2設定用	空白		
	3 集住映像伝送アダプター-3設定用	空白		
	4 集住映像伝送アダプター-4設定用	空白		
	5 集住映像伝送アダプター-5設定用	空白		
	6 集住映像伝送アダプター-6設定用	空白		
	7 集住映像伝送アダプター-7設定用	空白		
	8 集住映像伝送アダプター-8設定用	空白		

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

（注1）中央制御装置1台に接続できる台数と機種

最大8台～最小0台

集住映像伝送アダプター（VG-R900D）

モニターを接続する集住映像伝送アダプターには、集住映像受信カード（VG-R901D）を1枚実装してください。

集住映像伝送アダプター1台に接続可能なカメラ、モニターの台数

カメラ	NTSC出力カメラ(推奨WV-CP460)	4台
モニター	NTSC入力モニター(推奨CM1020)	4台

同時に複数のカメラ、又はモニター映像を伝送することはできません。従って、同時に複数のカメラ、又はモニター映像を伝送したい場合は、異なる集住映像伝送アダプターにカメラ、又はモニターを接続してください。

（注2）1系統に接続可能な台数は最大8台ですが、他の共用部機器と室内親機含めた1系統合計台数が64台（配線条件により減ります）を越えないように接続してください。

（注3）接続されていない集住映像伝送アダプターに1～8を設定すると異常情報が上がります。

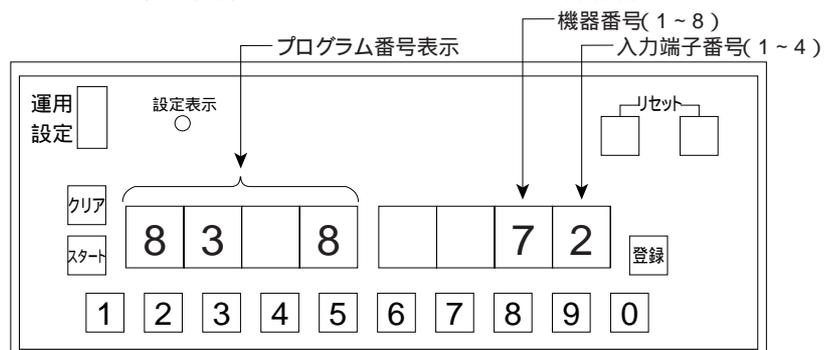
プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
82	1	初期設定でお使いください。	0	
	}	}	}	
	8	初期設定でお使いください。	0	

監視カメラ1～8が、中央制御装置に接続されている何番の集住映像伝送アダプターの、何番の入力端子のカメラかを指定する設定です。

プログラム番号	対象	初期値	設定記入欄 2桁(11～84)	確認 チェック欄		
					2桁	11～84:連動指定 空白:連動無し
83	1	監視カメラ1設定用	空白			
	2	監視カメラ2設定用	空白			
	3	監視カメラ3設定用	空白			
	4	監視カメラ4設定用	空白			
	5	監視カメラ5設定用	空白			
	6	監視カメラ6設定用	空白			
	7	監視カメラ7設定用	空白			
	8	監視カメラ8設定用	空白			

中央制御装置のプログラムボードの操作部

(例) アドレス7番の集住映像伝送アダプターの入力端子2番のカメラを監視カメラ8として連動指定する。



管理事務室親機1～8が、中央制御装置に接続されている何番の集住映像伝送アダプターの、何番の出力端子のモニターと連動するかを指定する設定です。

プログラム番号	対 象	初期値	設定記入欄 2桁 (11～84)	確認 チェック欄	
2	管理事務室親機2設定用	空白			
3	管理事務室親機3設定用	空白			
4	管理事務室親機4設定用	空白			
5	管理事務室親機5設定用	空白			
6	管理事務室親機6設定用	空白			
7	管理事務室親機7設定用	空白			
8	管理事務室親機8設定用	空白			

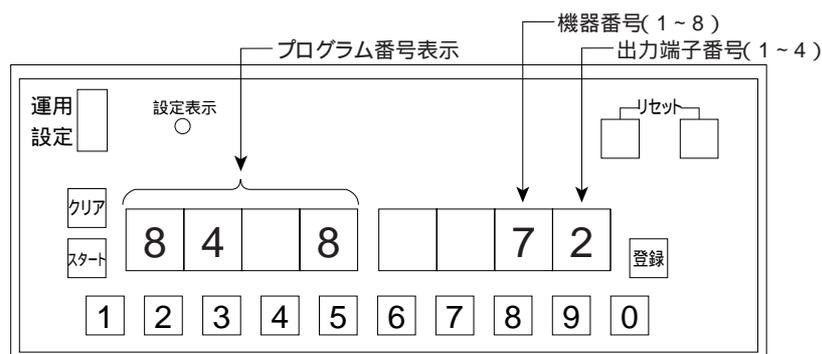
2桁

11～84：連動指定

空白：連動無し

(例) アドレス7番の集住映像伝送アダプターの出力端子2番のモニターを管理事務室親機8と連動指定する。

中央制御装置のプログラムボードの操作部



プログラム番号85～89は欠番です。

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
90	OLCユニット実装 / 未実装設定 OLCユニットを中央制御装置に実装しているか、していないかの設定です。	未実装 (0)	実装 (1)	

(注1)

OLCユニットの実装状態に合わせて速やかに設定してください。
(プログラム登録の最初に確認してください。)

- ・ OLCユニットが実装されている状態で未実装設定をした場合、システムは停止状態となり、プログラムボードの異常表示が“oE-1”となります。
 - ・ OLCユニットが実装されていない状態で実装設定をした場合、システムは停止状態となり、プログラムボードの異常表示が“oE-2”となります。
- どちらの場合でも、制御装置が定期的のリセットされ設定ができない場合があります。又、システムは停止状態となります。

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
91	集中制御装置の接続系統番号 集中制御装置に接続するか、しないか、および接続する場合は集中制御装置の何系統に接続するかの設定です。	未実装 (空白)	接続系統番号 (1～8)	

(注1) 中央制御装置を集中制御装置に接続する場合は、中央制御装置にOLCユニットを実装してください。
(プログラム番号90の設定にご注意ください)

(注2) 中央制御装置のOLCメインライン端子と接続される集中制御装置の系統番号を設定してください。
(集中制御装置のプログラム番号01が2ペア接続設定であった場合、OLCメインラインは集中制御装置の奇数系統と接続となります。)

(注3) 未接続(空白)設定でなかった場合(1～8を設定した場合)で、集中制御装置が停止していた場合、プログラムボードの異常表示が“oE-0”となりますが、中央制御装置内でのシステム動作は可能です。また、この状態中に集中制御装置の動作を開始した場合は、自動的に集中制御装置との連動動作に切り換わります。

各種アダプターを中央制御装置の何系統に接続するかの設定です。

→ 系統番号は1桁（1～8）

プログラム 番号	対 象	初期値	接続する系統番号を記入する 1桁（1～8）	確認 チェック欄
		92	1	アダプター1設定用
	2	アダプター2設定用	空白	
	3	アダプター3設定用	空白	
	4	アダプター4設定用	空白	
	5	アダプター5設定用	空白	
	6	アダプター6設定用	空白	
	7	アダプター7設定用	空白	
	8	アダプター8設定用	空白	

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

（注1）中央制御装置1台に接続できる台数と機種

全ての合計が最大8台～最小0台

データ入出力アダプター（VL-M887）

宅配ロッカーアダプター（VL-M889）

通報機アダプター（VL-4852XB）

（注2）1系統に接続可能な台数は最大8台ですが、他の共用部機器と室内親機含めた1系統合計台数が64台

（配線条件により減ります）を越えないように接続してください。

（注3）接続されていない各種アダプターに1～8を設定すると異常情報が上がります。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 （出荷時状態）	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
93	一斉放送の音量調整	大（2）	中（1）小（0）	
94	初期設定でお使いください。	0		

プログラム番号95～99は欠番です。

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
100	<p>住戸番号 をプログラムボードにより登録を可能にするか、しないかの設定です。</p> <p>登録番号は、室内親機の自動登録方式により登録・変更設定されます。</p>	設定禁止 (0)	登録許可 (1)	

住戸番号の自動登録方式とは...

室内親機側の自動登録操作により、住戸番号を自動的に制御装置側（若い番号順に並べ）に登録されます。
 (制御装置のプログラムボードの設定モードが運用側の場合のみ住戸番号は登録されます。)

条件： 室内親機と制御装置間の接続配線完了のこと。

制御装置のプログラムボードにより、プログラム番号90、11～18の設定が正しく行われていること。

室内親機、制御装置にAC電源が供給されていること。

制御装置のプログラムボードは、運用側であること。

(設定側では、住戸番号の自動登録不可。
 制御装置のプログラムボードによる住戸番号の登録設定は不要です。
 住戸番号以外のプログラム設定は、制御装置側のプログラムボードにより設定します。)

室内親機は、住戸番号の自動登録可能タイプであること。

(自動登録可能タイプでない場合、制御装置のプログラムボードで行います。)

室内親機のハンドセットは、かけた状態であること。

セキュリティが作動していないこと。

室内親機の種類によりプログラム番号100を設定します。

室内親機の種類	プログラム番号100の設定	プログラムボードによる 住戸番号の設定
住戸番号の自動登録可能タイプ： VL-M366FA、VG-M369FA、VL-M366LX VL-M367FA、VJ-M368FA、VG-M371FA VG-J372FA、VG-M373A、VL-M367LMA VG-M376D、VG-M377D	0 (不可) 出荷時	不 要
上記以外のタイプ：VL-365C等	1 (可)	必 要

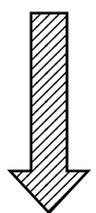
プログラム番号	設定内容	プログラムボタンの入力可能な有効数字	初期値(出荷時状態)	備考
---------	------	--------------------	------------	----

以下のプログラム番号 **101** ~ **864** は、住戸番号の自動登録可能な機器は確認時のみ使用されます。
自動登録ができない室内親機は住戸番号登録に使用されます。

〔 1系統目は共用部機器と合わせて64台以下となる様に室内親機の接続をしてください。 〕

101	系統1に接続された室内親機(1台目)の住戸番号の 確認	↑	未設定(空白)	
102	(2台目)		未設定(空白)	
103	⋮		未設定(空白)	
164	(64台目)		未設定(空白)	
201	系統2に接続された室内親機(1台目)の住戸番号の 確認		未設定(空白)	
202	(2台目)		未設定(空白)	
203	⋮		未設定(空白)	
264	(64台目)		未設定(空白)	
301	系統3に接続された室内親機(1台目)の住戸番号の 確認		未設定(空白)	
302	(2台目)		未設定(空白)	
303	⋮		未設定(空白)	
364	(64台目)		未設定(空白)	
401	系統4に接続された室内親機(1台目)の住戸番号の 確認		未設定(空白)	
402	(2台目)		未設定(空白)	
403	⋮		未設定(空白)	
464	(64台目)		未設定(空白)	
501	系統5に接続された室内親機(1台目)の住戸番号の 確認	未設定(空白)		
502	(2台目)	未設定(空白)		
503	⋮	未設定(空白)		
564	(64台目)	未設定(空白)		
601	系統6に接続された室内親機(1台目)の住戸番号の 確認	未設定(空白)		
602	(2台目)	未設定(空白)		
603	⋮	未設定(空白)		
664	(64台目)	未設定(空白)		
701	系統7に接続された室内親機(1台目)の住戸番号の 確認	未設定(空白)		
702	⋮	未設定(空白)		
764	(64台目)	未設定(空白)		
801	系統8に接続された室内親機(1台目)の住戸番号の 確認	未設定(空白)		
802	⋮	未設定(空白)		
864	(64台目)	未設定(空白)		

・自動登録された住戸番号を確認する時のみ使用します。
・住戸番号は室内親機側の自動登録方式により登録設定されます。
・自動登録できない室内親機はプログラムボードで住戸番号を登録します。



集合住宅用室内親機の セキュリティパターン1 を設定する場合

室内親機ごとにセキュリティパターンを設定するためにセキュリティパターン1を設定する
カラーモニター室内親機の場合、904以外のセキュリティパターンは無効です。

セキュリティパターン1 プログラム番号900～913

900～909はVL-M367FA/VJ-M368FAとVG-M369FA以降に有効
910～913はVG-M369FA以降のみ有効

プログラム 番号	セキュリティ設定内容	初期値	備 考	記 入
900	防犯玄関子機警報の有り/無し (防犯発生時に警報音を戸外表示付玄関子機からの鳴動有無設定)	0: 警報無し	1: 警報有り	
901	防犯2のみ警報遅延時間(30秒/60秒)設定	0: 30秒	1: 60秒	
902	防犯警報30秒自動停止の有り/無し (室内親機の防犯警報を30秒後に自動停止を行うかを設定)	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
903	警報30分自動停止有り/無し (警報音を30分後に自動停止を行うかを設定) (ただし火災・ガスもれ・非常は除く)	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
904	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し (住戸の水もれ警報を室内親機に表示・鳴動を行うかを設定)	1: 鳴動有り 表示有り	0: 鳴動無し 表示無し 2: 鳴動無し 表示有り	
905	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し (トイレコールON時の移報鳴動を行うかを設定)	0: 移報無し	1: 移報有り	
906	トイレコールON時の移報遅延時間(0～60秒) (トイレコール移報音の遅延時間を設定)	00: 0秒	0～60秒 (00～60)	
907	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し (バスコールON時の移報鳴動を行うかを設定)	0: 移報無し	0: 移報有り	
908	バスコールON時の移報遅延時間(0～60秒) (バスコール移報音の遅延時間を設定)	00: 0秒	0～60秒 (00～60)	
909	火災確認時間 [室内親機側の火災警報音が「火災感知器が作動しました。確認してください。」から「火事です。火事です。火災が発生しました。」に切替わる時間(確認時間)の設定]	2: 2分	2～5分 (2～5)	
910	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し 防犯発報時に戸外表示付玄関子機への警報音を30秒遅らせるかを設定。 但し、プログラム番号900が(1)の場合に有効	0: 無し (室内と同時)	1: 有り (室内より30秒 遅延)	
911	バス、トイレ SW対応種別 バスコール、トイレコールに取り付けたスイッチの種別を設定 (ロック式の場合はスイッチ連動になります)	0: ノンロック式	1: ロック式	
912	家人呼びSWロック/ノンロック 家人呼びに取り付けたスイッチの種別を設定。又、ノンロック(1)に設定すると非常になります。(ロック式の場合はスイッチ連動で連絡/呼び出し音となります)	0: ロック式 (家人呼び)	1: ノンロック式 (非常)	
913	外部試験時テレコン移報出力(火災出力)有り/無し 外部試験時にテレコン移報の有無を設定	1: 有り	0: 無し	

お知らせ

1. 住戸番号設定時、自動的にセキュリティパターン1の内容(プログラム番号900～913の初期値)が設定されます。ただしプログラムの設定によりセキュリティパターンの変更も可能です。
2. セキュリティパターン1以外のセキュリティパターン2、3、4に変更も可能です。
3. トイレ、バスコールの室内親機での警報音量は、遅延時間内は、本体の音量スイッチに連動した音量を鳴動し、移報遅延時間経過後は、大音量で鳴動します。
4. 件名のシステム構成図をもとに、住戸番号によるセキュリティパターンと機能項目(プログラム番号900～913)を設定します。

集合住宅用室内親機の セキュリティパターン2 を設定する場合

室内親機ごとにセキュリティパターンを設定するためにセキュリティパターン2を設定する
カラーモニター室内親機の場合、924以外のセキュリティパターンは無効です。

セキュリティパターン2 プログラム番号920～933

920～929はVL-M367FA/VJ-M368FAとVG-M369FA以降に有効
930～933はVG-M369FA以降のみ有効

プログラム 番号	セキュリティ設定内容	初期値	備 考	記 入
920	防犯玄関子機警報の有り/無し (防犯発生時に警報音を戸外表示付玄関子機からの鳴動有無設定)	0: 警報無し	1: 警報有り	
921	防犯2のみ警報遅延時間(30秒/60秒)設定	0: 30秒	1: 60秒	
922	防犯警報30秒自動停止の有り/無し (室内親機の防犯警報を30秒後に自動停止を行うかを設定)	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
923	警報30分自動停止有り/無し (警報音を30分後に自動停止を行うかを設定) (ただし火災・ガスもれ・非常は除く)	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
924	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し (住戸の水もれ警報を室内親機に表示・鳴動を行うかを設定)	1: 鳴動有り 表示有り	0: 鳴動無し 表示無し 2: 鳴動無し 表示有り	
925	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し (トイレコールON時の移報鳴動を行うかを設定)	0: 移報無し	1: 移報有り	
926	トイレコールON時の移報遅延時間(0～60秒) (トイレコール移報音の遅延時間を設定)	00: 0秒	0～60秒 (00～60)	
927	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し (バスコールON時の移報鳴動を行うかを設定)	0: 移報無し	0: 移報有り	
928	バスコールON時の移報遅延時間(0～60秒) (バスコール移報音の遅延時間を設定)	00: 0秒	0～60秒 (00～60)	
929	火災確認時間 [室内親機側の火災警報音が「火災感知器が作動しました。確認してください。」から「火事です。火事です。火災が発生しました。」に切替わる時間(確認時間)の設定]	2: 2分	2～5分 (2～5)	
930	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し 防犯発報時に戸外表示付玄関子機への警報音を30秒遅らせるかを設定。 但し、プログラム番号920が(1)の場合に有効	0: 無し (室内と同時)	1: 有り (室内より30秒 遅延)	
931	バス、トイレ SW対応種別 バスコール、トイレコールに取り付けたスイッチの種別を設定 (ロック式の場合はスイッチ連動になります)	0: ノンロック式	1: ロック式	
932	家人呼びSWロック/ノンロック 家人呼びに取り付けたスイッチの種別を設定。又、ノンロック(1)に設定すると非常になります。(ロック式の場合はスイッチ連動で連絡/呼び出し音となります)	0: ロック式 (家人呼び)	1: ノンロック式 (非常)	
933	外部試験時テレコン移報出力(火災出力)有り/無し 外部試験時にテレコン移報の有無を設定	1: 有り	0: 無し	

お知らせ

1. 住戸番号設定時、自動的にセキュリティパターン2の内容(プログラム番号920～933の初期値)が設定されます。
ただしプログラムの設定によりセキュリティパターンの変更も可能です。
2. セキュリティパターン2以外のセキュリティパターン1、3、4に変更も可能です。
3. トイレ、バスコールの室内親機での警報音量は、遅延時間内は、本体の音量スイッチに連動した音量を鳴動し、移報遅延時間経過後は、大音量で鳴動します。
4. 件のシステム構成図をもとに、住戸番号によるセキュリティパターンと機能項目(プログラム番号920～933)を設定します。

集合住宅用室内親機の セキュリティパターン3 を設定する場合

室内親機ごとにセキュリティパターンを設定するためにセキュリティパターン3を設定する
 カラーモニター室内親機の場合、944以外のセキュリティパターンは無効です。

セキュリティパターン3 プログラム番号940～953

940～949はVL-M367FA / VJ-M368FAとVG-M369FA以降に有効
 950～953はVG-M369FA以降のみ有効

プログラム番号	セキュリティ設定内容	初期値	備考	記入
940	防犯玄関子機警報の有り/無し (防犯発生時に警報音を戸外表示付玄関子機からの鳴動有無設定)	0: 警報無し	1: 警報有り	
941	防犯2のみ警報遅延時間(30秒/60秒)設定	0: 30秒	1: 60秒	
942	防犯警報30秒自動停止の有り/無し (室内親機の防犯警報を30秒後に自動停止を行うかを設定)	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
943	警報30分自動停止有り/無し (警報音を30分後に自動停止を行うかを設定) (ただし火災・ガスもれ・非常は除く)	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
944	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し (住戸の水もれ警報を室内親機に表示・鳴動を行うかを設定)	1: 鳴動有り 表示有り	0: 鳴動無し 表示無し 2: 鳴動無し 表示有り	
945	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し (トイレコールON時の移報鳴動を行うかを設定)	0: 移報無し	1: 移報有り	
946	トイレコールON時の移報遅延時間(0～60秒) (トイレコール移報音の遅延時間を設定)	00: 0秒	0～60秒 (00～60)	
947	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し (バスコールON時の移報鳴動を行うかを設定)	0: 移報無し	0: 移報有り	
948	バスコールON時の移報遅延時間(0～60秒) (バスコール移報音の遅延時間を設定)	00: 0秒	0～60秒 (00～60)	
949	火災確認時間 [室内親機側の火災警報音が「火災感知器が作動しました。確認してください。」から「火事です。火事です。火災が発生しました。」に切替わる時間(確認時間)の設定]	2: 2分	2～5分 (2～5)	
950	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し 防犯発報時に戸外表示付玄関子機への警報音を30秒遅らせるかを設定。 但し、プログラム番号940が(1)の場合に有効	0: 無し (室内と同時)	1: 有り (室内より30秒遅延)	
951	バス、トイレ SW対応種別 バスコール、トイレコールに取り付けたスイッチの種別を設定 (ロック式の場合はスイッチ連動になります)	0: ノンロック式	1: ロック式	
952	家人呼びSWロック/ノンロック 家人呼びに取り付けたスイッチの種別を設定。又、ノンロック(1)に設定すると非常になります。(ロック式の場合はスイッチ連動で連絡/呼び出し音となります)	0: ロック式 (家人呼び)	1: ノンロック式 (非常)	
953	外部試験時テレコン移報出力(火災出力)有り/無し 外部試験時にテレコン移報の有無を設定	1: 有り	0: 無し	

お知らせ

- 住戸番号設定時、自動的にセキュリティパターン3の内容(プログラム番号940～953の初期値)が設定されます。ただしプログラムの設定によりセキュリティパターンの変更も可能です。
- セキュリティパターン3以外のセキュリティパターン1、2、4に変更も可能です。
- トイレ、バスコールの室内親機での警報音量は、遅延時間内は、本体の音量スイッチに連動した音量を鳴動し、移報遅延時間経過後は、大音量で鳴動します。
- 件のシステム構成図をもとに、住戸番号によるセキュリティパターンと機能項目(プログラム番号940～953)を設定します。

集合住宅用室内親機の **セキュリティパターン4** を設定する場合

室内親機ごとにセキュリティパターンを設定するためにセキュリティパターン4を設定する
 カラーモニター室内親機の場合、964以外のセキュリティパターンは無効です。

セキュリティパターン4 プログラム番号960～973

960～969はVL-M367FA/VJ-M368FAとVG-M369FA以降に有効
 970～973はVG-M369FA以降のみ有効

プログラム番号	セキュリティ設定内容	初期値	備考	記入
960	防犯玄関子機警報の有り/無し (防犯発生時に警報音を戸外表示付玄関子機からの鳴動有無設定)	0: 警報無し	1: 警報有り	
961	防犯2のみ警報遅延時間(30秒/60秒)設定	0: 30秒	1: 60秒	
962	防犯警報30秒自動停止の有り/無し (室内親機の防犯警報を30秒後に自動停止を行うかを設定)	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
963	警報30分自動停止有り/無し (警報音を30分後に自動停止を行うかを設定) (ただし火災・ガスもれ・非常は除く)	0: 自動停止無し	1: 自動停止有り	
964	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し (住戸の水もれ警報を室内親機に表示・鳴動を行うかを設定)	1: 鳴動有り 表示有り	0: 鳴動無し 表示無し 2: 鳴動無し 表示有り	
965	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し (トイレコールON時の移報鳴動を行うかを設定)	0: 移報無し	1: 移報有り	
966	トイレコールON時の移報遅延時間(0～60秒) (トイレコール移報音の遅延時間を設定)	00: 0秒	0～60秒 (00～60)	
967	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し (バスコールON時の移報鳴動を行うかを設定)	0: 移報無し	0: 移報有り	
968	バスコールON時の移報遅延時間(0～60秒) (バスコール移報音の遅延時間を設定)	00: 0秒	0～60秒 (00～60)	
969	火災確認時間 [室内親機側の火災警報音が「火災感知器が作動しました。確認してください。」から「火事です。火事です。火災が発生しました。」に切替わる時間(確認時間)の設定]	2: 2分	2～5分 (2～5)	
970	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し 防犯発報時に戸外表示付玄関子機への警報音を30秒遅らせるかを設定。 但し、プログラム番号960が(1)の場合に有効	0: 無し (室内と同時)	1: 有り (室内より30秒遅延)	
971	バス、トイレ SW対応種別 バスコール、トイレコールに取り付けたスイッチの種別を設定 (ロック式の場合はスイッチ連動になります)	0: ノンロック式	1: ロック式	
972	家人呼びSWロック/ノンロック 家人呼びに取り付けたスイッチの種別を設定。又、ノンロック(1)に設定すると非常になります。(ロック式の場合はスイッチ連動で連絡/呼び出し音となります)	0: ロック式 (家人呼び)	1: ノンロック式 (非常)	
973	外部試験時テレコン移報出力(火災出力)有り/無し 外部試験時にテレコン移報の有無を設定	1: 有り	0: 無し	

お知らせ

1. 住戸番号設定時、自動的にセキュリティパターン4の内容(プログラム番号960～973の初期値)が設定されます。ただしプログラムの設定によりセキュリティパターンの変更も可能です。
2. セキュリティパターン4以外のセキュリティパターン1、2、3に変更も可能です。
3. トイレ、バスコールの室内親機での警報音量は、遅延時間内は、本体の音量スイッチに連動した音量を鳴動し、移報遅延時間経過後は、大音量で鳴動します。
4. 件のシステム構成図をもとに、住戸番号によるセキュリティパターンと機能項目(プログラム番号960～973)を設定します。

IP変換器の系統別IPLC(IPラインカード)を中央制御装置の何系統に接続するかの設定です。

系統番号は1桁 1～8

プログラム 番号	対 象	初期値			確認 チェック欄
		初期値	接続する系統番号を記入する 1桁(1～8)		
1000	1	IPLC ₁ 設定用	空白		
	2	IPLC ₂ 設定用	空白		
	3	IPLC ₃ 設定用	空白		
	4	IPLC ₄ 設定用	空白		
	5	IPLC ₅ 設定用	空白		
	6	IPLC ₆ 設定用	空白		
	7	IPLC ₇ 設定用	空白		
	8	IPLC ₈ 設定用	空白		

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

(注1) 中央制御装置1台に接続できる台数と機種

IPLCを最大8台～最小0台

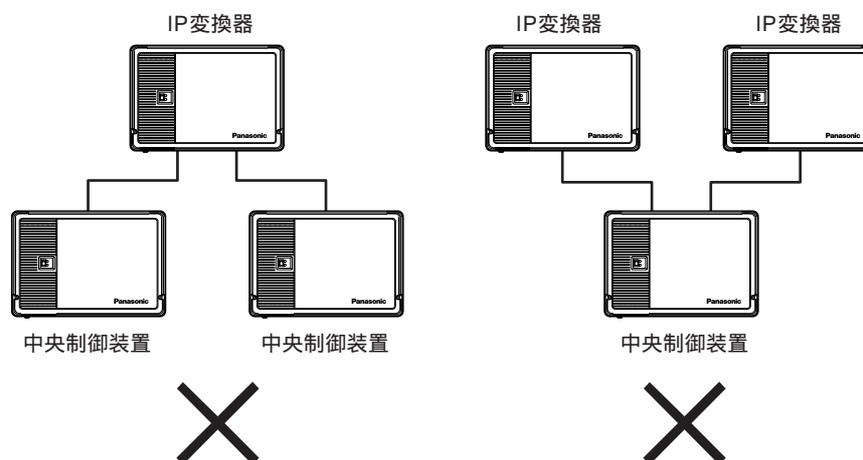
IP変換器(VG-C104D：IPLCを2つ初実装)

IP3LCユニット(VG-C974D)を最大2台、IP変換器に実装することで、IPLCを8つにすることができます。

(注2) 1系統に接続可能なIPLCの台数は最大1台です。更に他の共用部機器と室内親機含めた1系統合計台数が64台(配線条件により減ります)を越えないように接続してください。

(注3) 接続されていないIPLCに1～8を設定すると異常情報が上がります。

(注4) 異なる中央制御装置に対して1つのIP変換器を共用、または異なるIP変換器に対して1つの中央制御装置を共用した接続はしないでください。



プログラム 番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
1001	<p>FTPサーバーのIPアドレス設定</p> <p>外部情報が蓄積されているFTPサーバーのIPアドレスの設定です。この設定値はIP変換器の各IPLCに転送され、各IPLCがTCP/IP通信を行う際の送信先IPアドレスとして使用されます。</p> <p>FTPサーバーのIPアドレスはFTPサーバーの管理元で決定されることになり、各マンションシステムを管理するFTPサーバーごとに異なります。</p>	<p>192.168.0.100 (192.168.000.100)</p>	(xxx.xxx.xxx.xxx)	
1002	<p>デフォルトゲートウェイのIPアドレス設定</p> <p>デフォルトゲートウェイとなるルーターのマンションネットワーク側のIPアドレスの設定です。この設定値はIP変換器の各IPLCに転送され、各IPLCがTCP/IP通信を行う際のデフォルトゲートウェイIPアドレスとして使用されます。デフォルトゲートウェイとなるルーターのマンションネットワーク側のIPアドレスは、マンション内のLANのネットワーク構成に合わせて決定する必要があります。</p>	<p>192.168.0.1 (192.168.000.001)</p>	(xxx.xxx.xxx.xxx)	
1003	<p>サブネットマスク設定</p> <p>ネットワークをサブネット化するために使用するネットマスク設定です。この設定値はIP変換器の各IPLCに転送され、各IPLCがTCP/IP通信を行う際のネットマスクとして使用されます。</p> <p>IP変換器からFTPサーバーまでのネットワーク構成に合わせて利用します。</p>	<p>255.255.255.0 (255.255.255.000)</p>	(xxx.xxx.xxx.xxx)	
1004	<p>ログインアカウント設定</p> <p>FTPサーバーへのログインアカウントの設定です。例えば「0」と「00」や「1」と「01」は異なる値として区別されます。この設定値はIP変換器の各IPLCに転送され、各IPLCがFTPサーバーにログインする際に先頭にPを付与してログインします。 (例：P12345678)</p> <p>ログインアカウントはFTPサーバーの管理元で決定されることになります。</p>	<p>12345678 (12345678)</p>	(0~99999999)	
1005	<p>ログインパスワード設定</p> <p>FTPサーバーへのログインパスワードの設定です。例えば「0」と「00」や「1」と「01」は異なる値として区別されます。この設定値はIP変換器の各IPLCに転送され、各IPLCがFTPサーバーにログインする際に先頭にPを付与してログインします。 (例：P87654321)</p> <p>ログインパスワードはFTPサーバーの管理元で決定されることになります。</p>	<p>87654321 (87654321)</p>	<p>(0~99999999)</p> <p><u>本パスワード情報の管理には十分注意してください。</u></p> <p>(本パスワードを本書に記入の場合は、本書の保管場所にも十分注意してください。)</p>	

2 プログラム登録(変更)マニュアル

VG-C101DA用

お願い プログラム設定の具体的な方法掲載
 住戸番号自動登録方式の室内親機の場合は、プログラム番号90、11～18の設定確認、または登録・変更以降で、かつその他のプログラム登録前に住戸番号の登録がされていること。

目 次		頁
プログラムボードの準備 プログラム表とプログラムボードの関連 イニシャルセット(初期設定)の方法		53～55
プログラム設定の簡易操作説明(最初から変更登録、一部変更、確認方法)		56～58
プログラム番号	設 定 内 容	頁
00	(設定不要)	-
02	一斉放送有り/無し設定	59
03	警報音停止有り/無し設定	59～60
04 R	共同玄関子機1～8の接続系統番号設定	60～61
05 R	管理事務室親機1～8の接続系統番号設定	62～63
07	住戸からの管理事務室呼出規制有り/無し設定	64
08	管理事務室親機からの通信異常情報出力有り/無し設定	65
09	共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定	66～67
10	管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り/無し設定	68
11～18 R	系統別LC1～8が管理する棟番号設定	69～71
19 R	各種同時接続本数設定	72
20 R	LC1～8が管理する棟のアナログ映像ライン設定	73～74
21～28 R	共同玄関子機1～8が属する棟番号設定	75～78
30	管理事務室親機グループ着信有り/無し設定	79
31～38 R	管理事務室親機1～8が管理する棟番号設定	80～81
40	暗証番号2の種別設定	82
41～48	共同玄関子機1～8の電気錠暗証番号1、2設定	83～84
50	(設定不要)	84
51～58	共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間帯1、2設定	85～86
60	年月日(日付の)設定	87
61	時分秒(時刻の)設定	87
63	監視カメラ映像最大接続時間設定	88
64	共用部通話最大接続時間設定	88
65	住戸間通話最大接続時間設定	88
66	ガス断線発報の有り/無し設定	89
67	(設定不要)	89
68	報知音鳴動時間帯設定	90
69	(設定不要)	90
71～78	共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間設定	91～92
80	(設定不要)	92
81 R	集住映像伝送アダプター1～8の接続系統番号設定	93～94
82	(設定不要)	95
83 R	監視カメラ1～8の連動指定設定	96～97
84 R	管理事務室親機1～8のモニター連動指定設定	98～99
90 R	OLCユニット実装/未実装設定	100

R：登録内容を変更後、プログラムボードのモードスイッチを運用側にした時点で制御装置の動作がリセットされる項目です。

プログラム番号	設定内容	頁
91 R	集中制御装置の接続系統番号設定	101
92 R	アダプター1～8の接続系統番号設定	102
93	一斉放送の音量調整設定	103
94	(設定不要)	103
100	プログラムボードからの住戸番号登録許可 / 禁止設定	104
101～864 R	LC1～8に接続された室内親機の住戸番号の <input type="checkbox"/> 確認 / 設定	105～106
900～973	セキュリティ機能付室内親機のセキュリティパターン <input type="checkbox"/> 1 , <input type="checkbox"/> 2 , <input type="checkbox"/> 3 , <input type="checkbox"/> 4 の設定	107～116
1000 R	IPLC1～8の接続系統番号設定	117～118
1001 R	FTPサーバーのIPアドレス設定	119～120
1002 R	デフォルトゲートウェイのIPアドレス設定	119～120
1003 R	サブネットマスク設定	119～120
1004 R	ログインアカウント設定	121
1005 R	ログインパスワード設定 (注)	121
管理事務室親機でのプログラム設定方法		122～123

R : 登録内容を変更後、プログラムボードのモードスイッチを運用側にした時点で制御装置の動作がリセットされる項目です。

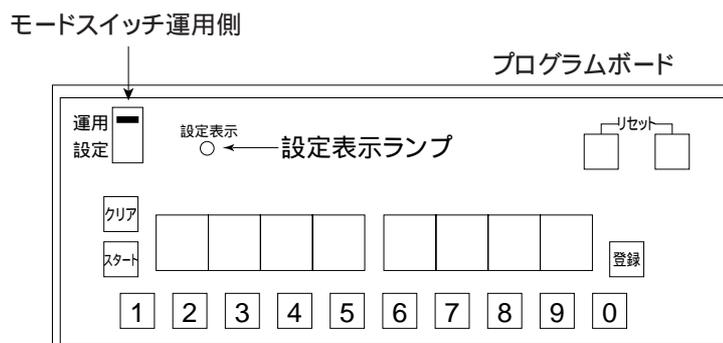
(注) : ログインパスワード情報の管理には十分注意してください。

プログラムボードの準備

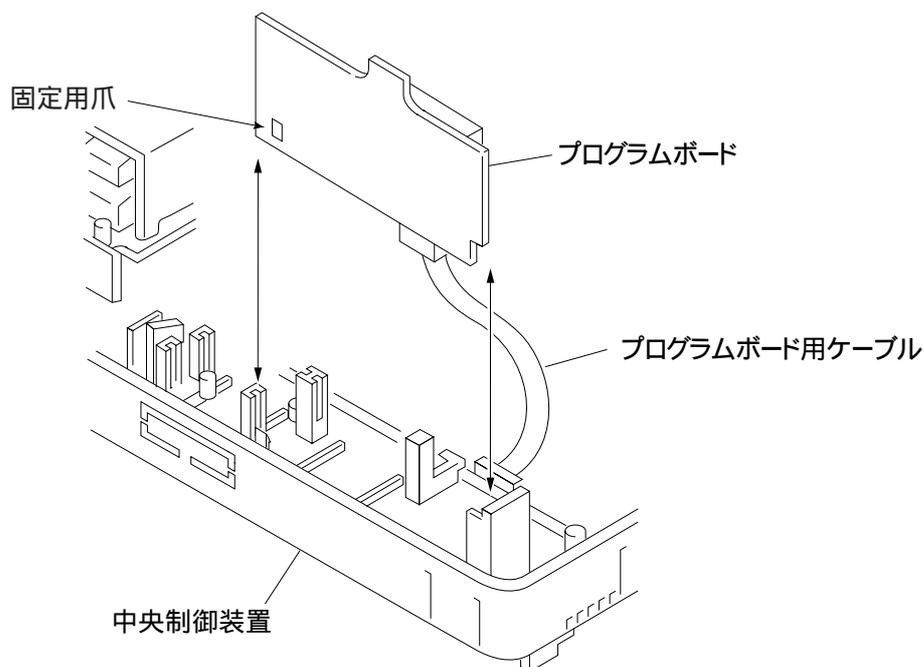
プログラムボードは、プログラム登録開始時、中央制御装置より取り出してください。
終了後、中央制御装置に収納してください。

お願い

プログラム設定終了後、プログラムボードのモードスイッチは、運用側にしてください。
(設定表示ランプは、消灯)

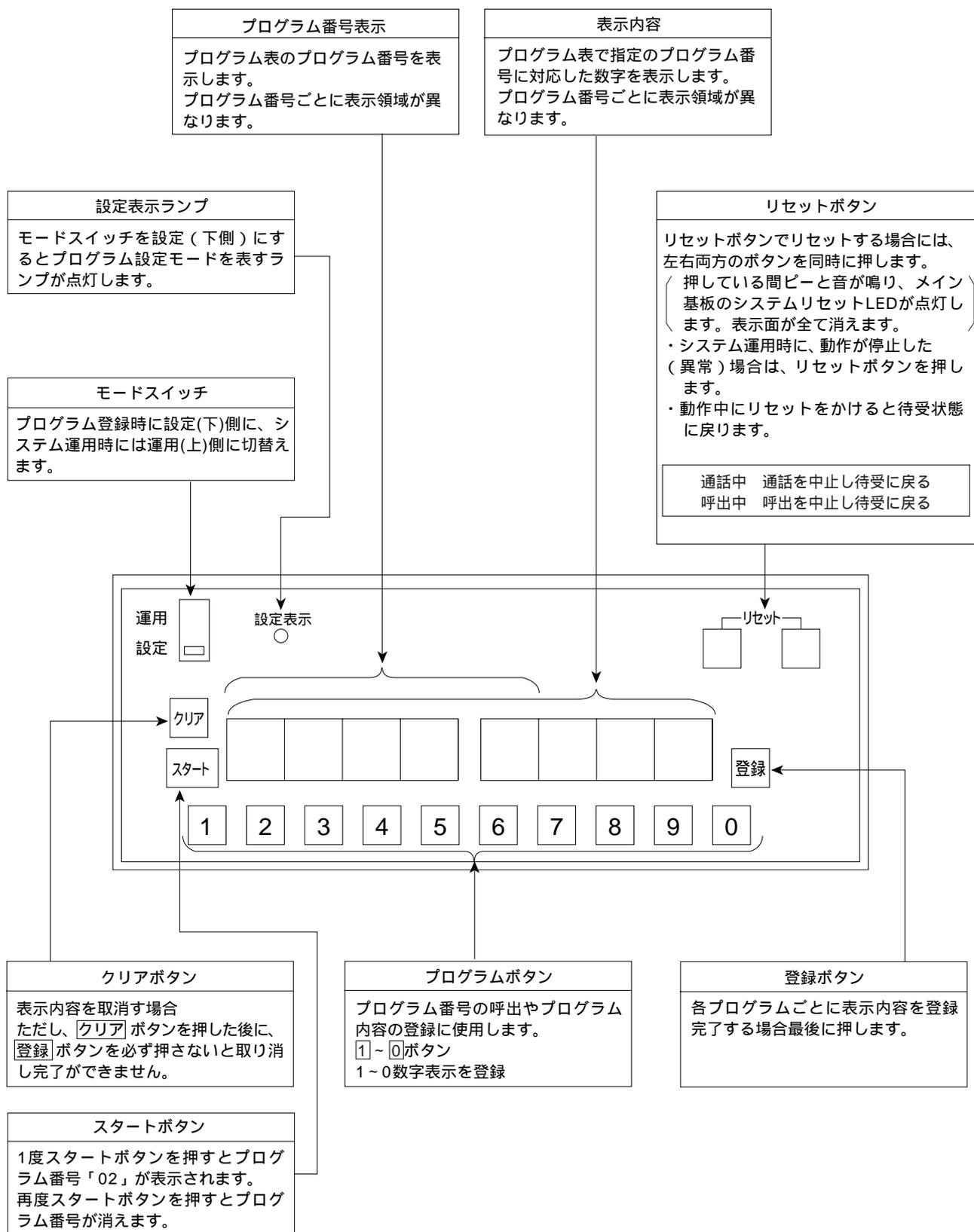


収納する場合は、固定用爪がひっかかるまで（プログラムボード用ケーブルを、はさまないように）上から押し込んでください。



プログラム表とプログラムボードの関連

プログラム表とプログラムボードの関係およびプログラムボードの操作部の説明を下記に示します。



イニシャルセット（初期設定）の方法...出荷時状態（初期値）

- (1) 作成したプログラムを登録完了後、または登録途中でこのイニシャルセットを実行すると登録した内容は消え全てイニシャルセット状態（工場出荷時）になります。
- (2) プログラム登録を行う前に必ずこのイニシャルセット手順を実行してください。
イニシャルセットが不完全な場合、CPUが動作しませんのでご注意ください。
- (3) イニシャルセット後はプログラム番号90、11～18の設定を確認、または登録・変更してください。
- (4) 住戸番号等は初期設定されていませんので登録してください。（室内親機側の住戸番号自動登録方式により）

プログラムボードのモードスイッチは、必ず運用側にしてください。
中央制御装置の電源スイッチをOFF
[「ON」ランプ消える（「STDBY」ランプ点灯）]

メイン基板のセット→クリア(SW1)スイッチをクリア（下側）にする

中央制御装置の電源スイッチをONにする（「ON」ランプ点灯）

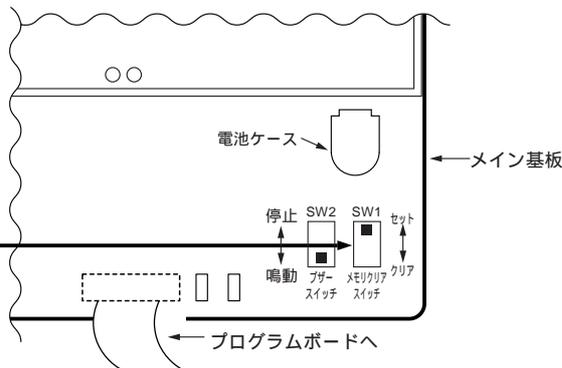
(2) 表示部に「E-3」と表示されピー音が鳴る。
（「E-3」表示が出ない場合もあります）

メイン基板のセット→クリア(SW1)スイッチをセット（上側）にする

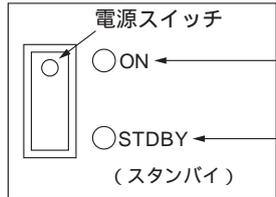
(2) プログラムボードの表示部の「E-3」表示が消えピー音がとまる

イニシャルセット（初期設定）完了

プログラム設定スタート

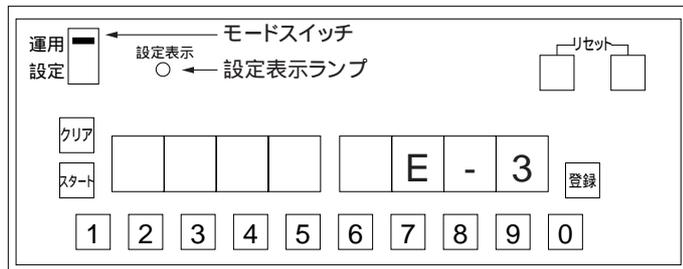


<中央制御装置の電源スイッチ部>



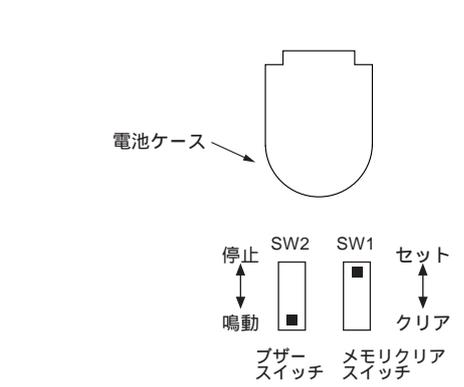
(1) STD BY (スタンバイ) ランプ点灯時は、AC100V電源が中央制御装置に供給されています。

	電源スイッチ	
	OFF	ON
ON ランプ	消灯	点灯
(1) STD BY (スタンバイ) ランプ	点灯	点灯
中央制御装置の動作状態	動作せず	動作中

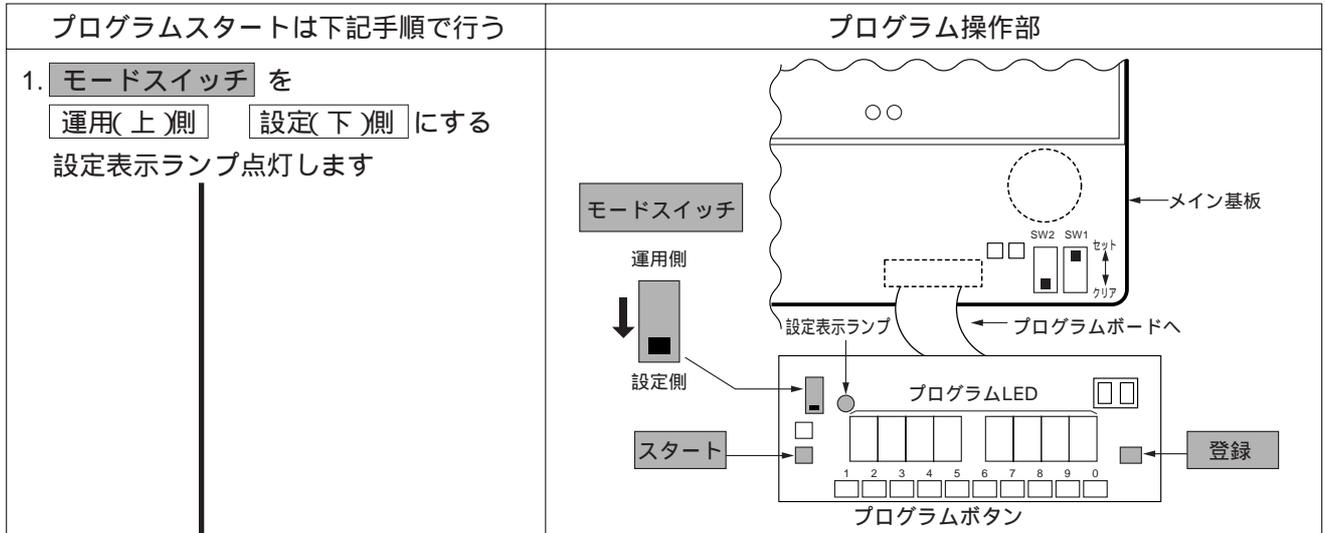


プログラムボード部

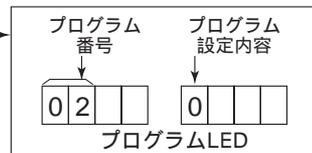
(2) 制御装置の電池の近くにあるブザースイッチ（SW2）が鳴動側（出荷時状態）の場合にピー音が鳴動します。



プログラムを **最初から変更登録** する場合



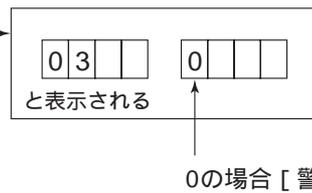
2. **スタート** ボタンを押す
最初のプログラム番号02が表示される（一斉放送有り/無し設定）
（*）



3. 必要ならばプログラム番号02の登録内容を変更する
59頁参照

4. **登録** ボタンを押す

- ・変更した内容が登録される
- ・次のプログラム番号03の表示（警報音停止有り/無し設定）
- ・プログラム設定内容を表示（*）



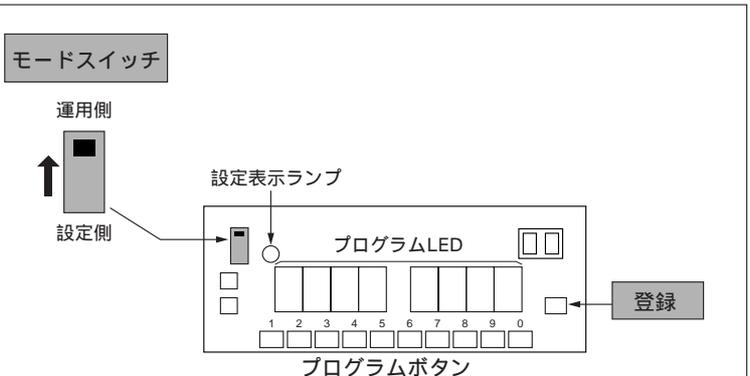
5. 必要ならばプログラム番号03の登録内容を変更する
59～60頁参照

〔*〕: **スタート** ボタンを押すと
1. の状態に戻ります。

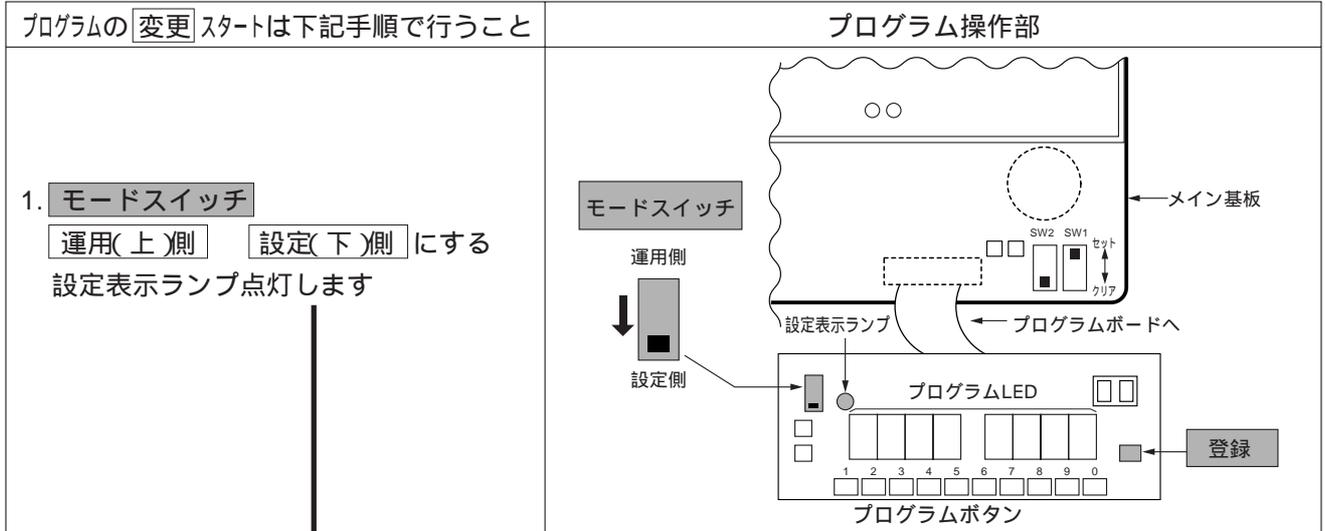
以下くり返す

6. 登録が終了し、システムを動作させる

モードスイッチ を **設定側** **運用側** にする
設定表示ランプが消える

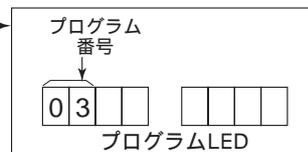


プログラムの登録内容を **一部変更** する場合



2. 変更しようとするプログラム番号を呼び出す

・プログラムボタンを押す
 例) プログラム番号03
 (警報音停止有り/無し設定)
 プログラムボタンを0・3と押す



3. **登録** ボタンを押す

プログラム番号03の登録内容が表示される(*)



0の場合 [警報音停止無しの状態]

4. プログラム番号03の登録内容を変更する

例) 警報音停止無し 警報音停止有りにする場合
 0: 警報音停止無し
 1: 警報音停止有り

プログラムボタンの1を押す



(注) この状態では、まだ内容の変更登録はされていません。

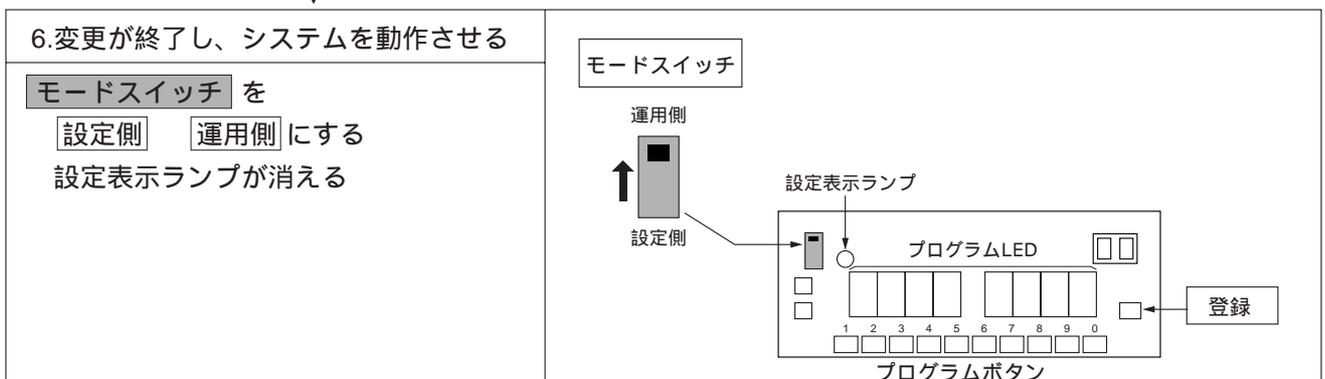
5. **登録** ボタンを押す

プログラム番号03の内容変更完了と次のプログラム番号04の内容が表示される(*)



(*) : **スタート** ボタンを押すと1.の状態に戻ります。

プログラムの**変更**完了

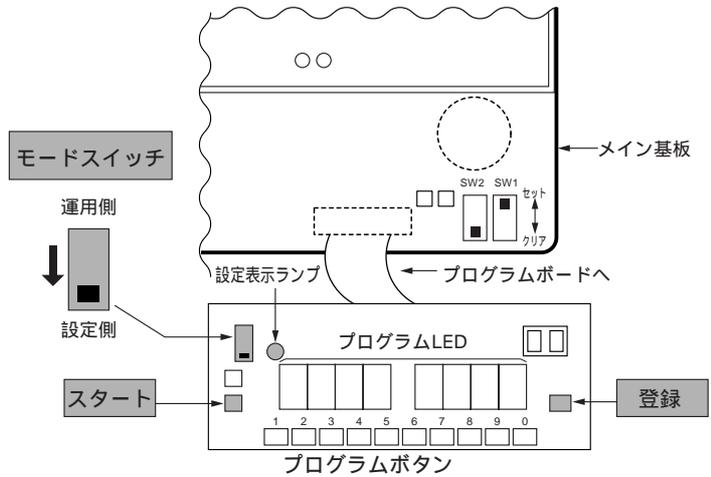


プログラムの登録内容を **確認** する場合

プログラムの**確認**スタートは下記手順で行うこと

1. **モードスイッチ** を **運用(上)側** **設定(下)側** にする
設定表示ランプ点灯します

プログラム操作部

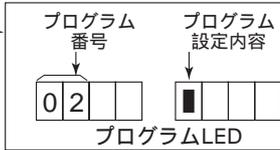


最初のプログラム番号02から **確認** する場合

任意のプログラム番号を **確認** する場合

2. **スタート** ボタンを押す

最初のプログラム番号02の内容が表示される。(*)

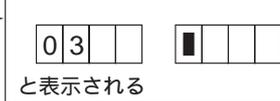


2. 確認する任意のプログラム番号を呼び出す

プログラムボタンを押す。
(例)プログラム番号03
(警報音停止有り/無し設定)
プログラムボタン0・3と押す。

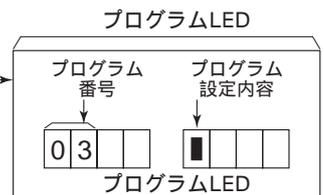
3. **登録** ボタンを押す

次のプログラム番号03の内容が表示される。(*)



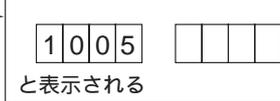
3. **登録** ボタンを押す

プログラム番号03の内容が表示される。(*)



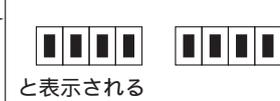
4. **登録** ボタンを押す

最後のプログラム番号1005
が表示される。(*)



5. **登録** ボタンを押す

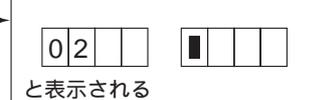
最後のプログラム番号1005
の設定内容が表示される。



[(*)]: **スタート** ボタンを押すと
1.の状態に戻ります。

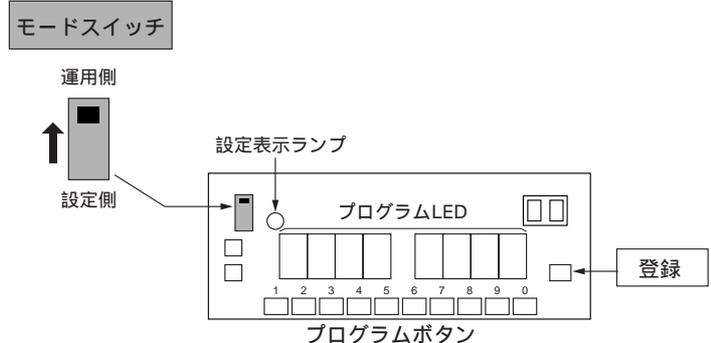
6. **登録** ボタンを押す

最初のプログラム番号02に
戻る。(*)

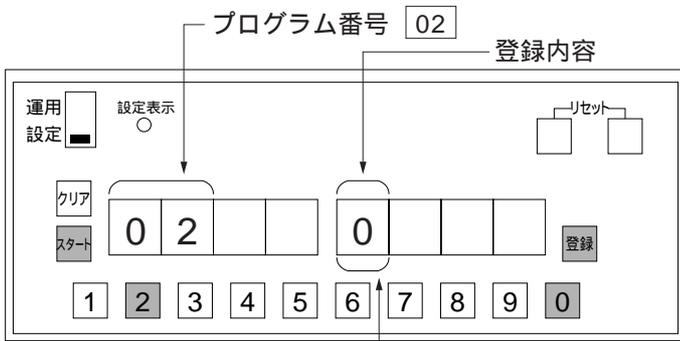


7.確認が終了し、システムを動作させる

モードスイッチ を **設定側** **運用側** にする
設定表示ランプが消える



一斉放送有り / 無し設定 (プログラム番号 02)

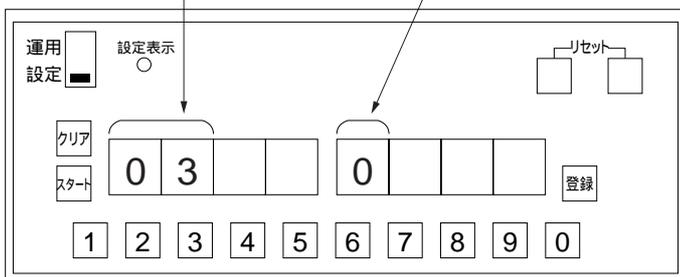


- ①
- ・モードスイッチを設定(下)側にし、スタートボタンを押す。
 - または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“0”と“2”と“登録”を順に押す。

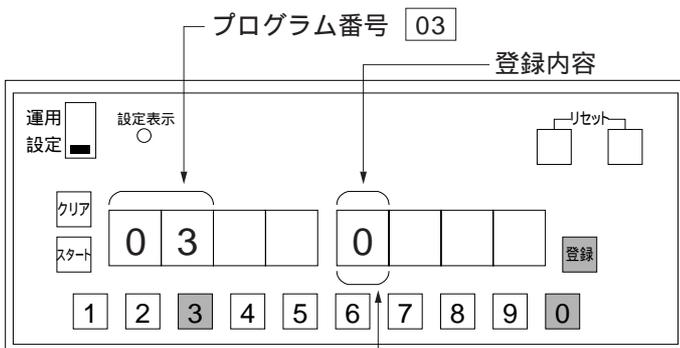
- 0 : 一斉無し (出荷時状態)
- 1 : 一斉有り.....管理事務室親機より、全棟、棟別の一斉放送及び緊急放送ができます。
- 2 : 一斉・フロア一斉有り...管理事務室親機より全棟、フロア別、棟別の一斉放送及び緊急放送ができます。(注意：室内親機がVL-365Cの場合はフロア別に一斉放送はできません。)

- ② 変更はプログラムボタン“2”、“1”または“0”を押す。
 ③ “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 03 と登録内容が表示されます。

変更しない場合は、“登録”のみ押す。



警報音停止有り / 無し設定 (プログラム番号 03)



- ①
- ・前の「一斉放送有り / 無し設定」後、
 - または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“0”と“3”と“登録”を順に押す。

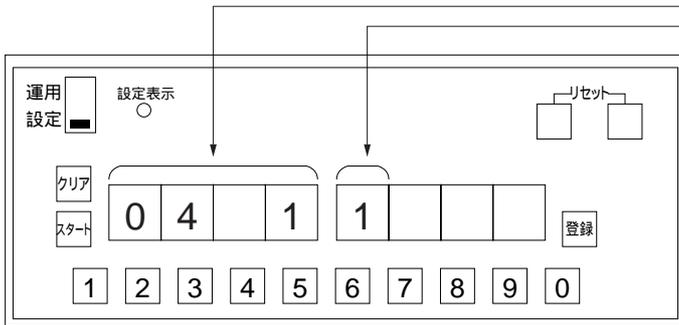
- 0 : 警報音停止無し (出荷時状態)
- 1 : 警報音停止有り (ただし、感知器作動、火災確定、ガス漏れ、非常は停止できません。)

- 警報音停止有り... ・住戸内の室内親機、室内子機、補助音響装置および戸外表示付玄関子機から鳴動している警報音を管理事務室親機で停止させることができます。
 ・戸外表示付玄関子機から鳴動している警報音のみ管理事務室親機から停止させます。

操作方法については、管理事務室親機の取扱説明書を参照してください。

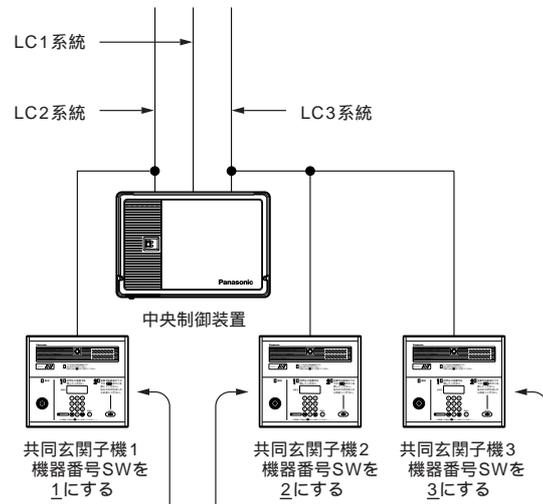
次のページへ

- ② 変更はプログラムボタン“1”または“0”を押す。
- ③ “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 04^{-1} と登録内容が表示されます。



共同玄関子機 1 ~ 8 の接続系統番号設定 (プログラム番号 04^{-1} ~ 04^{-8})

〔注〕共同玄関子機が複数の場合は、共同玄関子機内にある機器番号SWを設定し（取付工事説明書参照）機器番号に対応したプログラム番号に接続系統番号を登録します。



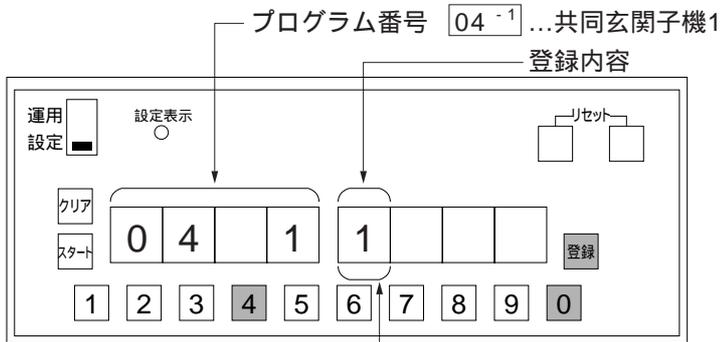
〔注〕共同玄関子機の機器番号SWは重複しないこと。
(誤動作します)
出荷時全て“1”になっています。

プログラム表

プログラム番号	対 象	初期値		
		接続する系統番号を記入する 1桁 (1-8)	確認 チェック欄	
04	共同玄関子機 1 設定用	1	2	
	共同玄関子機 2 設定用	空白	3	
	共同玄関子機 3 設定用	空白	3	
	共同玄関子機 4 設定用	空白		
	共同玄関子機 5 設定用	空白		
	共同玄関子機 6 設定用	空白		
	共同玄関子機 7 設定用	空白		
	共同玄関子機 8 設定用	空白		

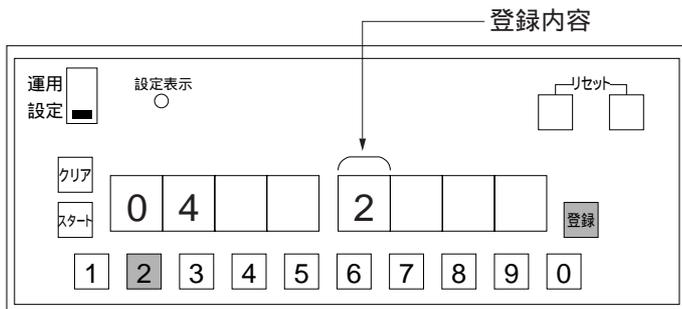
1桁
1-8 : 接続系統番号
空白 : 未接続

プログラム表の頁の (注1~4) を参照願います。

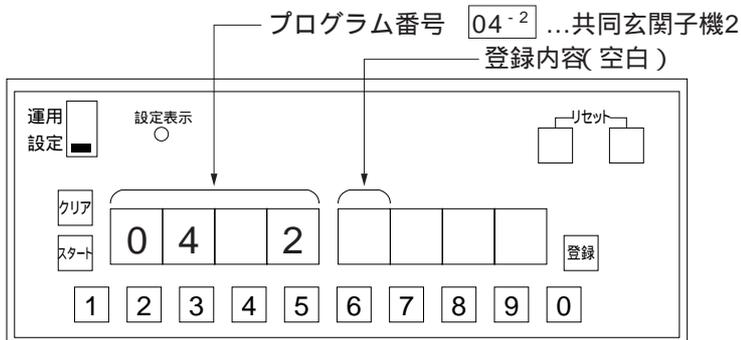


- ①
- ・前の「警報音停止有り/無し設定」後、または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“0”と“4”と“登録”を順に押す。

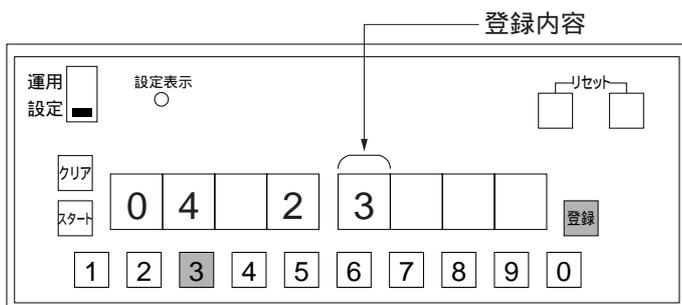
1~8：接続系統番号
空白：未接続



- ② 共同玄関子機1が接続される系統番号1桁(1~8)をプログラムボタン「1~8」で登録します。



- ③ “登録”を押すと04-2が表示されます。



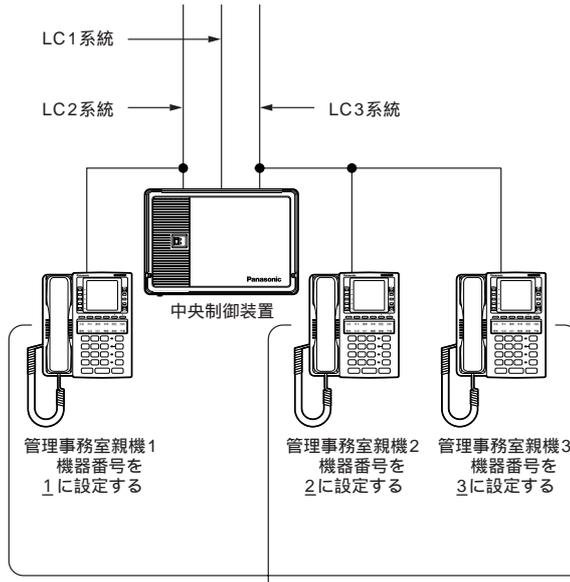
- ④ 共同玄関子機2が接続されていれば、接続されている系統番号1桁(1~8)を登録してください。接続されていなければ、そのまま“登録”を押すことにより次のプログラム番号 04⁻³が表示されます。

以下プログラム番号 04⁻⁸まで繰り返します。
プログラム番号 04⁻⁸の次はプログラム番号 05⁻¹となります。

管理事務室親機1～8の接続系統番号設定

(プログラム番号 05⁻¹ ~ 05⁻⁸)

〔注〕管理事務室親機が複数の場合は、管理事務室親機の機器番号を設定し（取付工事説明書参照）、機器番号に対応したプログラム番号に接続系統番号を登録します。



〔注〕管理事務室親機の機器番号設定は重複しないこと。
(誤動作します)
出荷時全て“0”になっています。

プログラム表

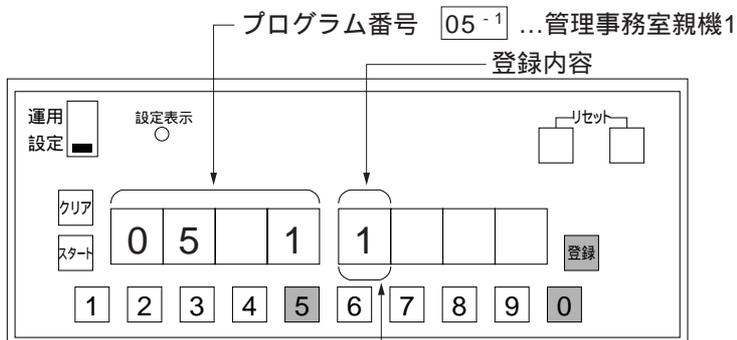
プログラム番号	対 象	初期値	接続する系統番号を記入する 1桁 (1-8)	確認 チェック欄
		1	管理事務室親機 1 設定用	1
2	管理事務室親機 2 設定用	空白	3	
3	管理事務室親機 3 設定用	空白	3	
05	4 管理事務室親機 4 設定用	空白		
	5 管理事務室親機 5 設定用	空白		
	6 管理事務室親機 6 設定用	空白		
	7 管理事務室親機 7 設定用	空白		
	8 管理事務室親機 8 設定用	空白		

1桁

1-8: 接続系統番号

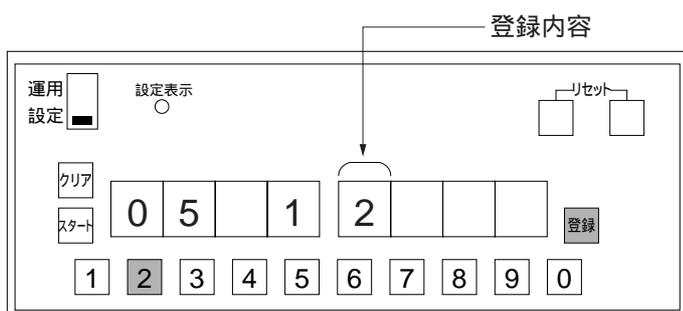
空白: 未接続

プログラム表の頁の (注1～4) を参照願います。

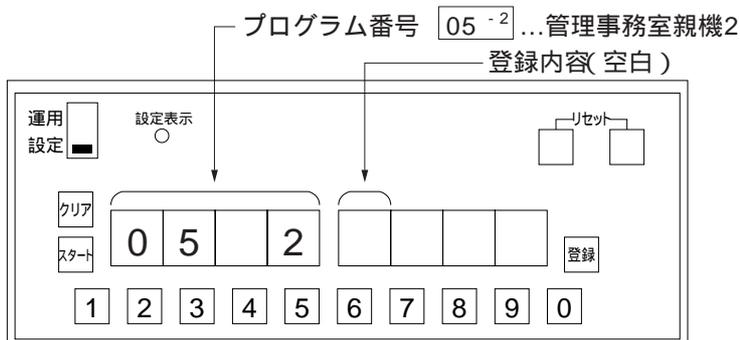


- (a) ・前の「共同玄関子機8の接続系統番号設定」後、または
 ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“0”と“5”と“登録”を順に押す。

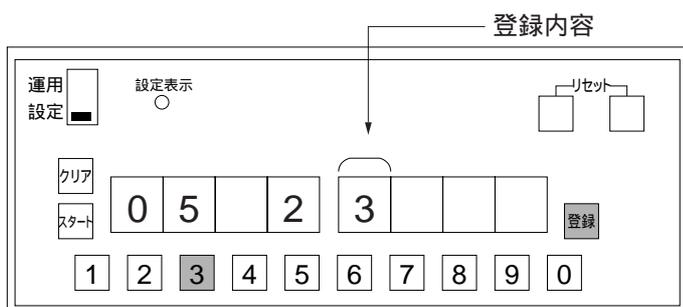
1~8：接続系統番号
 空白：未接続



- (b) 管理事務室親機1が接続される系統番号1桁(1~8)をプログラムボタン「1~8」で登録します。



- (c) “登録”を押すと05-2が表示されます。



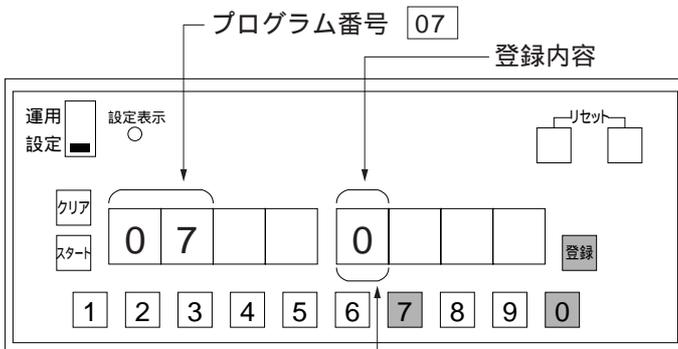
- (d) 管理事務室親機2が接続されていれば、接続されている系統番号1桁(1~8)を登録して下さい。接続されていなければ、そのまま“登録”を押すことにより次のプログラム番号 **05⁻³** が表示されます。

以下プログラム番号 **05⁻⁸** まで繰り返します。プログラム番号 **05⁻⁸** の次はプログラム番号 **07** となります。

住戸からの管理事務室親機呼出規制有り / 無し設定 (プログラム番号 07)

各室内親機 (例VL-M367FA) から管理事務室親機への呼び出しができるか、できないかの設定です。

ただし、設定が1:管理事務室親機呼出規制有り [呼び出しができない] の状態でも管理事務室親機から室内親機にメッセージ登録した場合は呼び出しはできます。



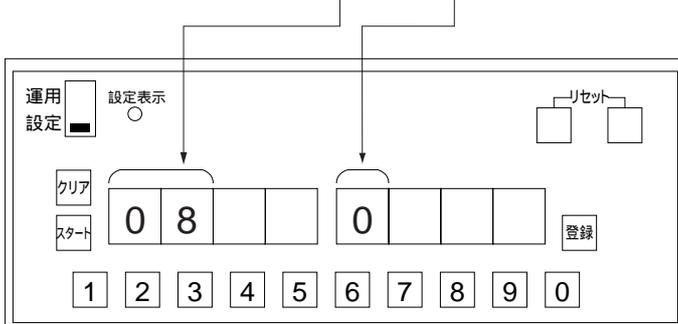
- ①
- ・前の「管理事務室親機8の接続系統番号設定」後、
 - または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“0”と“7”と“登録”を順に押す。

0: 管理事務室呼出規制無し [管理事務室親機への呼び出しができる] (出荷時状態)

1: 管理事務室呼出規制有り [管理事務室親機への呼び出しができない]

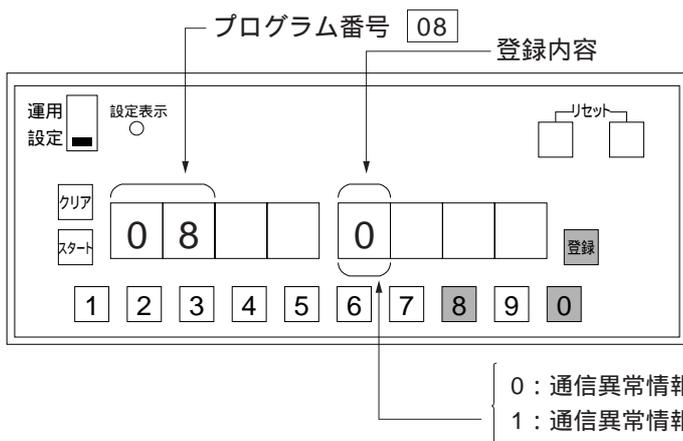
- ② 変更はプログラムボタン“1”または“0”を押す。
 ③ “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 08 と登録内容が表示されます。

変更しない場合は、“登録”のみ押す。



管理事務室親機からの通信異常情報出力有り / 無し設定 (プログラム番号 08)

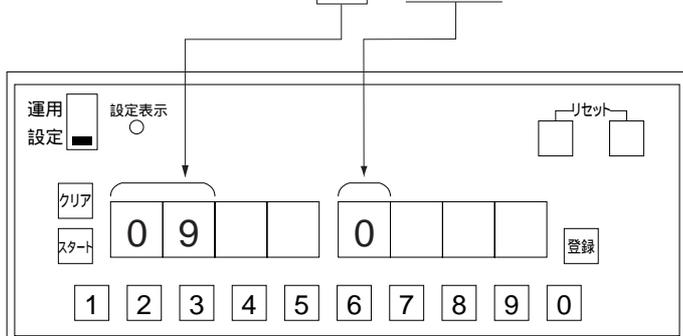
室内親機（例VL-M367FA）の故障、室内親機側のAC100V停電、室内親機と中央制御装置（VG-C101DA）間の断線等が発生したときに、その異常発生アラームを管理事務室親機へ出力表示させるか、させないかの設定です。



- ①
- ・前の「住戸からの管理事務室親機呼出規制有り / 無し設定」後、
 - または
 - ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタン“0”と“8”と“登録”を順に押す。

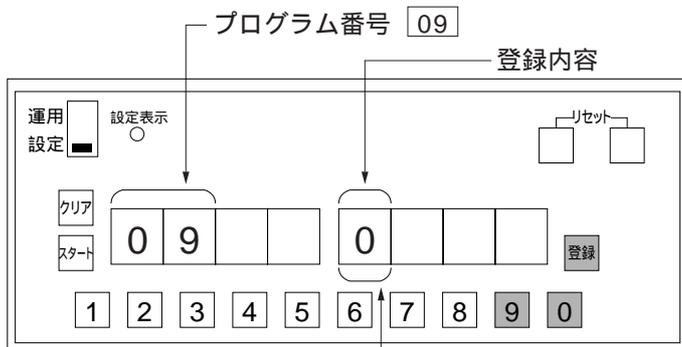
- ② 変更はプログラムボタン“1”または“0”を押す。
③ “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 09 と登録内容が表示されます。

変更しない場合は、“登録”のみ押す。



共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定(プログラム番号 09)

火災またはガスもれ、または火災・ガスもれ発生時に共同玄関子機の電気錠を自動的に解錠するか、しないかの設定です。



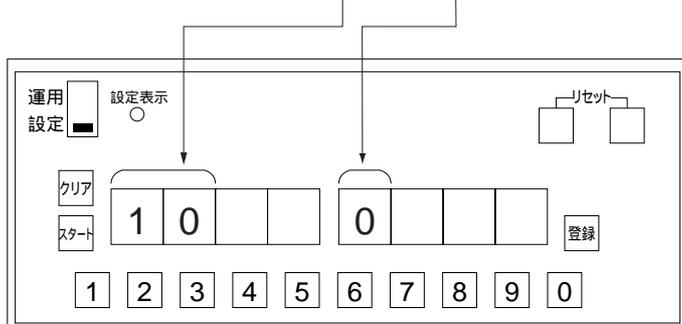
- ①
- ・前の「管理事務室親機からの通信異常情報出力有り/無し設定」後、
 - または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“0”と“9”と“登録”を押す。

- 0: セキュリティによる解錠無し
[火災またはガスもれ発生時に電気錠を解錠しない] (出荷時状態)
- 1: セキュリティによる解錠有り
[火災発生時に電気錠を解錠する]
- 2: セキュリティによる解錠有り
[ガスもれ発生時に電気錠を解錠する]
- 3: セキュリティによる解錠有り
[火災またはガスもれ発生時に電気錠を解錠する]

② 変更はプログラムボタン“0”～“3”を押す。

③ “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 10 と登録内容が表示されます。

変更しない場合は、“登録”のみ押す。



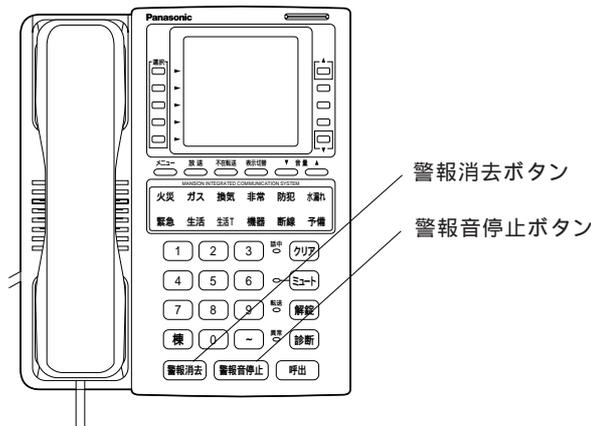
セキュリティによる解錠には次頁の制限事項があります。

・セキュリティ解錠に関する制限事項

- (1) 管理事務室親機が接続されないシステムの場合は、プログラム番号 **09** で「共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定」で有り[1]にしてもセキュリティによる解錠機能はできません。(復旧機能がないため)
同様に、管理事務室親機が接続されていても、これらが障害中(故障中)の場合もセキュリティによる共同玄関解錠はできません。
- (2) 管理事務室親機が接続されたシステムで、プログラム番号 **09** の設定が1,2,3の場合、火災またはガスもれ発生時に共同玄関電気錠は解錠します。電気錠の復旧方法は、下記のとおりです。

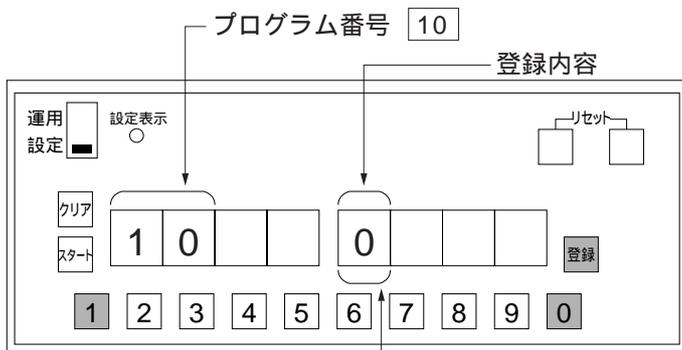
< 共同玄関子機の電気錠復旧方法 >

火災またはガスもれ発生時の操作・状態	電気錠復旧
火災またはガスセンサの復旧時	→ 復旧せず
室内親機 (VL-M367FA、VJ-M368FA、VG-M376D、VG-M377D等)の警報音停止ボタンを押したとき	→ 復旧せず
管理事務室親機の警報音停止ボタンと警報消去ボタンを順に押したとき	→ 復旧します



管理事務室親機

管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り / 無し設定 (プログラム番号 10)

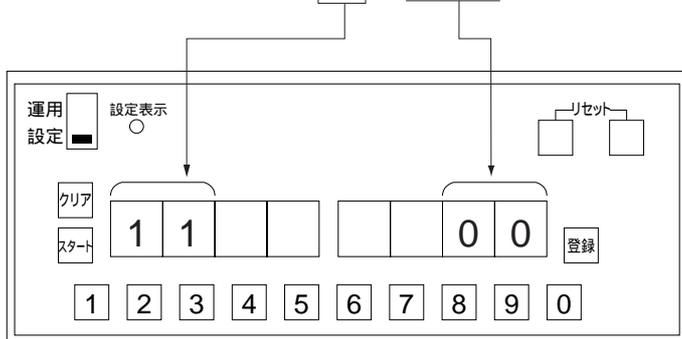


- ①
- ・前の「共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り / 無し設定」後、
 - または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1”と“0”と“登録”を順に押す。

0 : 共同玄関電気錠のワンタッチ解錠無し (出荷時状態)
1 : 共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り

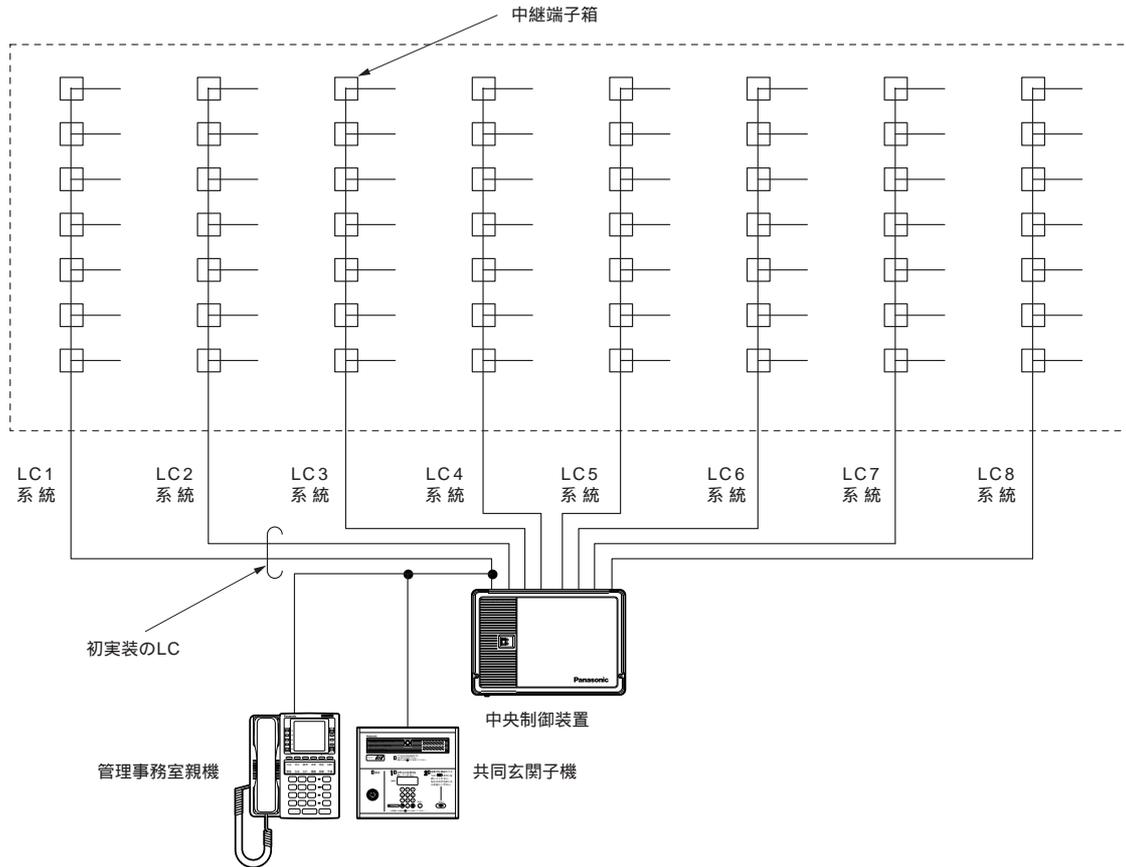
- ② 変更はプログラムボタン“1”または“0”を押す。
③ “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 11 と登録内容が表示されます。

変更しない場合は、“登録”のみ押す。



系統別LC1～8が管理する棟番号設定（プログラム番号 11 ～ 18 ）

（例）1棟のみ（住戸番号が重複しない場合） 全てLC系統全棟に設定します。



プログラム表

プログラム番号	対 象	初期値		
		管理する号楼を記入する 2桁 (01～98)	確認 チェック欄	
11	LC1系統が管理する棟番号	00	00	
12	LC2系統が管理する棟番号	00	00	
13	LC3系統が管理する棟番号	空白	00	
14	LC4系統が管理する棟番号	空白	00	
15	LC5系統が管理する棟番号	空白	00	
16	LC6系統が管理する棟番号	空白	00	
17	LC7系統が管理する棟番号	空白	00	
18	LC8系統が管理する棟番号	空白	00	

2桁

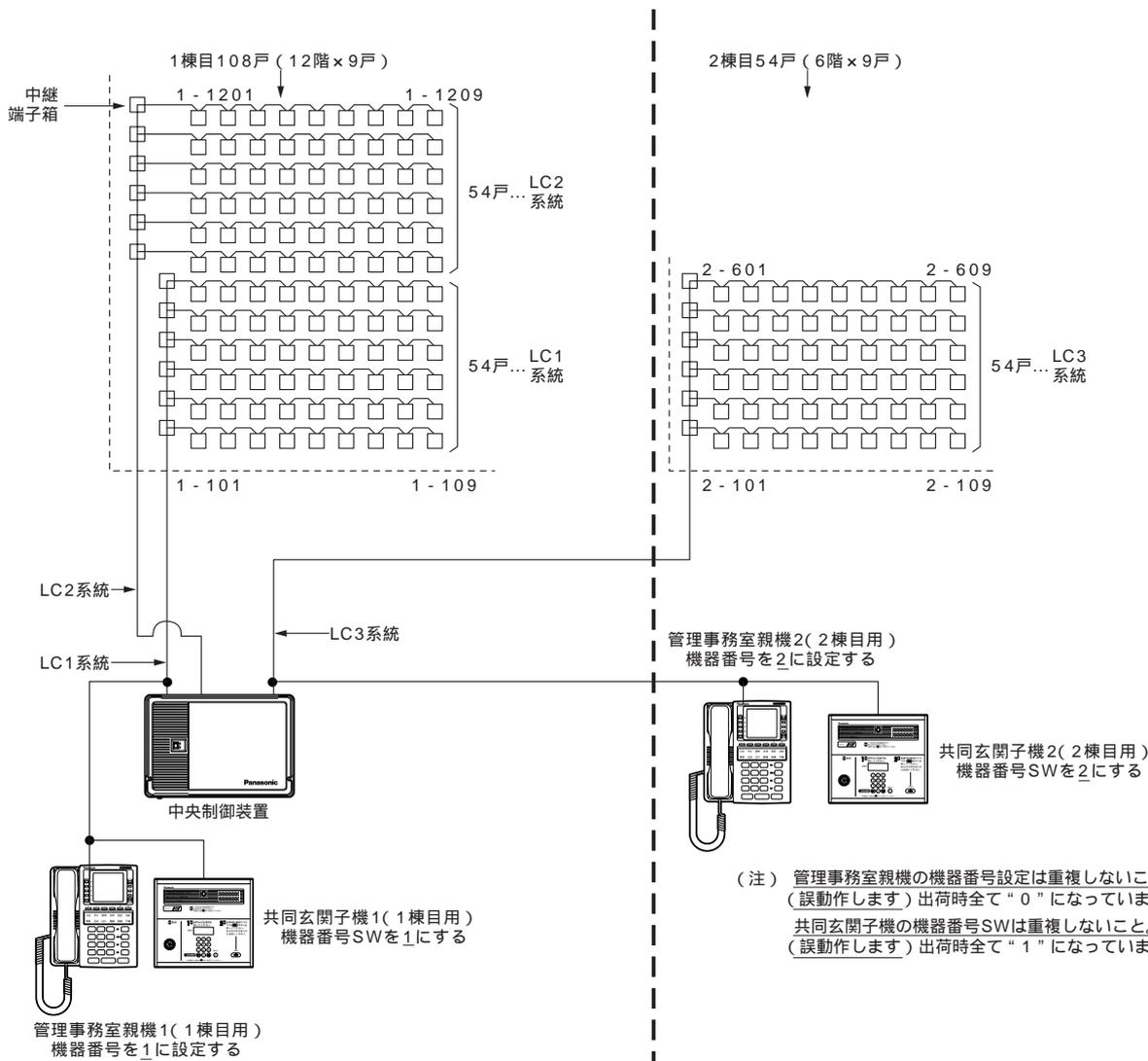
00：全棟指定

01～98：棟指定

空白：未実装時、または未接続

(例) 棟別管理にする(1棟に住戸101、2棟にも住戸101がある。) LC系統ごとに棟番号を設定します。
棟別管理する場合、棟別放送、緊急棟別放送ができます。

1棟目108戸・2棟目54戸



プログラム表

	LC系統	プログラム番号	管理する号棟	プログラムボタン	プログラム番号	対象	初期値		
							管理する号棟を記入する2桁(01~98)	確認チェック欄	
1棟目 戸数108戸 (1系統接続台数制限をこえるため2系統にする)	LC1	11	01	0と1を押す	11	LC1系統が管理する棟番号	00	01	
	LC2	12	01	0と1を押す	12	LC2系統が管理する棟番号	00	01	
2棟目 戸数54戸	LC3	13	02	0と2を押す	13	LC3系統が管理する棟番号	空白	02	
					14	LC4系統が管理する棟番号	空白		
					15	LC5系統が管理する棟番号	空白		
					16	LC6系統が管理する棟番号	空白		
					17	LC7系統が管理する棟番号	空白		
					18	LC8系統が管理する棟番号	空白		

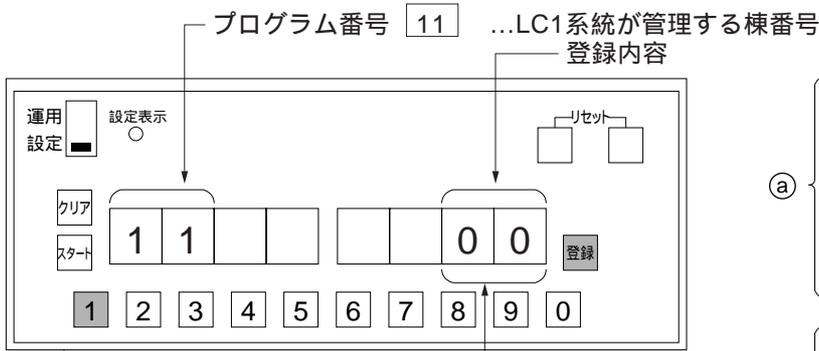
2桁

00: 全棟指定

01~98: 棟指定

空白: 未実装時、または未接続

(注1) 同一LC系統内での棟別管理(棟分け)はできません。
棟ごとに系統を分けて配線することにより棟別管理ができます。



- ・前の「管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り/無し設定」後、
- ① または
- ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1”と“1”と“登録”を押す。

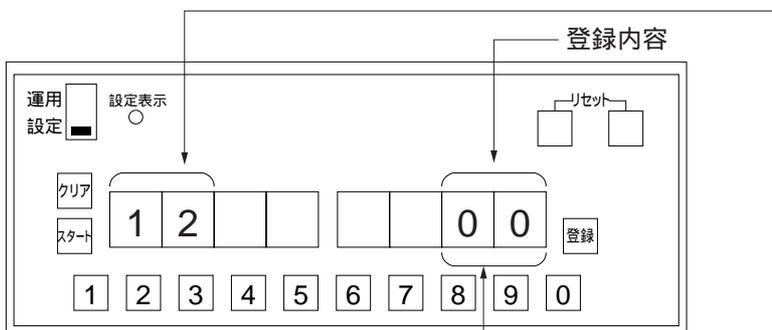
00：全棟指定
01～98：棟指定
プログラム番号「11」は未設定(空白)にはできません。

- ② LC1系統が管理する号棟の2桁(01～98)をプログラムボタン「1～0」で登録します。

(注1)

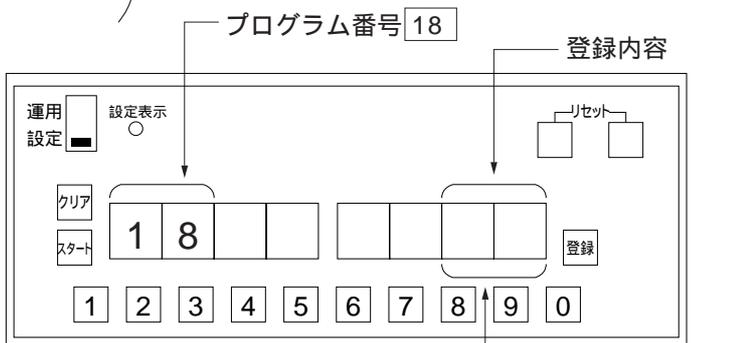
- ・1棟のみの場合は出荷時設定(00)から変更しないでください。
- ・実装されていないLC系統分に号棟をプログラム登録すると異常が上りますから該当のLC系統箇所のみ登録してください。

プログラムボタンで号棟(01～98)を登録する。



- ③ “登録”を押すと登録が行われ次のプログラム番号「12」(LC2系統が管理する棟番号)が表示されます。
- ・LC2系統も1棟のみの場合は変更しないでください。

以下プログラム番号「13」～「18」まで繰り返します。



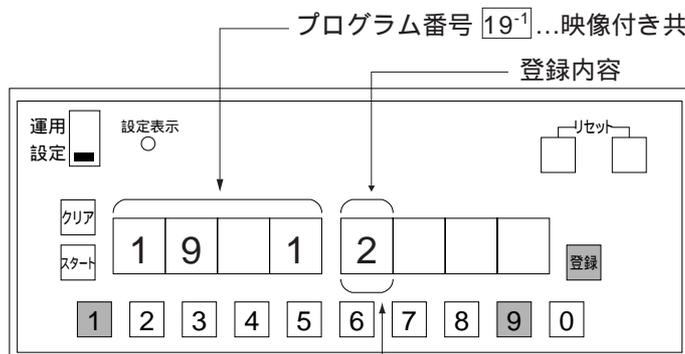
00：全棟指定
01～98：棟指定
空白：未実装時、または未接続

プログラム番号13～18

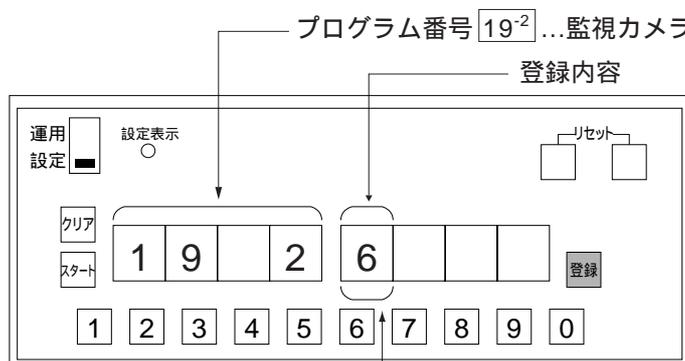
プログラム番号「18」の次はプログラム番号「19」⁻¹となります。

各種同時接続本数設定 (プログラム番号 19⁻¹ ~ 19⁻⁴)

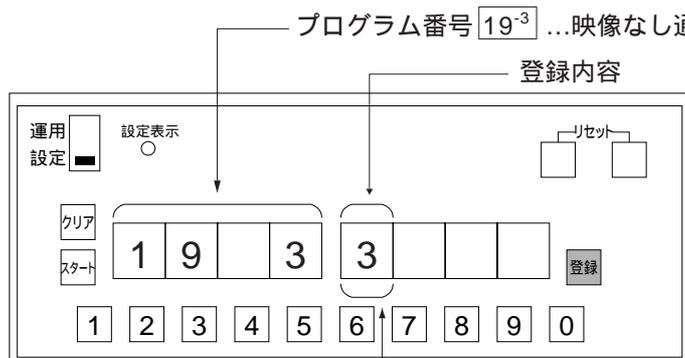
通常は初期値のままお使いください。



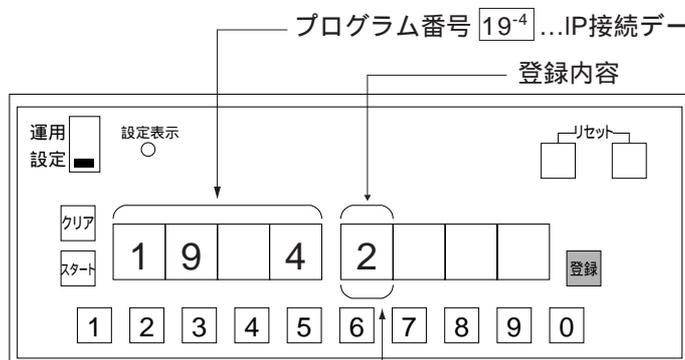
- a
- ・前の「系統別LC8が管理する棟番号設定」後、または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1”と“9”と“登録”を順に押す。



- b
- “登録”を押すと19-2が表示されます。プログラム番号 19⁻¹ を変更する場合は本数1桁(0~2)をプログラムボタン「0~2」で入力後に“登録”を押すと19-2が表示されます。



- c
- “登録”を押すと19-3が表示されます。プログラム番号 19⁻² を変更する場合は本数1桁(0~6)をプログラムボタン「0~6」で入力後に“登録”を押すと19-3が表示されます。

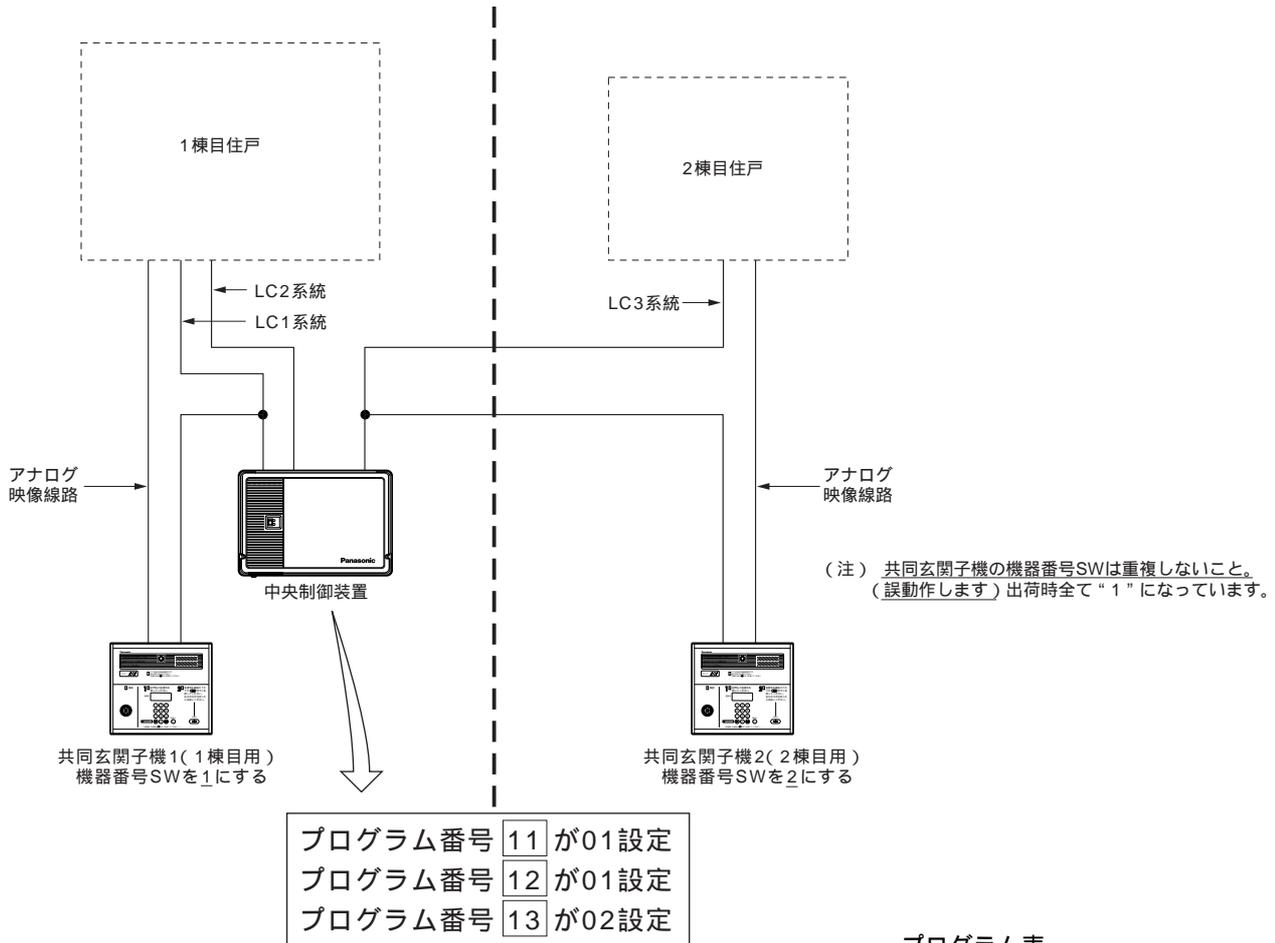


- d
- “登録”を押すと19-4が表示されます。プログラム番号 19⁻³ を変更する場合は本数1桁(0~3)をプログラムボタン「0~3」で入力後に“登録”を押すと19-4が表示されます。

- e
- “登録”を押すとプログラム番号 20⁻¹ となります。

LC1～8が管理する棟のアナログ映像ライン設定(プログラム番号20⁻¹～20⁻⁸)

アナログ映像の共同玄関子機（VL-545C「」、546C「」）を用いるシステムの場合の設定です。
 アナログ映像を用いる場合は棟別に分けてアナログ映像線路を配線してください。（取付工事説明書参照）



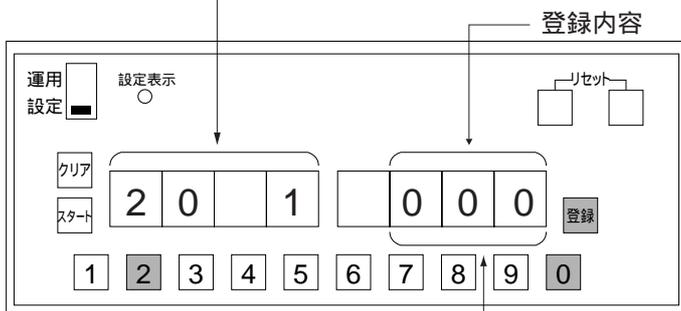
プログラム表

プログラム番号	対 象	プログラム指定確認欄		
		初期値	設定記入欄	プログラム指定確認欄
20	1 LC1が管理する棟のアナログ映像ライン	000	100	
	2 LC2が管理する棟のアナログ映像ライン	000	100	
	3 LC3が管理する棟のアナログ映像ライン	000	100	
	4 LC4が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	5 LC5が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	6 LC6が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	7 LC7が管理する棟のアナログ映像ライン	000		
	8 LC8が管理する棟のアナログ映像ライン	000		

000：アナログ映像を使用しない
 100：アナログ映像を使用する

- （注1） デジタル映像の共同玄関子機（VG-K547CD「」、K548CD「」）
- （注2） アナログ映像の共同玄関子機（VL-545C「」、546C「」）
- （注3） デジタル映像の共同玄関子機と、アナログ映像の共同玄関子機を一同システムで使用することはできません。
- （注4） 20-1～8全ての設定値が「000」と設定されている時のみ、デジタル映像のシステムとなります。
 （20-1～8のいずれか1つでも「100」と設定された場合には、アナログ映像のシステムとなります。）
- （注5） 集中制御装置を使用した大規模システムの場合には、アナログ映像を使用できません。
 （デジタル映像のみのシステムとなります）

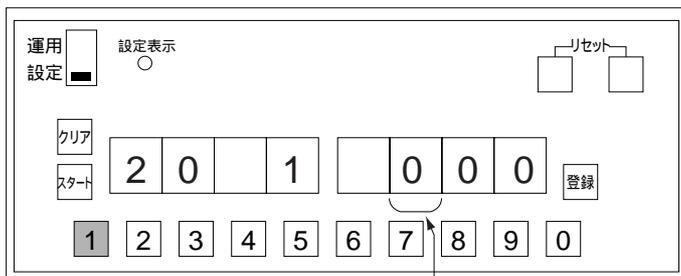
プログラム番号 20^{-1} ...LC1が管理する棟のアナログ映像ライン



①

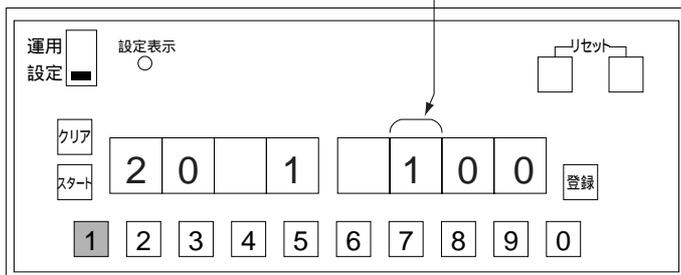
- ・前の「IP接続データ上り同時接続本数設定」後、または
- ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“2”と“0”と“登録”を順に押す。

000 : アナログ映像を使用しない
100 : アナログ映像を使用する

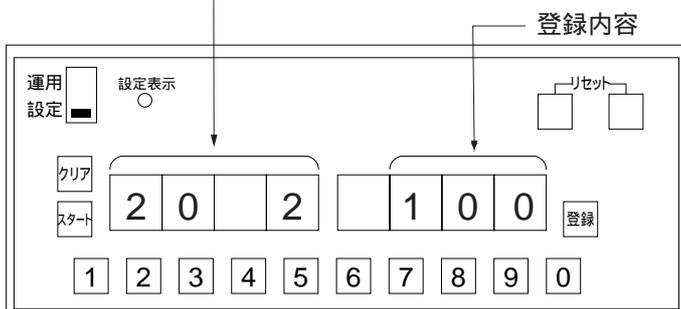


②

- ② 登録内容を変更したい場合は、プログラムボタン“1”を押すことにより、表示が反転(0 ↔ 1)します。



プログラム番号 20^{-2} ...LC2が管理する棟のアナログ映像ライン



③

- ③ “登録”を押すと20-1の値が登録され、20-2が表示されます。プログラム番号 $11 \sim 18$ の棟が一致しているLCは、代表で1つのLCに設定することで他の一致しているLCも自動的に同様の設定値になります。

(例)プログラム番号 11 、 12 が共に01設定の場合、代表でプログラム番号 20^{-1} に100を設定すると、プログラム番号 20^{-2} も自動的に100となります。

以下プログラム番号 20^{-8} まで繰り返します。プログラム番号 20^{-8} の次はプログラム番号 21 となります。

共同玄関子機1～8が属する棟番号設定 (プログラム番号 21 ~ 28)

1. 棟別ごとに共同玄関子機を設置の場合



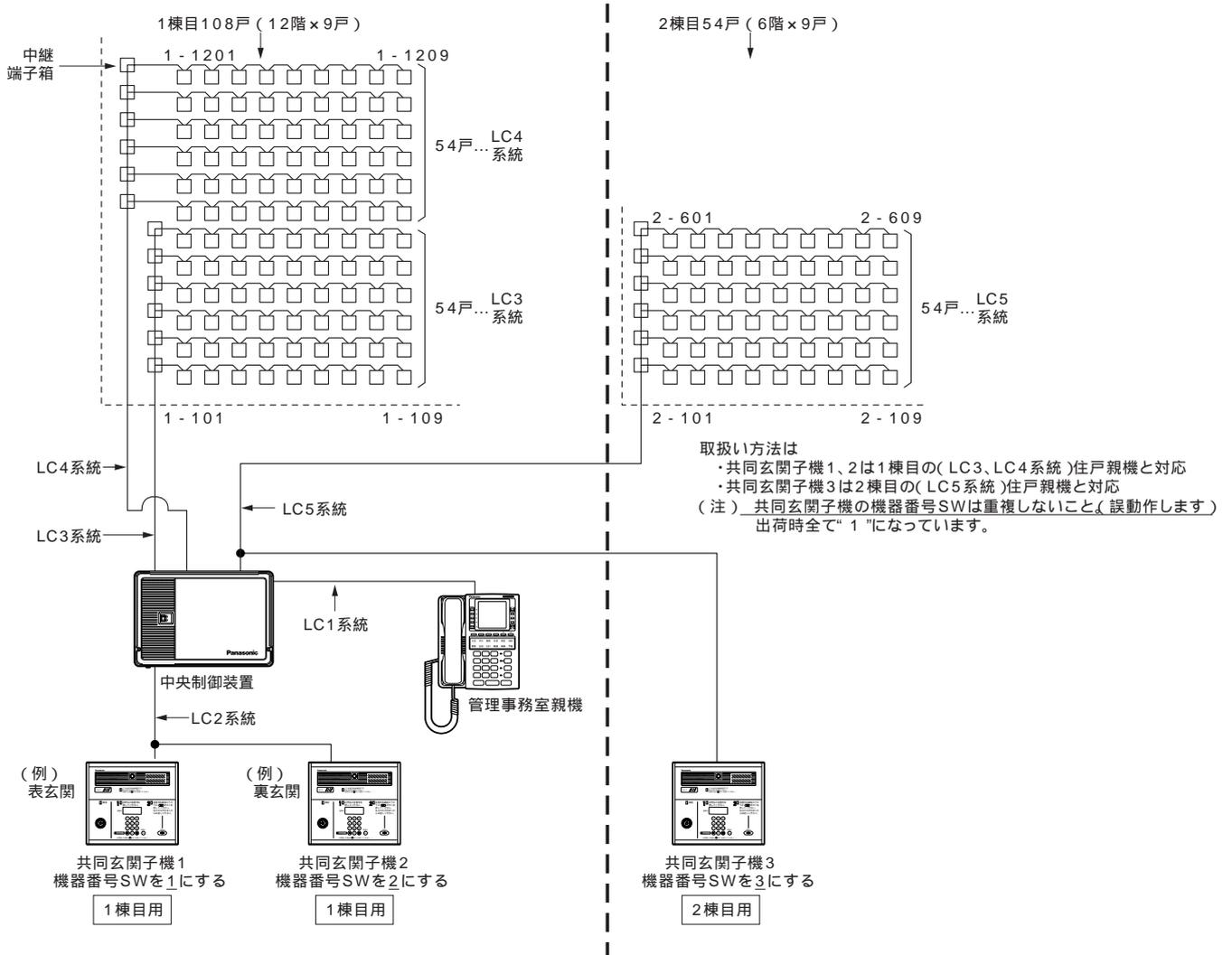
本設定を棟指定01～98にします。

共同玄関子機が属する棟以外の住戸を呼び出す場合には、部屋番号の前に棟番号を入力する必要があります。

アナログ映像を用いるシステムの場合は、棟別に分けてアナログ映像路を配線してください。(取付工事説明書参照) また、アナログ映像を用いるシステムの場合は、共同玄関子機が属する棟以外の呼び出しができません。

(注)・複数の共同玄関子機を設置する場合は、共同玄関子機内にある機器番号SWを重複しないよう設定してください。(機器番号SWの位置は取付工事説明書参照)

(例) 共同玄関子機1、2が1棟目に属し、共同玄関子機3が2棟目に属する場合。



プログラム表

・共同玄関子機1、2が1棟目に属し、
 ・共同玄関子機3が2棟目に属する場合

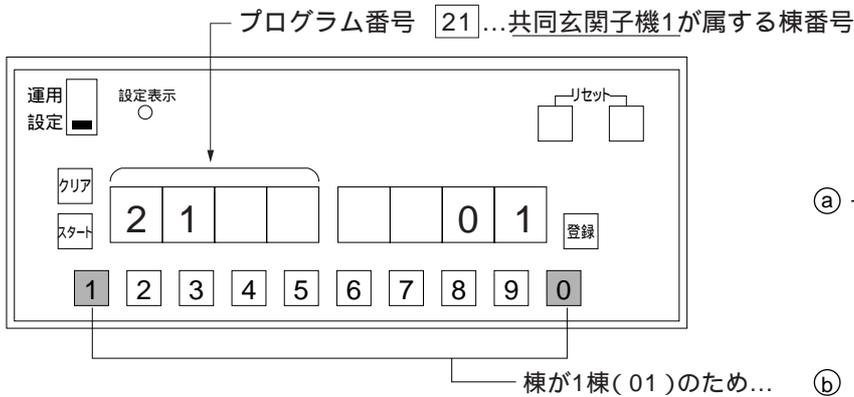
	共同玄関子機 機器番号	プログラム 番号	属する 号棟	プログラム ボタン
1棟	1	21	01	0と1を 押す
	2	22	01	0と1を 押す
2棟	3	23	02	0と2を 押す

プログラム 番号	対 象	初期値	確認 チェック欄	
			属する号棟を記入する 2桁 (01～98)	
21	共同玄関子機 1 設定用	00	01	
22	共同玄関子機 2 設定用	00	01	
23	共同玄関子機 3 設定用	00	02	
24	共同玄関子機 4 設定用	00		
25	共同玄関子機 5 設定用	00		
26	共同玄関子機 6 設定用	00		
27	共同玄関子機 7 設定用	00		
28	共同玄関子機 8 設定用	00		

2桁
 00 : 全棟指定
 01～98 : 棟指定

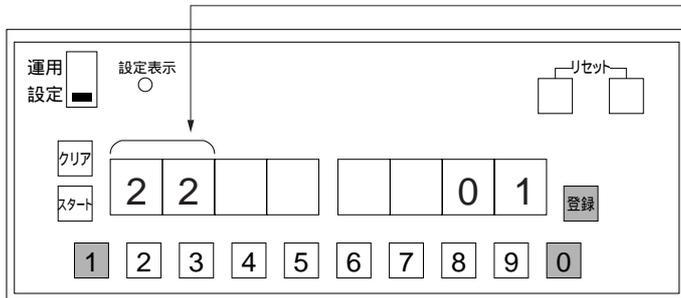
- (注1) 1台の共同玄関子機で複数の棟を指定することはできません。
 (注2) 1棟のみの場合は必ず接続共同玄関子機台数分「00」と号棟を記入し登録してください。
 (出荷時状態プログラム番号21～28まで「00」全棟指定です。)

次頁の例も参照のこと
 作成したプログラム表をもとにプログラム登録をします。



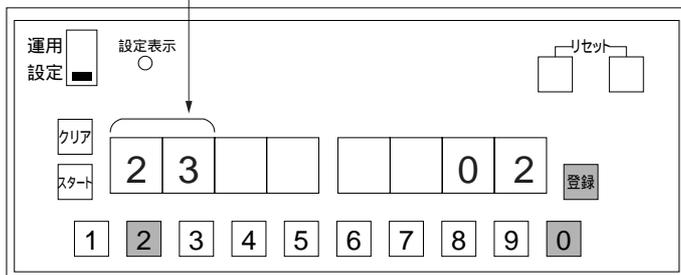
- a) ・前の「LC8が管理する棟のアナログ映像ライン設定」後、
 または
 ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“2”と“1”と“登録”を押す。(プログラム番号21を呼び出す。)
- b) 1棟を設定するプログラムボタン“0”と“1”を押す。

お願い
 必ず接続LC系統分、号棟の2桁(01～98)をプログラムボタン「1～0」で登録する。



- c) “登録”を押すと登録が行われ次のプログラム番号 **22**(共同玄関子機2が属する棟番号登録のため)が表示され、00全棟指定が表示されます。
 共同玄関子機2も棟が1棟(01)のため
 ・プログラムボタン“0”と“1”を押しその後“登録”を押して登録します。
 プログラム番号**23**が表示されます。

・前頁の「共同玄関子機1～8が属する棟番号設定」のプログラム表よりプログラム番号 **23** ... 共同玄関子機3を登録する。

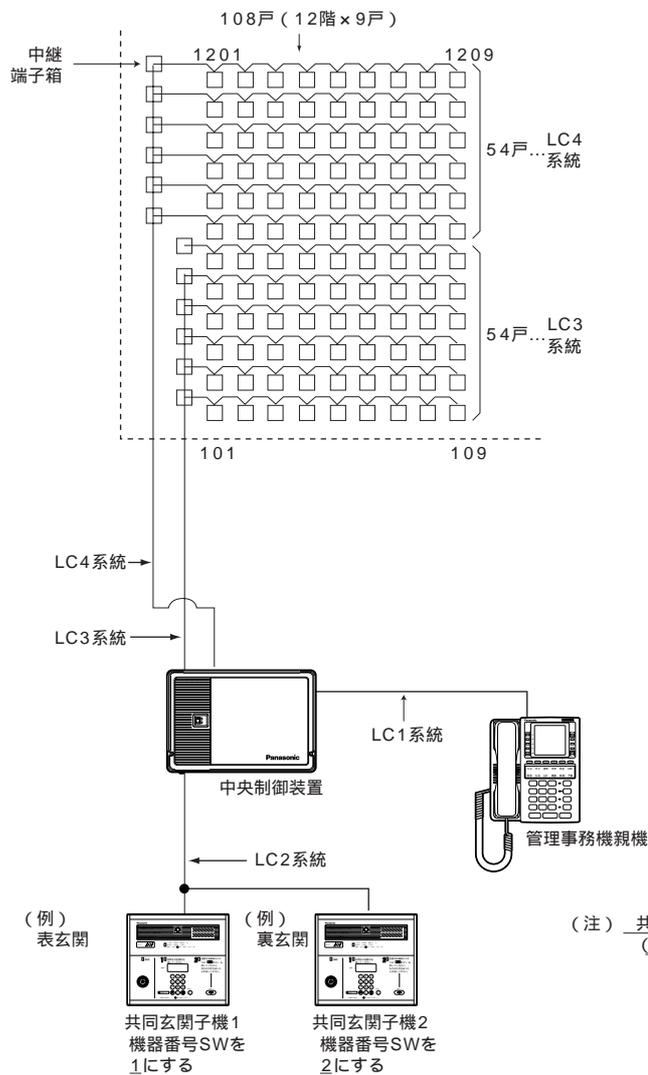


- 共同玄関子機3は棟が2棟(02)のため
 ・プログラムボタン“0”と“2”を押しその後“登録”を押して登録します。

プログラム番号**28**の次はプログラム番号 **30**となります。

2. 1棟のみで共同玄関子機が複数設置の場合

(例) 共同玄関子機を2台設置する場合 [棟番号なし (棟分けなし) の場合]



(注) 共同玄関子機の機器番号SWは重複しないこと。
(誤動作します) 出荷時全て“1”になっています。

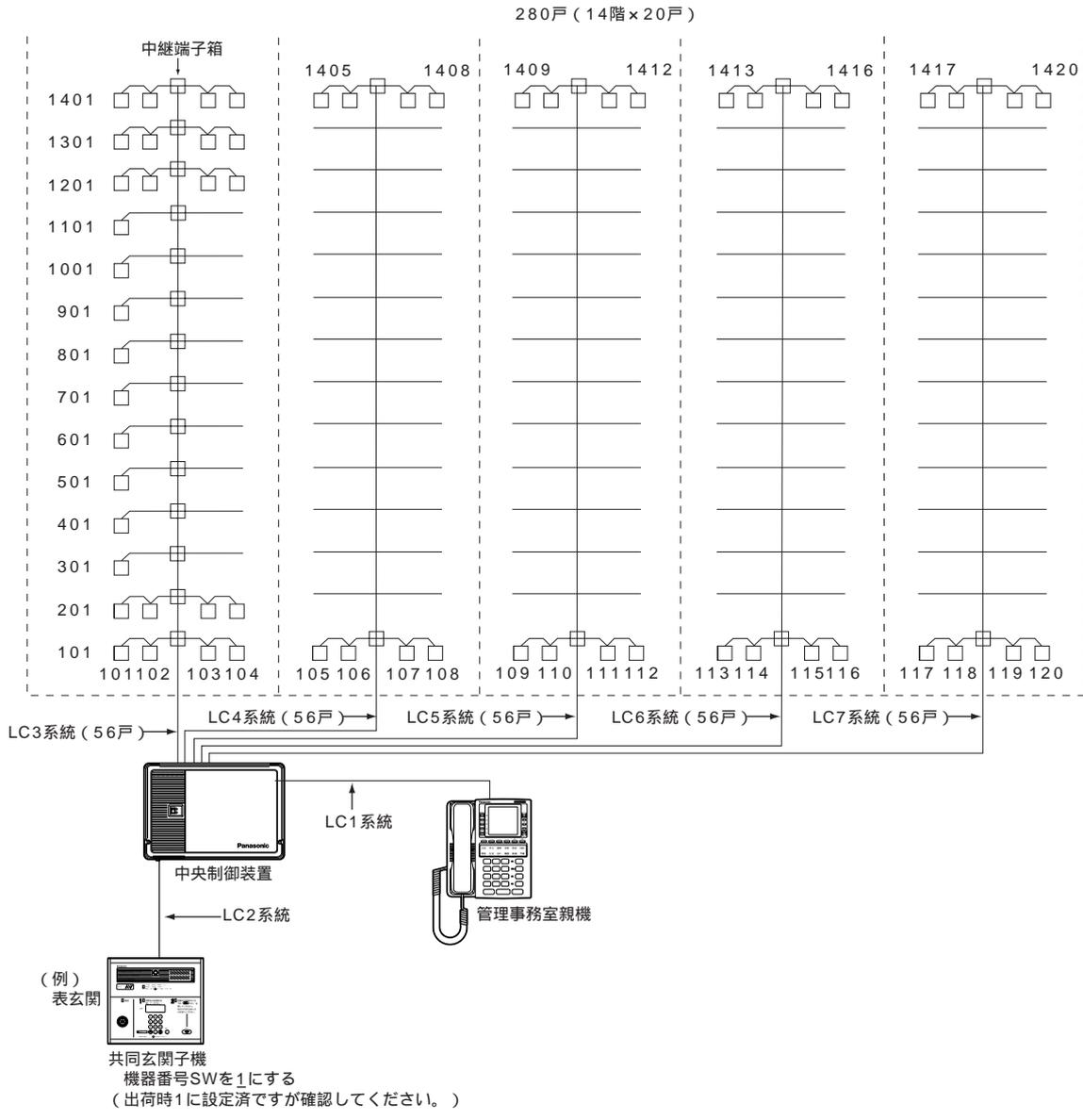
プログラム表

共同玄関子機 機器番号	プログラム 番号	属する 号棟	プログラム ボタン	プログラム表		
				初期値	属する号棟を記入する 2桁 (01~98)	確認 チェック欄
1	21	00	初期値の まま	00	→ 00	
2	22	00	初期値の まま	00	→ 00	
				00		
				00		
				00		
				00		
				00		
				00		
				00		

初期値のままとする。

2桁
 00 : 全棟指定
 01 ~ 98 : 棟指定

(例) 共同玄関子機を1台設置する場合 [棟番号なし (棟分けなし) の場合]



プログラム表

共同玄関子機 機器番号	プログラム 番号	属する 号棟	プログラム ボタン
1	21	00	初期値の まま

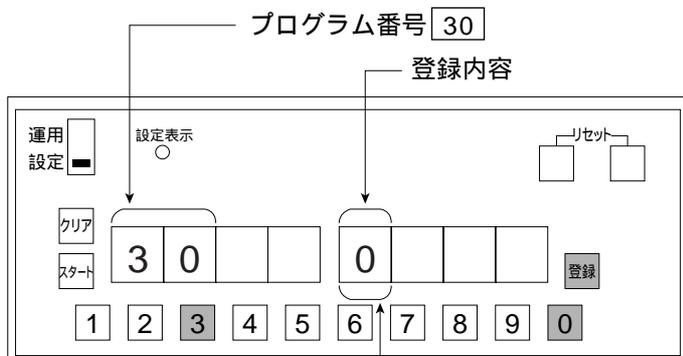
プログラム 番号	対 象	初期値		
		初期値	属する号棟を記入する 2桁 (01-98)	確認 チェック欄
21	共同玄関子機 1 設定用	00	00	
22	共同玄関子機 2 設定用	00		
23	共同玄関子機 3 設定用	00		
24	共同玄関子機 4 設定用	00		
25	共同玄関子機 5 設定用	00		
26	共同玄関子機 6 設定用	00		
27	共同玄関子機 7 設定用	00		
28	共同玄関子機 8 設定用	00		

2桁
00 : 全棟指定
01 ~ 98 : 棟指定

初期値のままとする。

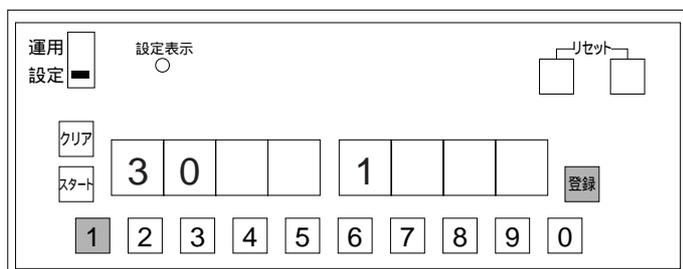
管理事務室親機グループ着信有り / 無し設定 (プログラム番号 30)

管理事務室親機が複数接続されたシステムにおいて、各室内親機又は共同玄関子機より、同一の棟を管理している全ての管理事務室親機に呼出し音を鳴らす(1:有)か鳴らさない(0:無)の設定です。

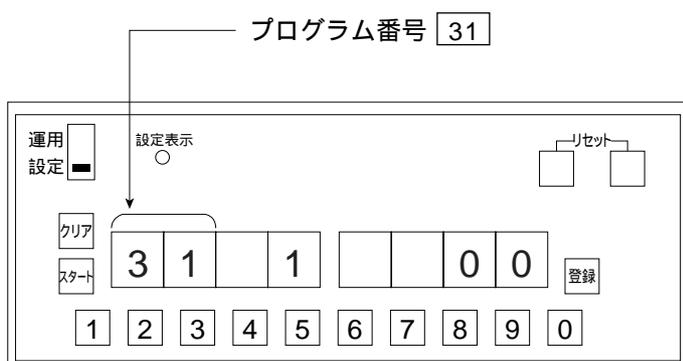


- ①
- ・前の「共同玄関子機1～8が属する棟番号設定」後、
 - または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“3”と“0”と“登録”を押す。(プログラム番号30を呼出す。)

0: 1台のみ鳴らす。(全ての管理事務室親機を鳴らさない)
1: 同一の棟を管理している全ての管理事務室親機を鳴らす



- ②
- ・鳴らすように変更したい場合は、プログラムボタン“1”と“登録”を押す。
 - ・変更しない場合は、“登録”を押す。



プログラム番号 31
「管理事務室親機1が管理する棟番号設定」に移ります。

管理事務室親機1～8が管理する棟番号設定 (プログラム番号 31 ~ 38)

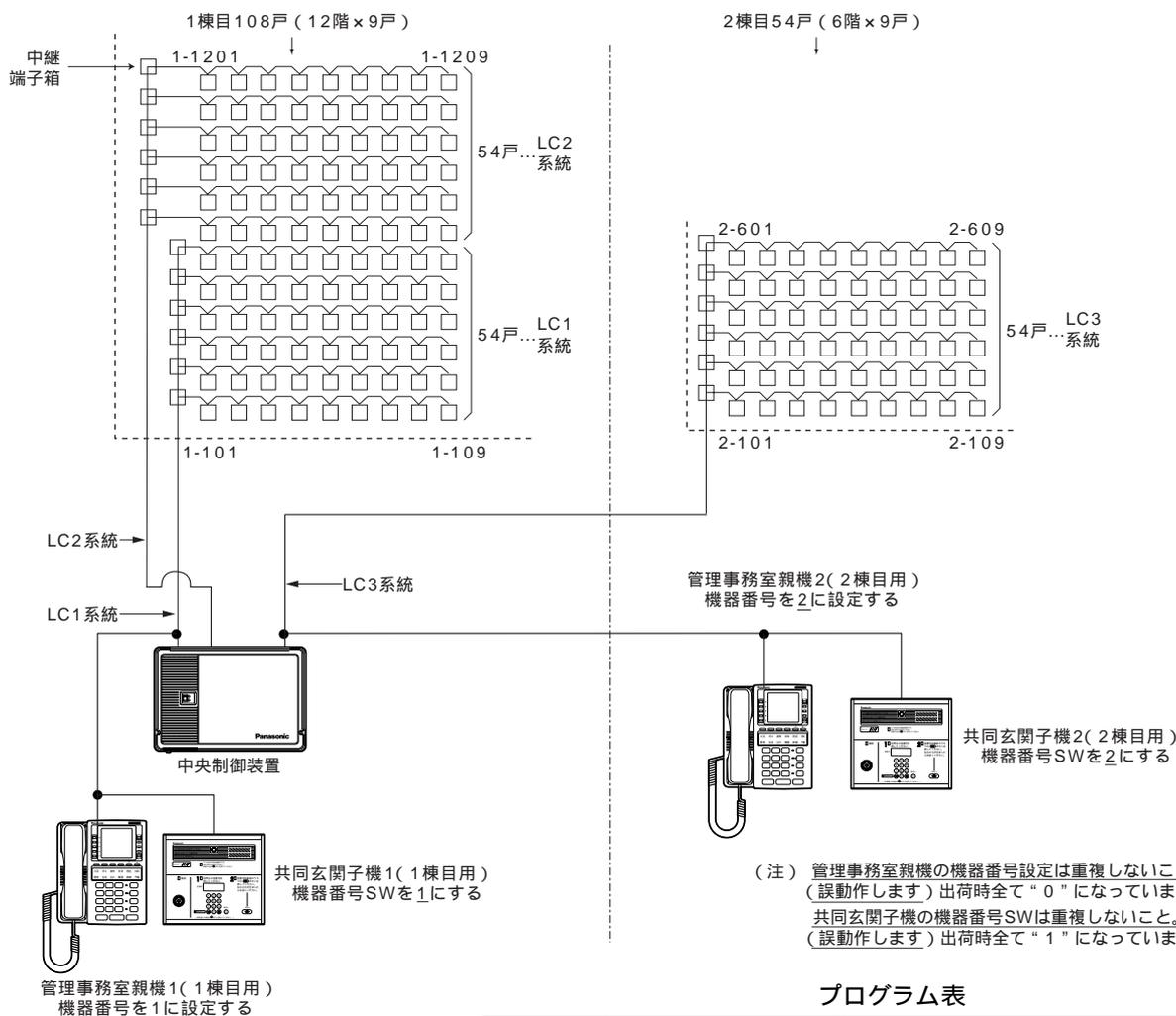
棟が複数あり、棟ごとに管理事務室親機を設置する場合は、棟番号を設定してください。

[棟ごとに住戸番号が重複するとき、1-101、2-101等]

プログラム番号 11 ~ 18 で複数の棟が設定されている場合、管理事務室親機からの呼び出しの際必ず棟入力が必要になります。

(注) ・複数の管理事務室親機を設置する場合は、管理事務室親機の機器番号を重複しないよう設定してください。
(機器番号の設定は取付工事説明書参照)

(例) 1棟目(LC1、LC2系統)を管理事務室親機1で管理し、2棟目(LC3系統)を管理事務室親機2で管理する場合



プログラム表

プログラム番号	対象	プログラムボード上のプログラム番号表示									
31	管理事務室親機 1 設定用	31-1	31-2	31-3	31-4	31-5	31-6	31-7	31-8	2桁(01-98)号棟記入欄	
32	管理事務室親機 2 設定用	01								2桁(01-98)号棟記入欄	
33	管理事務室親機 3 設定用	32-1	32-2	32-3	32-4	32-5	32-6	32-7	32-8	2桁(01-98)号棟記入欄	
34	管理事務室親機 4 設定用	02								2桁(01-98)号棟記入欄	
35	管理事務室親機 5 設定用	33-1	33-2	33-3	33-4	33-5	33-6	33-7	33-8	2桁(01-98)号棟記入欄	
36	管理事務室親機 6 設定用	00								2桁(01-98)号棟記入欄	
37	管理事務室親機 7 設定用	34-1	34-2	34-3	34-4	34-5	34-6	34-7	34-8	2桁(01-98)号棟記入欄	
38	管理事務室親機 8 設定用	00								2桁(01-98)号棟記入欄	

- ・1棟目(LC1、LC2系統)を管理事務室親機1で管理し、
- ・2棟目(LC3系統)を管理事務室親機2で管理する場合

	管理事務室親機機器番号	プログラム番号	管理する号棟	プログラムボタン
1棟目	1	31	01	0と1を押す
2棟目	2	32	02	0と2を押す

ご注意 2桁設定のこと

各管理事務室親機で8ヶ所（01～98号棟の内）の号棟を管理できます。

【ご注意】 1棟のみ（棟管理がないとき）の場合は、プログラム番号 **31**～**38** 登録不要です。

プログラム番号 **31** ... 管理事務室親機1が管理する棟番号

登録内容

（プログラム番号 **40**）へ飛ばすこと

・前の「管理事務室親機グループ着信有り/無し設定」後、
または
① ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタン“3”と“1”と“登録”を押す。00と棟番号が表示されます。

（例）01号棟の場合は“0”と“1”を押すと01と表示されます。

② プログラム番号 **31** の管理事務室親機1の設定で **1カ所目** を管理する棟番号2桁（01～98）をプログラムボタン「1～0」で登録します。

管理事務室親機1が管理する2ヶ所目の棟番号

登録内容

③ “登録”を押すと登録が行われ31-2と表示されますが、これは **2カ所目** を管理する号棟2桁（01～98）があれば登録してくださいとの要求です。（例では、1ヶ所目のみ）なければ“登録”を6回（3ヶ所目～8ヶ所目）押しますと、31-3～31-8と表示され次のプログラム番号 **32** が表示されます。

例では管理事務室親機2は02棟を管理するので

・プログラムボタン“0”と“2”を押しその後“登録”を押して登録します。

以下プログラム番号 31^{-1-8} と同様にプログラム番号 38^{-1-8} まで繰り返します。プログラム番号 38^{-8} の次はプログラム番号 **40** となります。

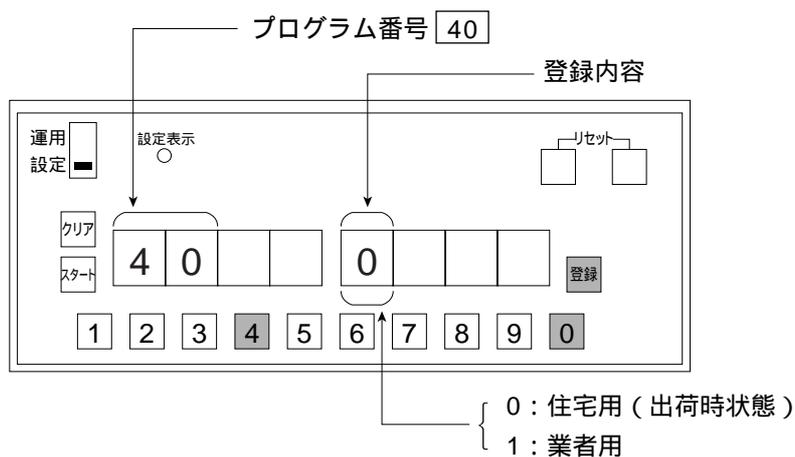
【ご注意】 例として管理事務室親機が1台のみ設置で、2棟（01、02）管理する場合、プログラム番号 31^{-1} に01、 31^{-2} に02を設定しプログラム番号 32^{-1} ～ 38^{-8} を飛ばしてください。

暗証番号2の種別設定 (プログラム番号 40)

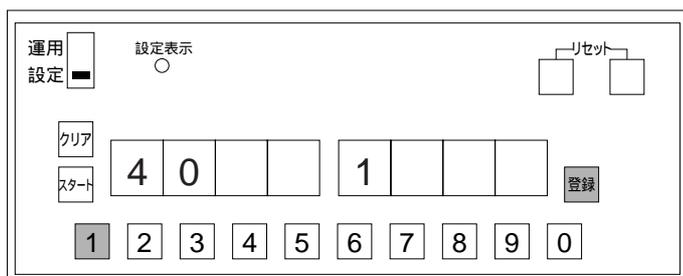
暗証番号2は住戸用と業者用（新聞配達員等）に設定分けができます。

1：業者用にすると暗証番号2（プログラム番号：41-2、42-2、43-2、44-2、45-2、46-2、47-2、48-2）は、プログラム番号51～58の共同玄関子機の電気錠解錠時間帯設定に連動し、設定された時間帯にのみ暗証番号2で解錠が可能です。

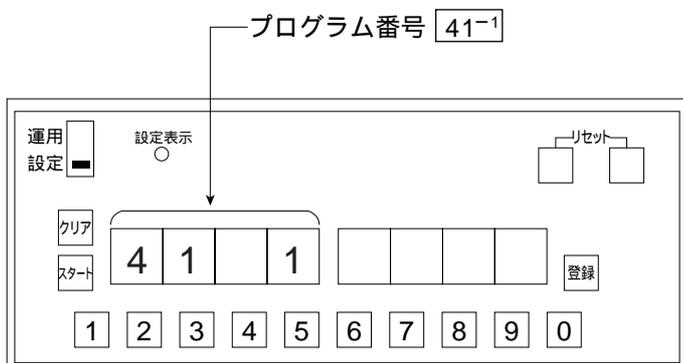
暗証番号1は、常時有効です。また、暗証番号2を住戸用にした場合は暗証番号2も常時有効です。暗証番号2を住戸用にした場合はプログラム番号51～58の共同玄関子機の電気錠解錠時間帯設定に連動して共同玄関子機は解錠状態になりますが、暗証番号2を業者用にした場合は解錠時間帯でも解錠状態にならず、解錠時間帯に暗証番号2が有効になるのみです。



- ・前の「管理事務室親機8が管理する棟号の設定」後、
- または
- ① ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタン“4”と“0”と“登録”を押す。（プログラム番号 40 を呼出す。）



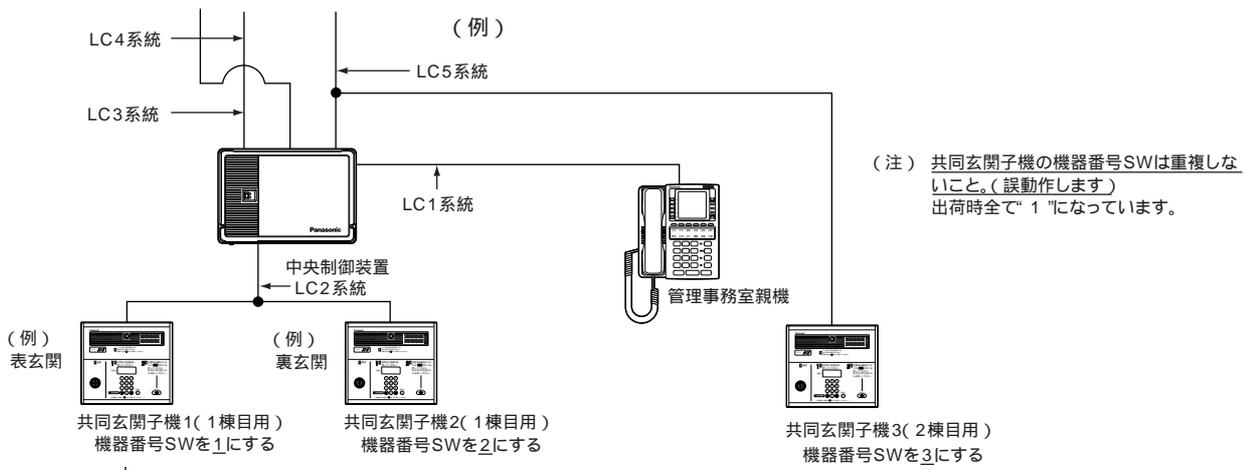
- ② ・業務用に変更したい場合は、プログラムボタン“1”と“登録”を押す。
- ・変更しない場合は、“登録”を押す。



プログラム番号 41⁻¹
「共同玄関子機1の電気錠暗証番号1設定」に移ります。

共同玄関子機1～8の電気錠暗証番号1、2設定 (プログラム番号 41⁻¹₋₂ ~ 48⁻¹₋₂)

〔注〕共同玄関子機が複数の場合は、共同玄関子機内にある機器番号SWを設定し、(取付工事説明書参照)機器番号に対応して、暗証番号を決め登録します。

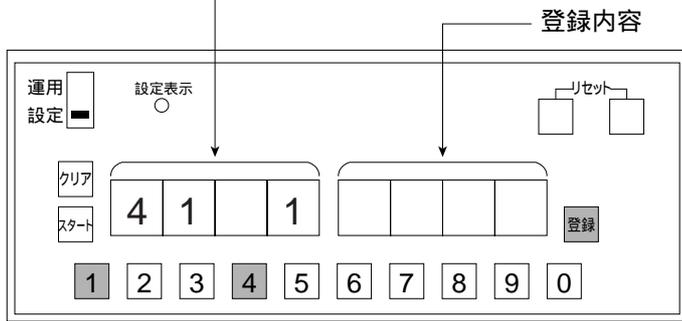


プログラム表

プログラム番号	対象	電気錠暗証番号				暗証番号1	暗証番号2
		千位	百位	十位	一位		
41	1	0	1	2	3	暗証番号1	←次頁へ
	2					暗証番号2	
42	1	1	2	3	4	暗証番号1	
	2					暗証番号2	
43	1	5	6	7	8	暗証番号1	
	2					暗証番号2	
44	1					暗証番号1	
	2					暗証番号2	
45	1					暗証番号1	
	2					暗証番号2	
46	1					暗証番号1	
	2					暗証番号2	
47	1					暗証番号1	
	2					暗証番号2	
48	1					暗証番号1	
	2					暗証番号2	

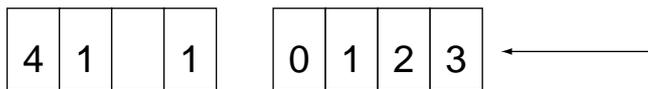
- (注1) 電気錠暗証番号(必ず4桁)は任意で暗証番号を記入してください。
 - 4桁目“0”でもよい。(例 0123,0000)
 - 暗証番号として登録できない番号(3桁以下)
- (注2) 共同玄関子機1台に対して、電気錠暗証番号は1種類の登録または未登録でも運用動作します。(例 プログラム番号41-1...のみ)
- (注3) プログラム番号40で1(業者用)を登録した場合は、プログラム番号41-2、42-2、43-2、44-2、45-2、46-2、47-2、48-2は、業者用暗証番号になり、プログラム番号51～58の共同玄関子機の電気錠解錠時間帯設定に連動し、設定された時間帯にのみ業者用暗証番号で解錠が可能です。

プログラム番号 41^{-1} ...共同玄関子機1に設定された電気錠の暗証番号1 (1種類目) に対応



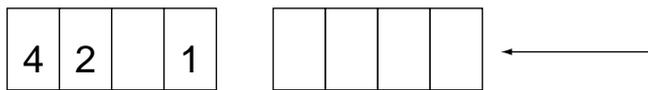
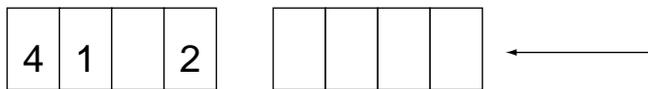
- ・前の「暗証番号2の種類設定」後、または
- ① ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタンを“4”と“1”と“登録”との順番に押す。

- ② ・暗証番号をプログラムボタンにて登録する
プログラム番号 41^{-1} ...プログラムボタンで0,1,2,3を順番に押す



- ③ ・最後に“登録”を押すと、暗証番号1の登録が行われ次のプログラム番号41-2暗証番号2 (2種類目) 表示されます。

(1台の共同玄関子機に対して2種類の暗証番号が設定することができます)

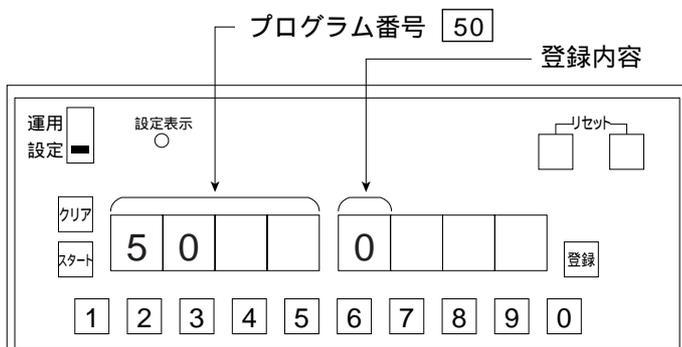


- ・暗証番号1 (1種類) のみの場合、“登録”を押しプログラム番号41-2暗証番号2 (2種類目) を飛ばします。
- ・共同玄関子機2に設定された電気錠の暗証番号1 (1種類目) に対応します。

以下同様にして、暗証番号を登録します。

プログラム番号 48^{-2} の次はプログラム番号 50 となります。

設定不要 (プログラム番号 50)



お願い

- ・設定不要です。〔プログラム番号 50 ...0の状態のままお使い下さい〕
- ・設定しますと、誤動作の原因になります。

プログラム番号 50 の次はプログラム番号 51 となります。

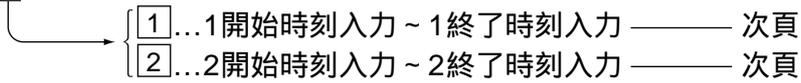
共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間帯1.2設定(プログラム番号 51⁻¹₋₂ ~ 58⁻¹₋₂)

共同玄関子機の電気錠ごとに解錠時間帯(開始時刻～終了時刻)を決めます。例えば新聞配達員等の出入のため、ある時間帯を電気錠を解錠させます。

プログラム番号40の暗証番号種別を1(業者用)に設定すると業者用暗証番号(暗証番号2)で解錠可能時間帯の設定になります。

〔注1〕共同玄関子機が複数の場合、共同玄関子機内の機器番号SWを重複しないように設定し、(重複すると誤動作します)機器番号に対応して解錠時間帯(開始時刻～終了時刻)を決め登録します。

〔注2〕共同玄関子機ごとに2つの解錠時間帯を登録可能です。



(例) 共同玄関子機

- 1...午前7時から午前10時まで
- 2...午後16時から午後17時30分まで

プログラム表

出荷時状態未設定

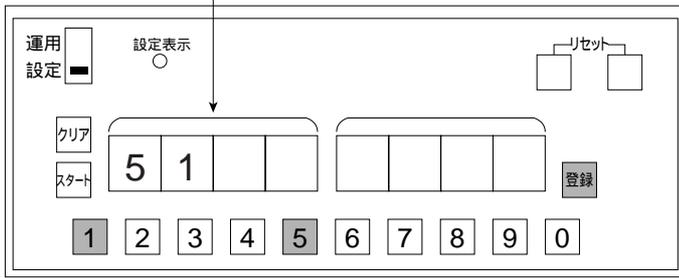
プログラム番号	対象	開始時刻入力				終了時刻入力						
		1	2	3	4	1	2	3	4			
51	共同玄関子機 1 設定用	1	0	7	0	0	1	16	30	0	0	記入欄
		2	1	6	0	0	2	1	7	3	0	確認・チェック欄
52	共同玄関子機 2 設定用	1					1					記入欄
		2					2					確認・チェック欄
53	共同玄関子機 3 設定用	1					1					記入欄
		2					2					確認・チェック欄
54	共同玄関子機 4 設定用	1					1					記入欄
		2					2					確認・チェック欄
55	共同玄関子機 5 設定用	1					1					記入欄
		2					2					確認・チェック欄
56	共同玄関子機 6 設定用	1					1					記入欄
		2					2					確認・チェック欄
57	共同玄関子機 7 設定用	1					1					記入欄
		2					2					確認・チェック欄
58	共同玄関子機 8 設定用	1					1					記入欄
		2					2					確認・チェック欄

(例1) 9時～10時 09:00～10:00

(例2) 8時20分～9時 08:20～09:00 — 頭に“0”を入れて登録のこと。

(例3) 時間 分単位
09:59
60以上登録できない。
24以上登録できない。

プログラム番号 **51** ...共同玄関子機1の電気錠解錠時間帯

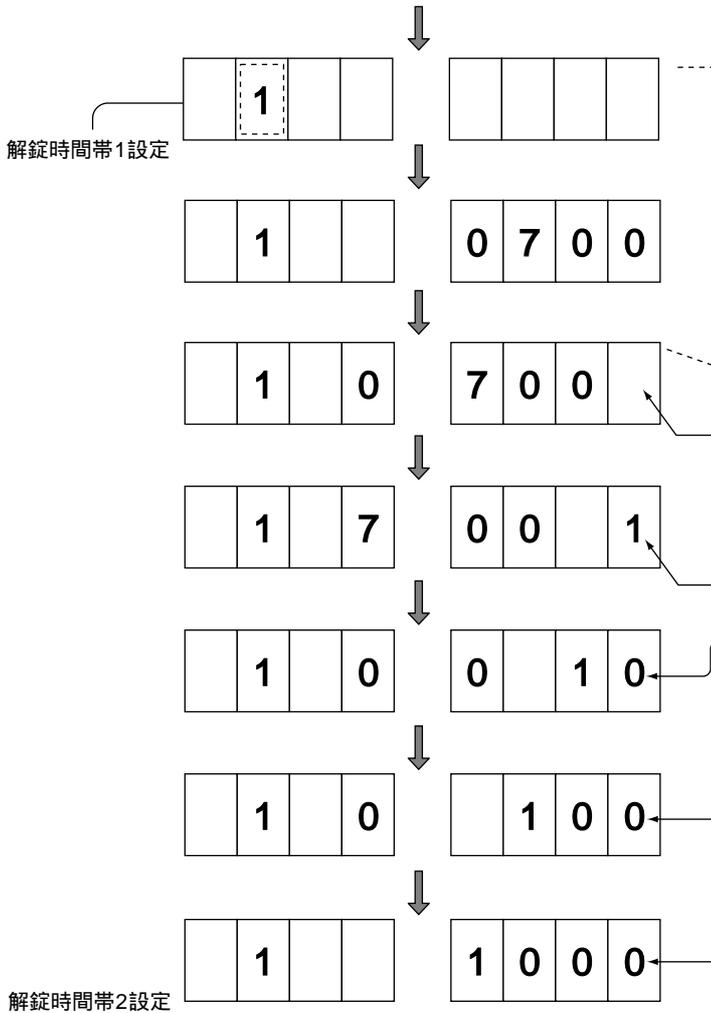


- ・前の「設定不要（プログラム番号 **50**）」後、
- または
- ① ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタンを“5” “1” “登録”と順番に押す。

表示部に“1”が表示される
 (例) **開始時刻** 午前7時から
終了時刻 午前10時まで

- ② **開始時刻** 入力07:00 “0” “7” “0” “0”とプログラムボタンを押す

(注) 7:00 “7” “0” “0”と登録できません。
頭に必ず“0”を入れること



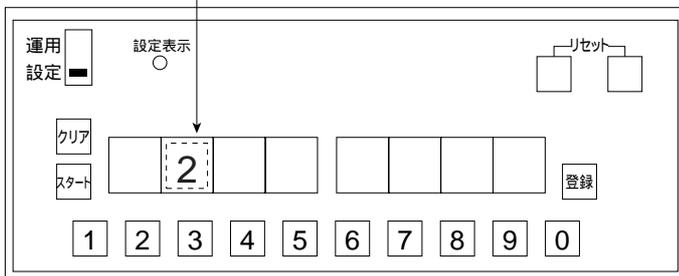
- ③ “登録”を押すと、が表示される

- ④ **終了時刻** 入力10:00 “1” “0” “0”

“0”とプログラムボタンを押す

、数表示はプログラムボタンを押すごとに左へ移動され4桁まで入力ができます。

- ⑤ ・最後にプログラム“登録”を押すと登録が行われ“2”が表示されます。



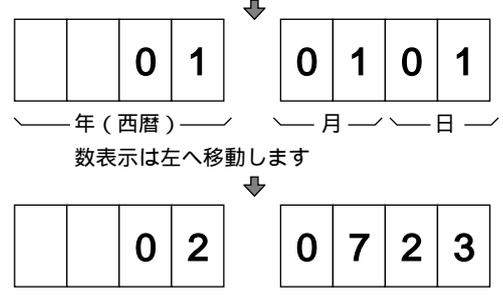
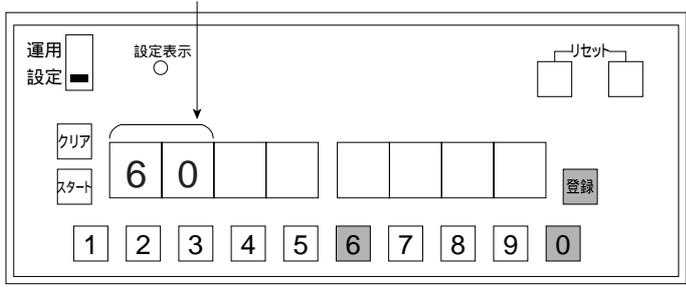
解錠時間帯2もあれば登録し“登録”を押すとプログラム番号 **52** が表示され上記の方法と同様に行います。
 プログラム番号 **58⁻²** の次はプログラム番号 **60** となります。

年月日（日付の）設定、時分秒（時刻の）設定（プログラム番号 **60** **61**）

↑ 日付表示 ↑ 時刻表示

- ・日付および時刻をプログラムボードより変更・登録ができます。
- ・接続された管理事務室親機からも月日、時刻の変更・登録ができます。
- ・登録時の日付・時刻が管理事務室親機に表示されます。

年月日（日付の）設定・変更・登録（プログラム番号 **60**）
プログラム番号 **60** ...日付表示

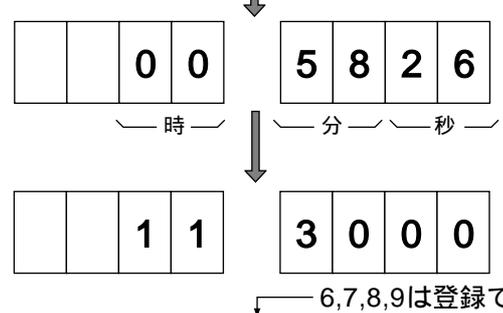
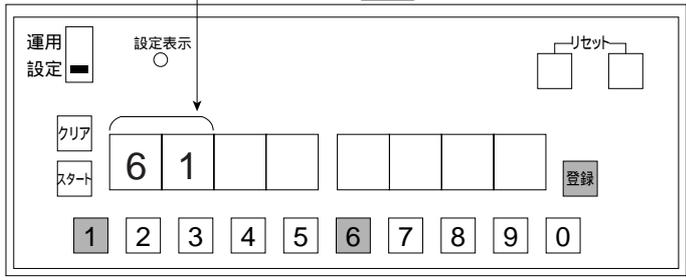


（注）・誤日付の場合〔（例）01 17 23〕表示部の数字が消えます。
再度登録操作を行うこと...日付の表示（プログラム番号 **60**）で確認のこと

- ①
- ・前の「共同玄関子機8の電気錠解錠時間帯2設定」後、または
 - ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタンを“6” “0” “登録”と押す。
- ↓
- 変更前の日付が表示されます。
（注）出荷時状態は010101です。
（2001年1月1日）

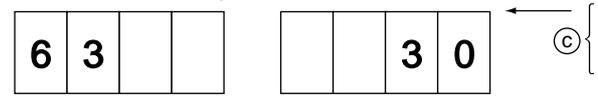
- ②
- 変更する日付（例）2002年7月23日
↓
020723
- ・プログラムボタンを 0 2 0 7 2 3 登録と順番に押す。
- ↑
登録されます

時分秒（時刻の）設定・変更・登録（プログラム番号 **61**）
プログラム番号 **61** ...時刻表示



（注）・誤時刻の場合〔（例）11 8000〕表示部の数字が消えます。もう一度“登録”ボタンを押すと、次のプログラム番号 **64** に進んでしまうので、“登録”ボタンを押さないで、正しい時刻を入力し、“登録”ボタンを押して再度登録操作を行ってください。

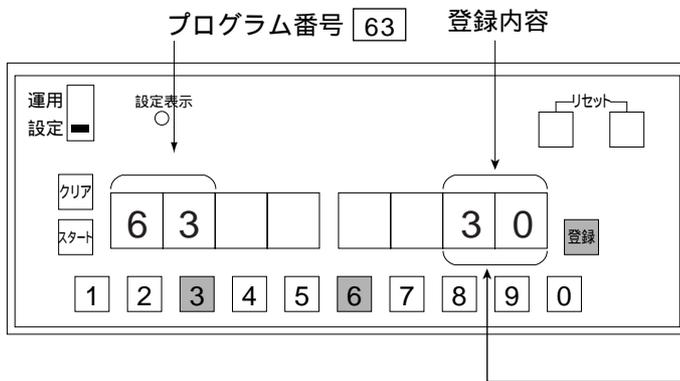
・登録結果の確認は時刻の表示（プログラム番号 **61**）で確認できます。
数表示は左へ移動します。



- ①
- ・前の「年月日（日付の）設定」後、または
 - ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタンを“6” “1” “登録”と押す。
- ↓
- 表示部に刻々更新される時刻が表示されます。
（例）00時58分28秒
（注）出荷時状態は00 00 00です
- ↓（但し、メモリスイッチを“セット”側にした時点よりカウントアップされます）
- 変更する日付（例）11時30分00秒設定
- ②
- ・プログラムボタンを1 1 3 0 0 0と順番に押すと表示されます。

- ③
- ・最後に“登録”と押すと登録が行われ次のプログラム番号 **63** と登録内容が表示されます。

監視カメラ映像最大接続時間設定 (プログラム番号 63)



- (a) ・前の「時分秒(時刻の)設定」後、
または
・モードスイッチの設定(下)側にし、プログラムボタンを“6” “3” “登録”と押す。

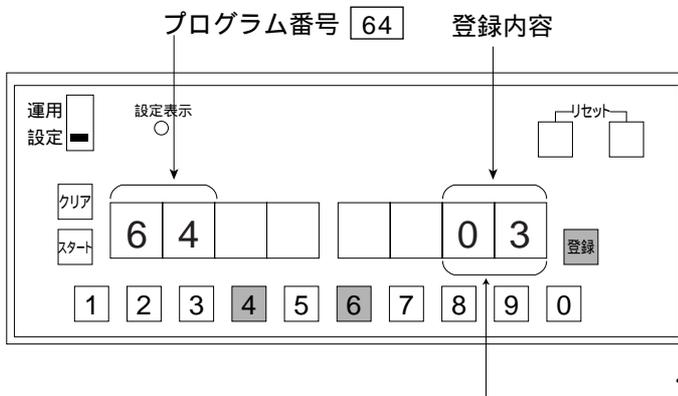
1回の最大接続時間

- ・30:30秒間(出荷時状態)
- ・30(30秒)~120(120秒)まで1秒単位で変更可能

(b) 変更はプログラムボタン“0~9”を押す。

(c) 登録を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 64 と登録内容が表示されます。

共用部通話最大接続時間設定 (プログラム番号 64)



- (a) ・前の「監視カメラ映像最大接続時間設定」後、
または
・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタンを“6” “4” “登録”と押す。

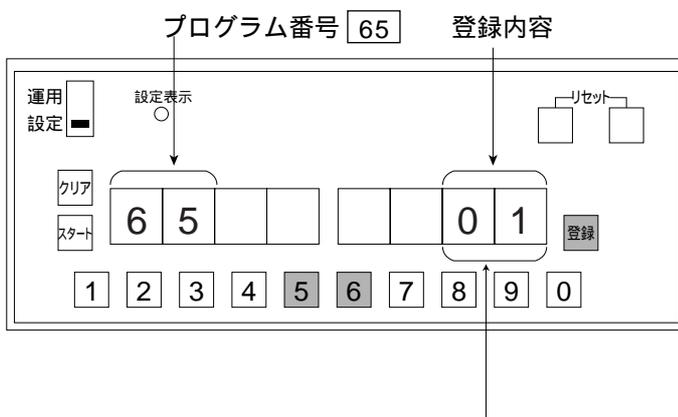
1回の接続で通話できる最大時間

- ・03:3分間(出荷時状態)
- ・01(1分)~10(10分)まで1分単位で変更可能

(b) 変更はプログラムボタン“0~9”を押す。

(c) “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 65 と登録内容が表示されます。

住戸間通話最大接続時間設定 (プログラム番号 65)



- (a) ・前の「共用部通話最大接続時間設定」後、
または
・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタンを“6” “5” “登録”と押す。

住戸間通話ユニット(VL-M606)接続システム、
またはカラーモニター室内親機において住戸間通話
の1回の接続で通話できる最大時間

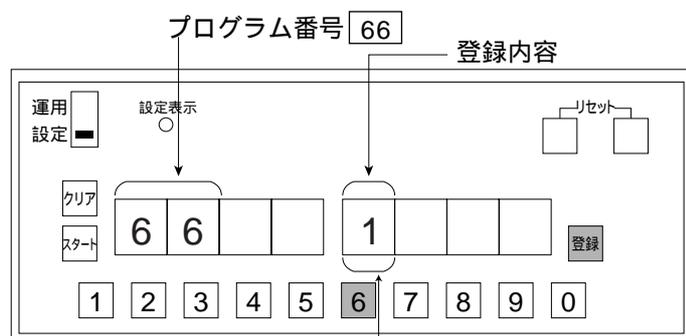
- ・01:1分間(出荷時状態)
- ・01(1分)~10(10分)まで1分単位で変更可能

(b) 変更はプログラムボタン“0~9”を押す。

(c) “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 66 と登録内容が表示されます。

- ・他の通話等が話中になる可能性がありますので短い時間設定をおすすめします。
- ・カラーモニター室内親機で住戸間通話を行う時は、カラーモニター室内親機に設定が必要です。

ガス断線発報の有り / 無し設定 (プログラム番号 66)



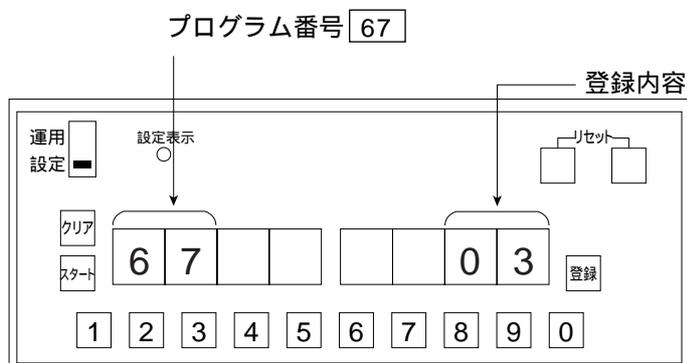
- ・前の「住戸間通話最大接続時間設定」後、または
- ① ・・・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタンを“6” “6” “登録”と押す。

室内親機に接続のガスセンサーが断線機能付(有電圧)でガス断線発報時、管理事務室親機に表示および移報接点出力の有・無を決めます。

- 1 : ガス断線発報有り
- 0 : 無し

- ② 変更はプログラムボタン“0”または“1”を押す。
- ③ “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 67 と登録内容が表示されます。

設定不要 (プログラム番号 67)

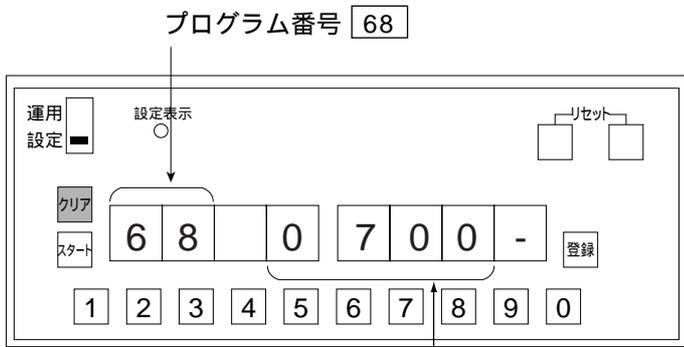


- お願い**
- ・設定不要です。〔プログラム番号 67 ...03 の状態のままお使いください〕
 - ・設定しますと、誤動作の原因になります。

プログラム番号 67 の次はプログラム番号 68 となります。

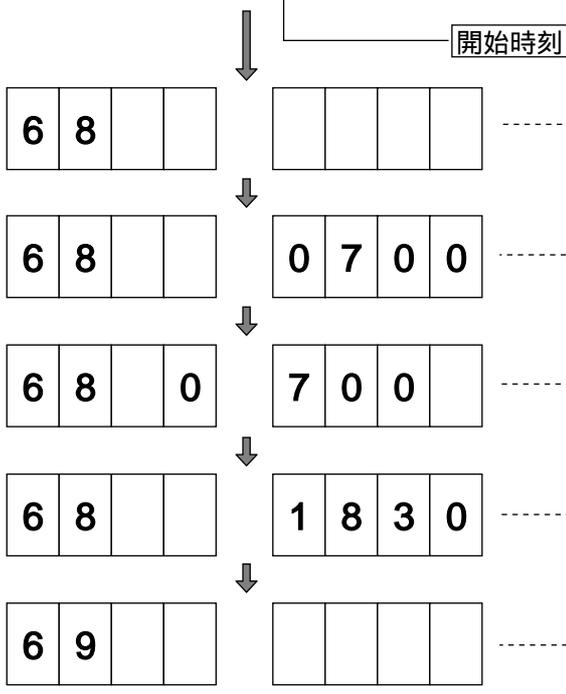
報知音鳴動時間帯設定 (プログラム番号 68)

• 宅配ロッカーからの滞留報知音等を鳴動させる時間帯の設定です。



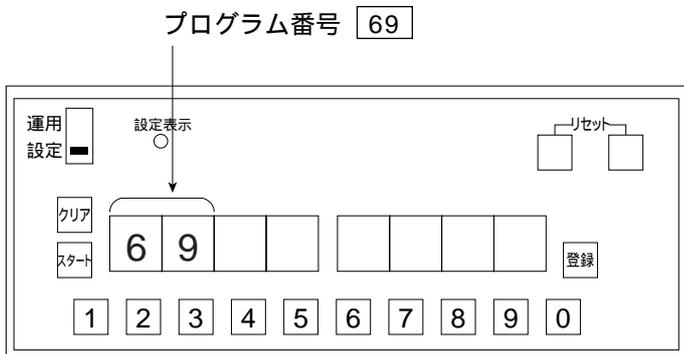
- a) ・前の「設定不要(プログラム番号 67)」後、
または
・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタンを“6” “8” “登録”と押す。
出荷時状態は0700～1900
(午前7時～午後19時まで)

(例) **開始時刻** 午前7時から
終了時刻 午後18時30分まで



- b) **開始時刻**は、出荷時状態と同じですが時刻変更時は必ずクリア釦を押し、登録内容を全て消す
 - c) **開始時刻** 入力07:00 “0” “7” “0” “0”とプログラムボタンを押す
(注)7:00 “7” “0” “0”と登録できません
頭に必ず“0”を入れること
 - d) “登録”を押すと 表示される
 - e) **終了時刻** 入力18:30 “1” “8” “3” “0”とプログラムボタンを押す。
- 最後に“登録”を押すと登録が行われ、次のプログラム番号 69 と登録内容が表示されます。

設定不要 (プログラム番号 69)

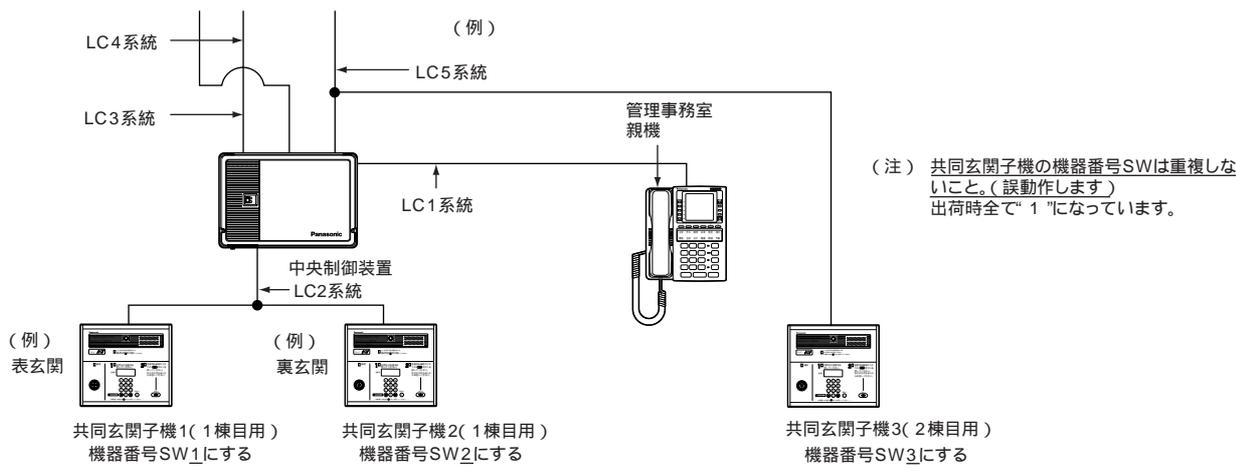


- お願い**
- ・設定不要です。〔プログラム番号 69〕... 空白の状態のままお使いください
 - ・設定しますと、誤動作の原因になります。

プログラム番号 69 の次はプログラム番号 71 となります。

共同玄関子機 1 ~ 8 の電気錠解錠時間設定 (プログラム番号 71 ~ 78)

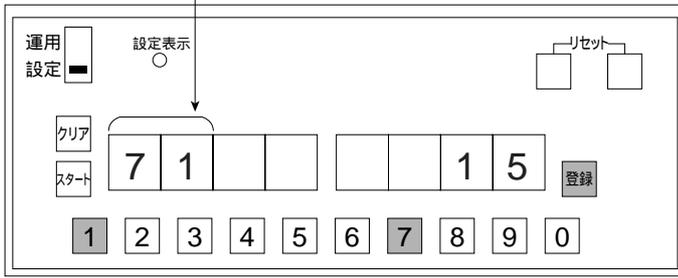
〔注〕共同玄関子機が複数の場合は、共同玄関子機内の機器番号SWを設定し(取付工事説明書参照)各共同玄関子機に対して、任意の解錠時間を決め登録します。
 解錠時間(ドアの開いている時間)は出荷状態では、15秒間です。
 解錠時間は01 ~ 60秒まで設定が可能



プログラム表

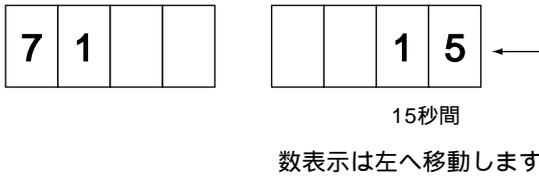
プログラム番号	対象	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
→ 71	共同玄関子機1設定用	15	60	
→ 72	共同玄関子機2設定用	15	30	
→ 73	共同玄関子機3設定用	15	30	
74	共同玄関子機4設定用	15		
75	共同玄関子機5設定用	15		
76	共同玄関子機6設定用	15		
77	共同玄関子機7設定用	15		
78	共同玄関子機8設定用	15		

プログラム番号 **71** ... 共同玄関子機1の電気錠解錠時間

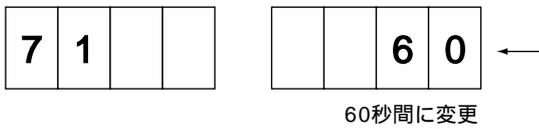


- ①
- ・前の「設定不要(プログラム番号**69**)」後、または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタンを“7”と“1”と“登録”との順番に押す。

変更前の解錠時刻が表示されます。
(注) 出荷状態は15(15秒)です。

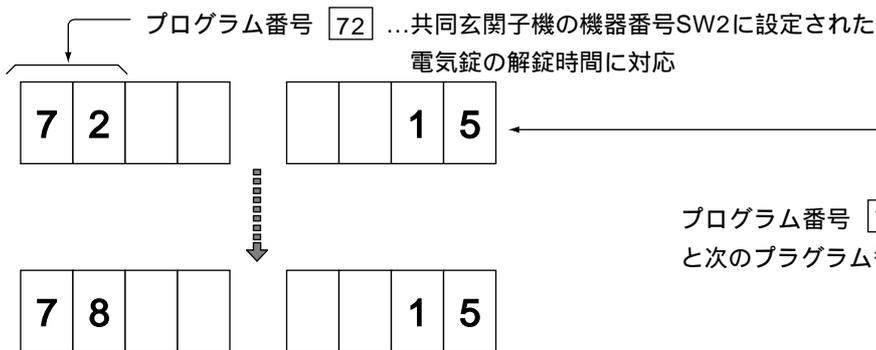


変更する解錠時刻(例) 15秒 60秒
(注) { 60秒以上登録不可能 }
{ 7秒 07と登録のこと }



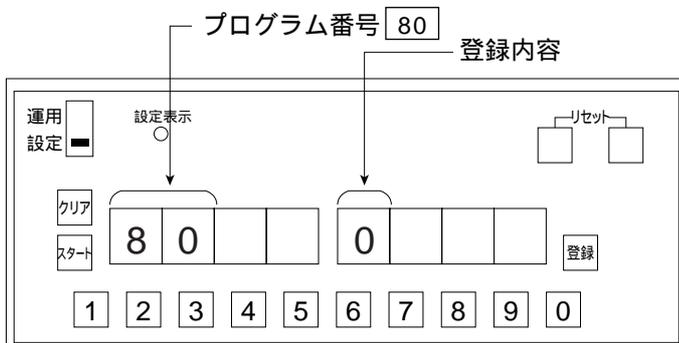
- ②
- ・プログラムボタン“6” “0” “登録”と順番に押すと登録が行われ、次のプログラム番号 **72** が表示されます。

(注) 誤時間の場合〔(例) 70〕
表示部の数字が消える...再度登録を行う



プログラム番号 **78** の後に、“登録”を押すと次のプログラム番号 **80** となります。

設定不要(プログラム番号 **80**)



お願い

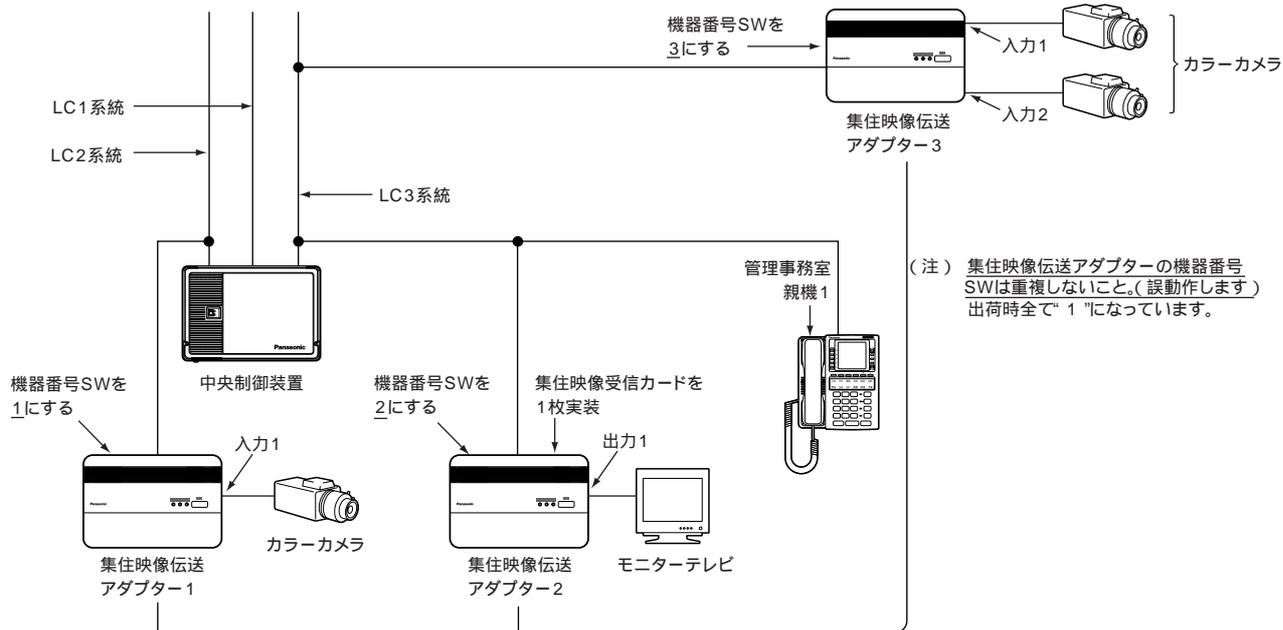
- ・設定不要です。〔プログラム番号 **80** ...0の状態のままお使いください〕
- ・設定しますと誤動作の原因になります。

プログラム番号 **80** の次はプログラム番号 **81** となります。

集住映像伝送アダプター1～8の接続系統番号設定

(プログラム番号 81^{-1} ~ 81^{-8})

[注]集住映像伝送アダプターが複数の場合は、集住映像伝送アダプター内にある機器番号SWを設定し(取付工事説明書参照)機器番号に対応したプログラム番号に接続系統番号を登録します。



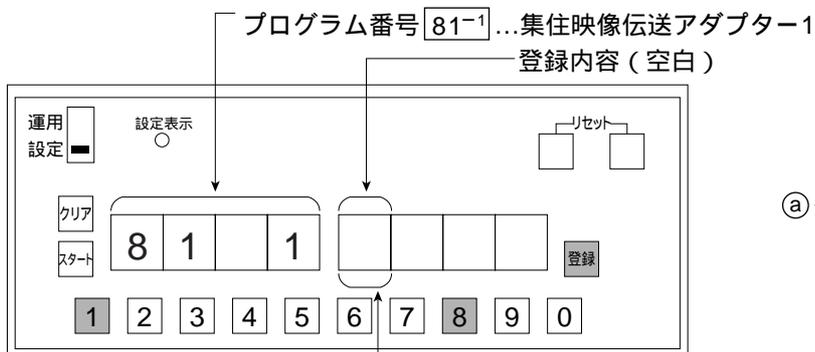
(注) 集住映像伝送アダプターの機器番号SWは重複しないこと。(誤動作します) 出荷時全て“1”になっています。

プログラム表

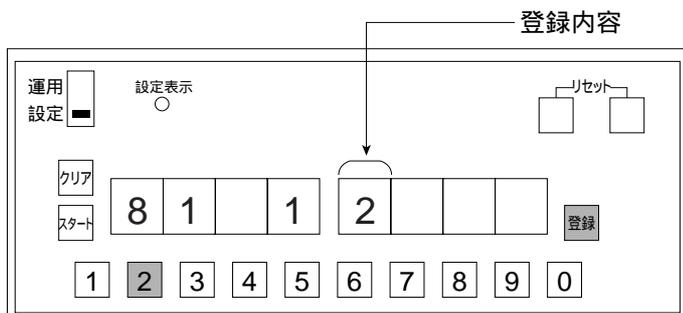
プログラム番号	対象	初期値	接続する系統番号を記入する1桁(1-8)	確認チェック欄
		1	集住映像伝送アダプター1設定用	空白
2	集住映像伝送アダプター2設定用	空白	3	
3	集住映像伝送アダプター3設定用	空白	3	
81	4 集住映像伝送アダプター4設定用	空白		
	5 集住映像伝送アダプター5設定用	空白		
	6 集住映像伝送アダプター6設定用	空白		
	7 集住映像伝送アダプター7設定用	空白		
	8 集住映像伝送アダプター8設定用	空白		

1桁
1~8: 接続系統番号
空白: 未接続

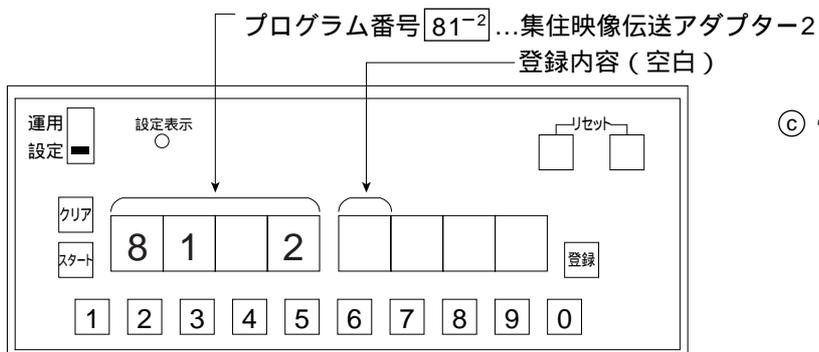
プログラム表の頁の(注1~3)を参照願います。



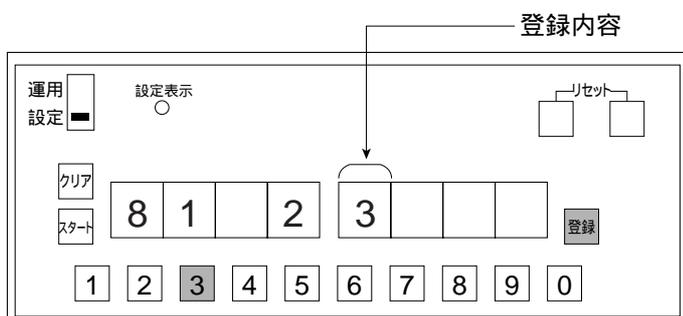
- ①
- ・前の「設定不要(プログラム番号 80)」後、
 - または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“8” “1” “登録”を順に押す。



- ② 集住映像伝送アダプター1が接続されているシステム番号1桁(1~8)をプログラムボタン「1~8」で登録します。



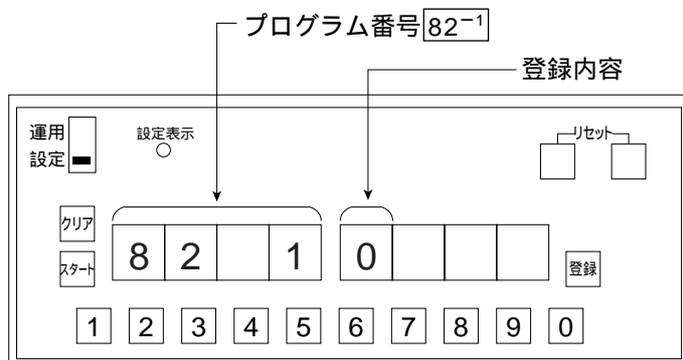
- ③ “登録”を押すと81-2が表示されます。



- ④ 集住映像伝送アダプター2が接続されている場合は、接続されているシステム番号1桁(1~8)を登録してください。接続されていなければ、そのまま“登録”を押すことにより次のプログラム番号 81^{-3} が表示されます。

以下プログラム番号 81^{-8} まで繰り返します。
プログラム番号 81^{-8} の次はプログラム番号 82^{-1} となります。

設定不要 (プログラム番号 82^{-1} ~ 82^{-8})

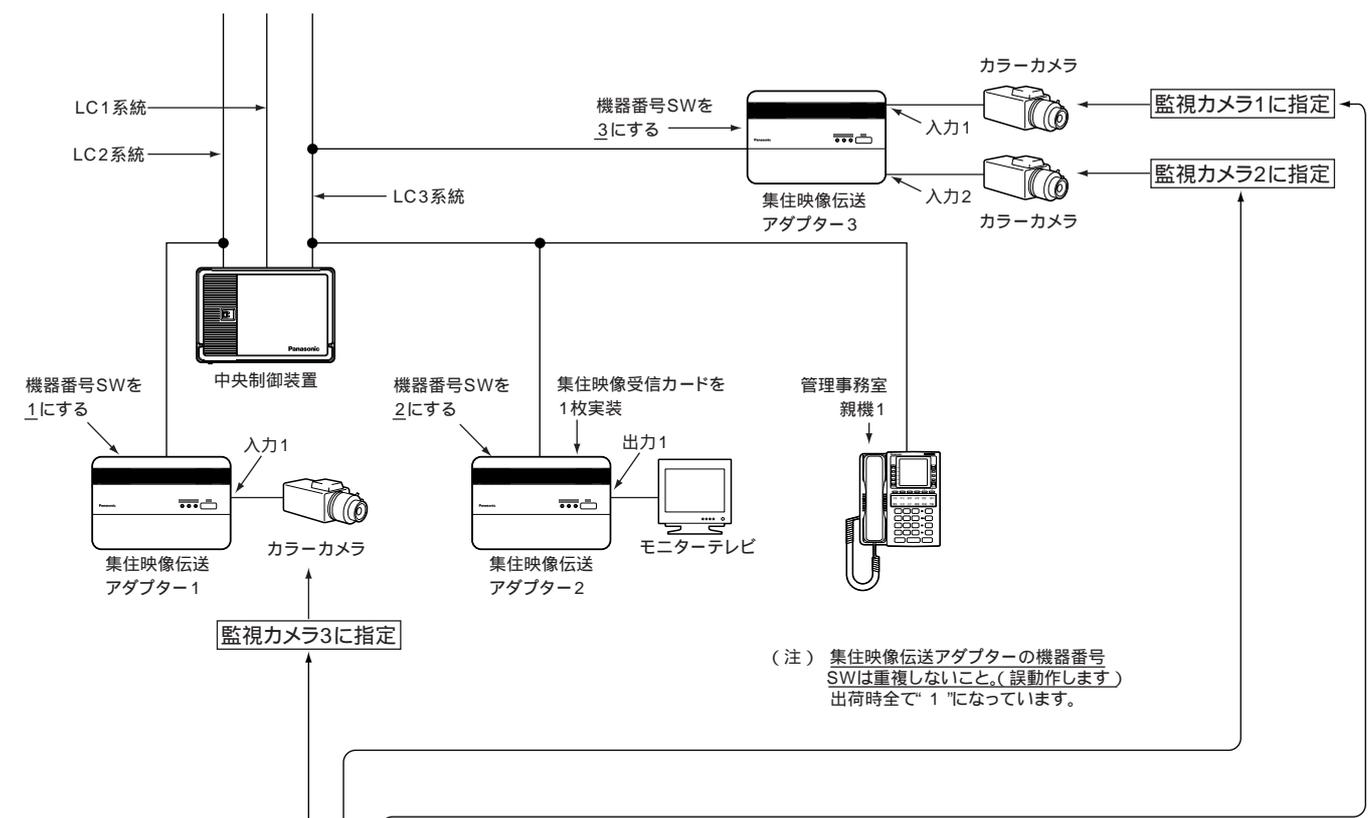


お願い

- ・設定不要です。〔プログラム番号 82^{-1} ~ 82^{-8} ...0 の状態のままお使いください〕
- ・設定しますと誤動作の原因になります。

プログラム番号 82^{-8} の次はプログラム番号 83^{-1} となります。

監視カメラ1～8の連動指定設定 (プログラム番号 83⁻¹ ~ 83⁻⁸)

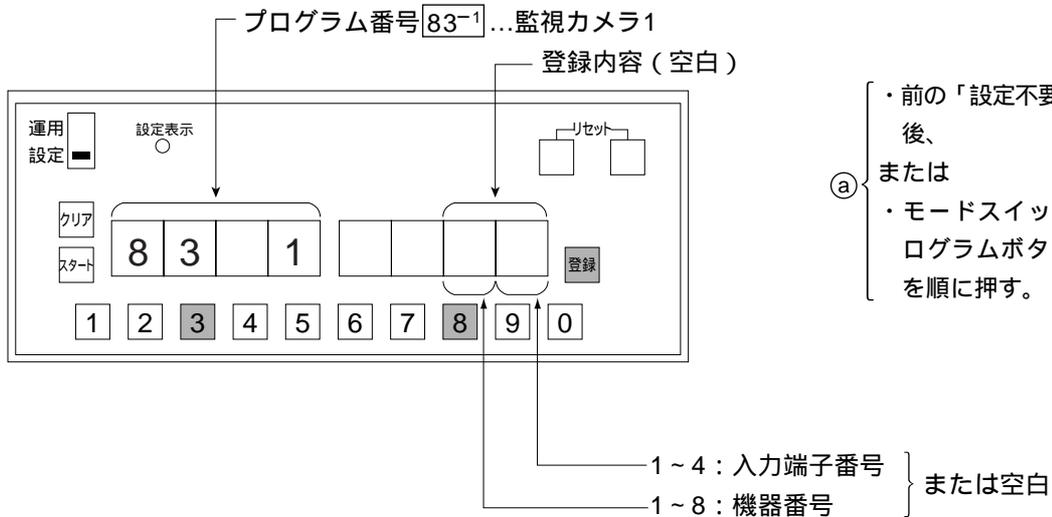


プログラム表

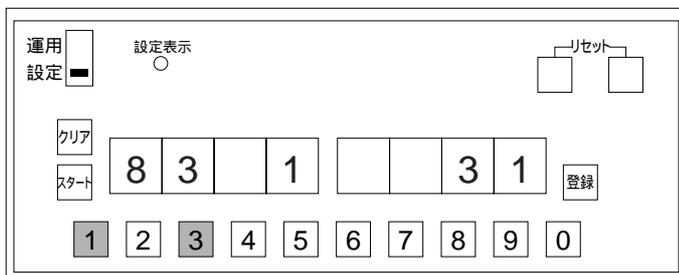
プログラム番号	対 象	初期値	確認	
			設定記入欄 2桁 (11~84)	チェック欄
83	1 監視カメラ1設定用	空白	31	
	2 監視カメラ2設定用	空白	32	
	3 監視カメラ3設定用	空白	11	
	4 監視カメラ4設定用	空白		
	5 監視カメラ5設定用	空白		
	6 監視カメラ6設定用	空白		
	7 監視カメラ7設定用	空白		
	8 監視カメラ8設定用	空白		

2桁
11~84: 連動指定
空白: 連動無し

〔注〕 同一の集住映像伝送アダプターに接続された、監視カメラ1、2に指定したカメラ映像を同時に伝送することはありません。同時に伝送したい場合は、監視カメラ1、2のカメラを別の集住映像伝送アダプターに接続してください。



- ①
- ・前の「設定不要 (プログラム番号 82^{-8})」後、
 - または
 - ・モードスイッチを設定 (下) 側にし、プログラムボタン “8” “3” “登録” を順に押す。

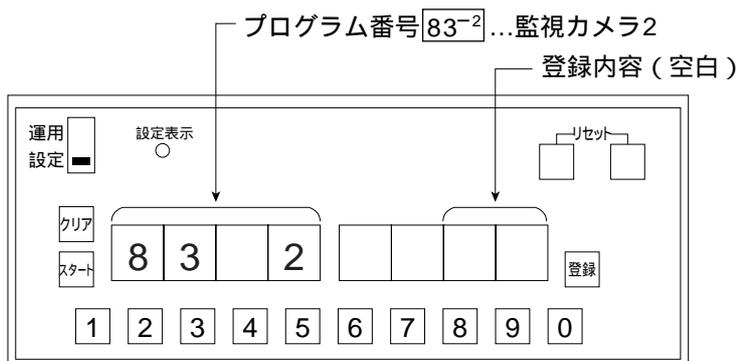


- ② 指定する場合はプログラムボタン「1~8」で登録します。

(例) 機器番号 : 3

入力端子番号 : 1

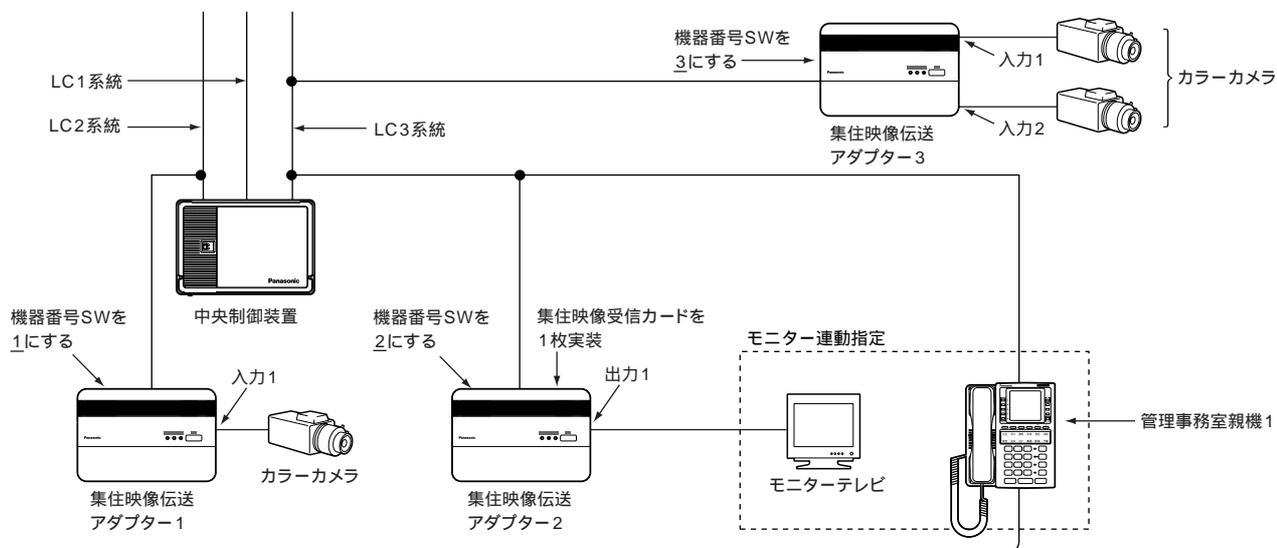
のカメラを監視カメラ1として指定する場合はプログラムボタン “3” “1” を順に押す。



- ③ “登録” を押すと指定登録が行われ、83-2が表示されます。

以下プログラム番号 83^{-8} まで繰り返します。
プログラム番号 83^{-8} の次はプログラム番号 84^{-1} になります。

管理事務室親機1～8のモニター連動指定設定 (プログラム番号 84⁻¹ ~ 84⁻⁸)

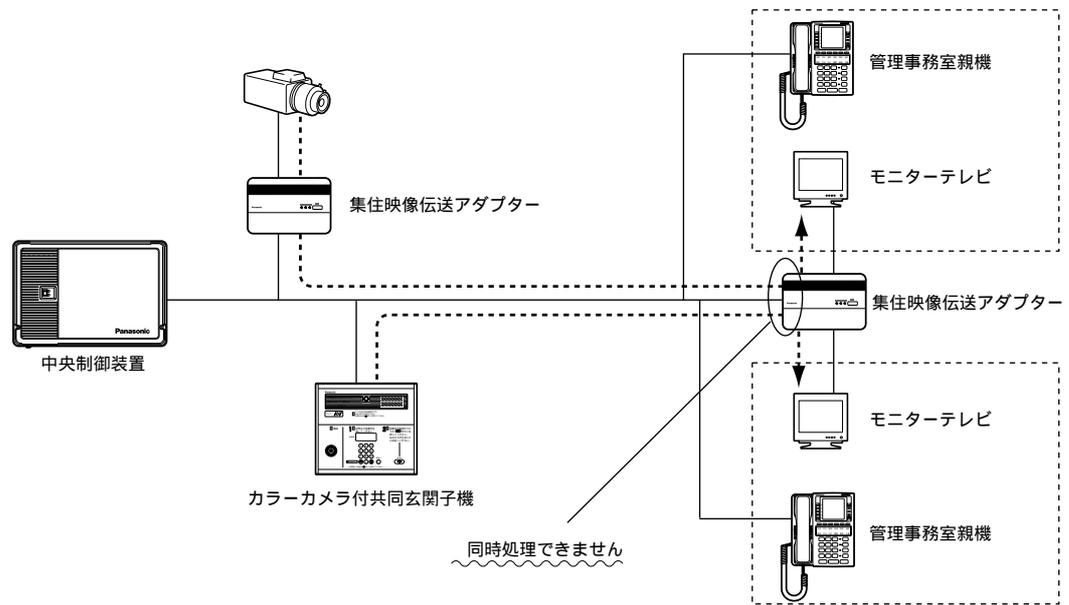


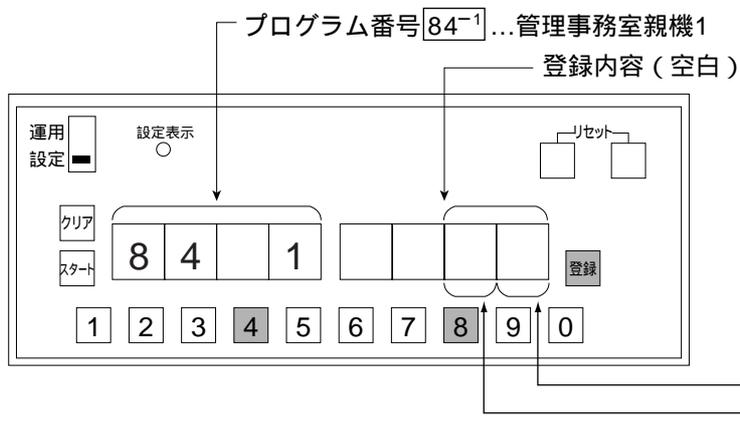
(注) 集住映像伝送アダプターの機器番号SWは重複しないこと。(誤動作します) 出荷時全て"1"になっています。

プログラム表

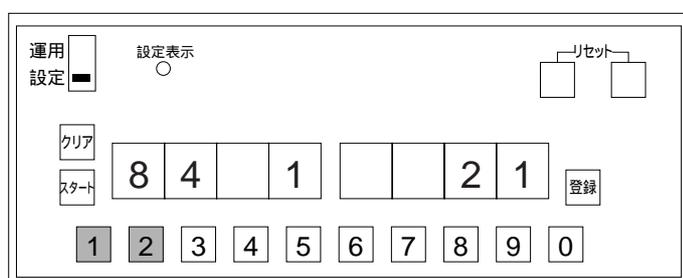
プログラム番号	対 象	初期値	設定記入欄	確認
			2桁 (11~84)	チェック欄
84	1 管理事務室親機1設定用	空白	21	
	2 管理事務室親機2設定用	空白		
	3 管理事務室親機3設定用	空白		
	4 管理事務室親機4設定用	空白		
	5 管理事務室親機5設定用	空白		
	6 管理事務室親機6設定用	空白		
	7 管理事務室親機7設定用	空白		
	8 管理事務室親機8設定用	空白		
2桁				
11~84: 連動指定				
空白: 連動無し				

〔注〕 同一の集住映像伝送アダプターに接続された複数のモニターに、異なる映像を表示することはできません。同時に表示したい場合は、異なる集住映像伝送アダプターにモニターを接続してください。

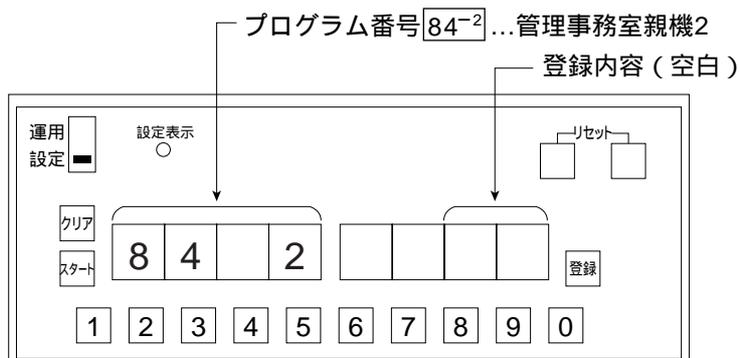




- ①
- ・前の「監視カメラ8の連動指定設定」後、または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“8” “4” “登録”を順に押す。



- ② 指定する場合はプログラムボタン「1~8」で登録します。
(例) 機器番号 : 2
出力端子番号 : 1
のモニターで管理事務室親機1と連動指定する場合はプログラムボタン“2” “1”を順に押す。



- ③ “登録”を押すと指定登録が行われ、84-2が表示されます。

以下プログラム番号 84^{-9} まで繰り返します。プログラム番号 84^{-8} の次はプログラム番号 90 となります。

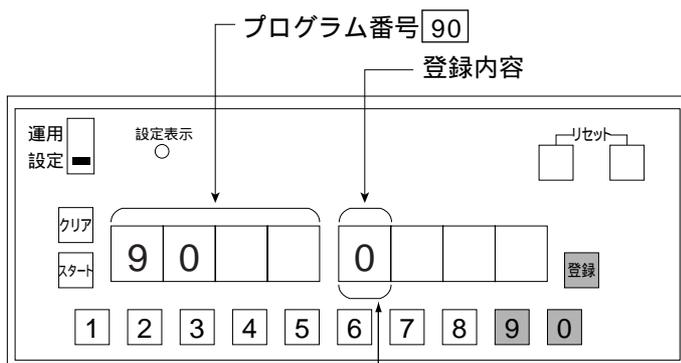
OLCユニット実装 / 未実装設定 (プログラム番号 90)

(注1)

OLCユニットの実装状態に合わせて速やかに設定してください。
(プログラム登録の最初に確認してください。)

- ・ OLCユニットが実装されている状態で未実装設定をした場合、システムは停止状態となり、プログラムボードの異常表示が“oE-1”となります。
- ・ OLCユニットが実装されていない状態で実装設定をした場合、システムは停止状態となり、プログラムボードの異常表示が“oE-2”となります。

どちらの場合でも、制御装置が定期的のリセットされ設定ができない場合があります。又、システムは停止状態となります。

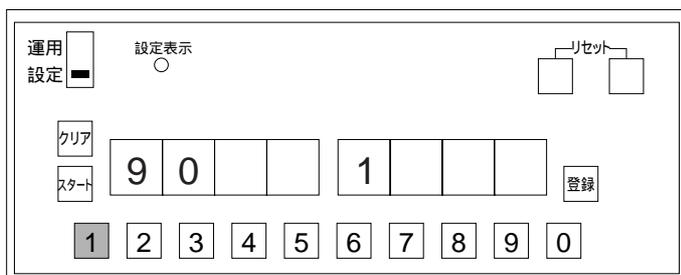


- ①
- ・ 前の「管理事務室親機8のモニター連動指定設定」後、
 - または
 - ・ モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“9” “0” “登録”を順に押す。

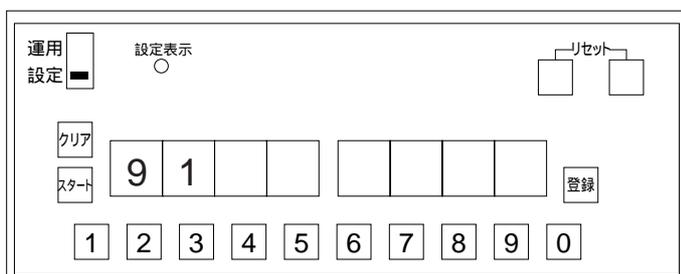
- 0 : OLCユニット未実装
- 1 : OLCユニット実装

お願い

実装状態と登録内容が異なっていた場合、装置が定期的のリセットされるのでこの表示も消えてしまいます。登録前に消えてしまった場合は、再度 ① からの操作を行い、速やかに変更登録操作まで行ってください。

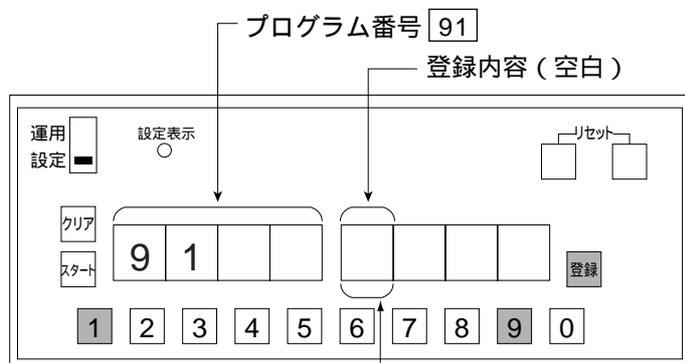


- ② 変更する場合はプログラムボタン“1”または“0”を押す。



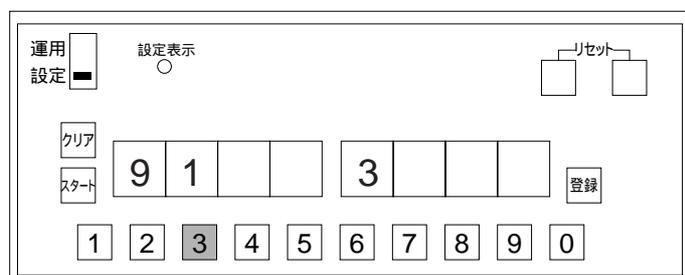
- ③ “登録”を押すと変更登録が行われ、91が表示されます。

集中制御装置の接続系統番号設定 (プログラム番号 91)

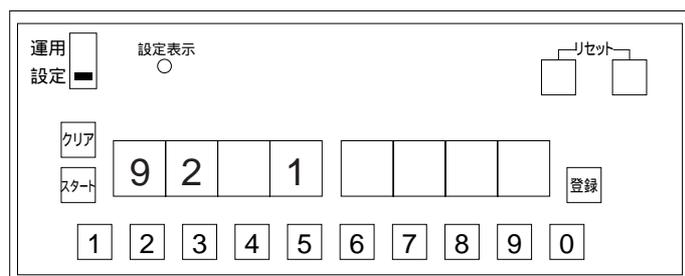


- ①
- ・前の「OLCユニット実装 / 未実装設定」後、
- または
- ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタン“9” “1” “登録”を順に押す。

1～8：集中制御装置の接続系統番号
空白：集中制御装置と未接続

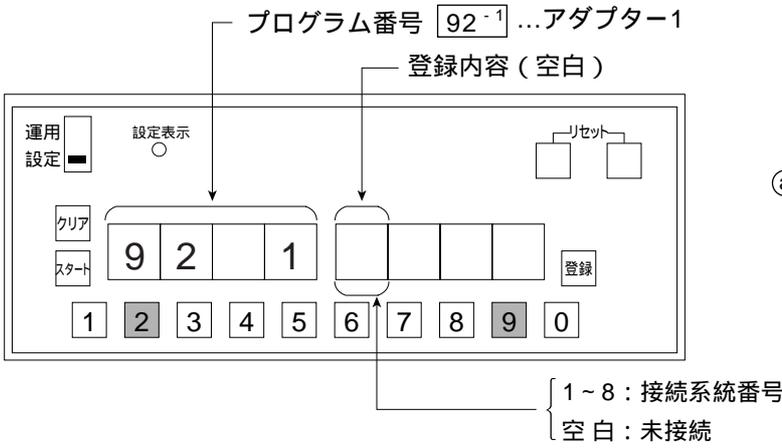


- ② 集中制御装置に接続する場合は、接続している集中制御装置の系統番号をプログラムボタン「1～8」を押す。

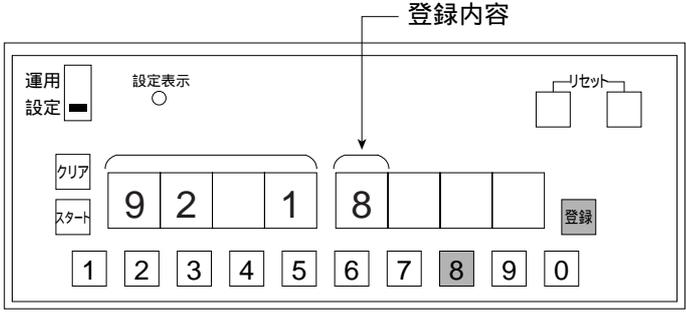


- ③ “登録”を押すと変更登録が行われ、92-1が表示されます。

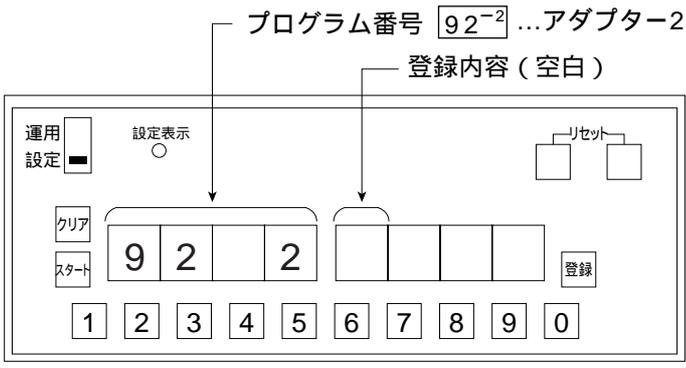
アダプター1～8の接続系統番号設定 (プログラム番号 92^{-1} ~ 92^{-8})



- ・前の「集中制御装置の接続系統番号設定」後、または
- ① ・モードスイッチを設定 (下) 側にし、プログラムボタン “9” “2” “登録” を順に押す。



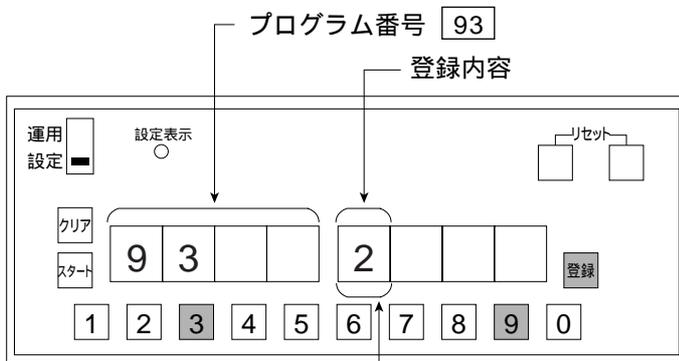
- ② アダプター1が接続されている系統番号1桁 (1~8) をプログラムボタン「1~8」で登録します。



- ③ “登録” を押すと変更登録が行われ、 92^{-2} が表示されます。

以下プログラム番号 92^{-8} まで繰り返します。
プログラム番号 92^{-8} の次はプログラム番号 93 となります。

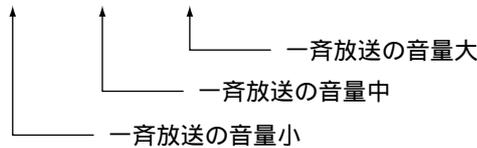
一斉放送の音量調整設定 (プログラム番号 93)



- ①
- ・前の「アダプター8の接続系統番号設定」後、または
 - ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタン“9” “3” “登録”を順に押す。

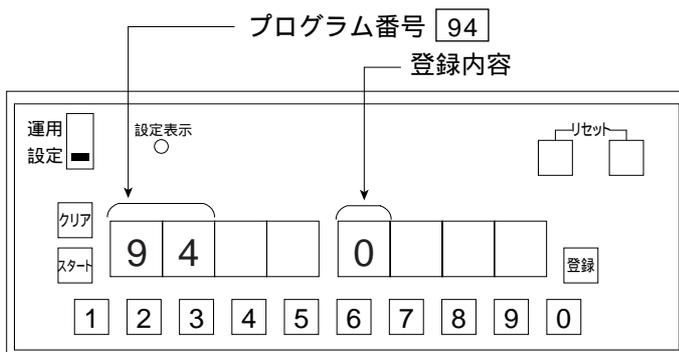
- 2：一斉放送の音量大
- 1：一斉放送の音量中
- 0：一斉放送の音量小

② 変更後はプログラムボタン“0”、“1”、“2”を押す



③ プログラムボタン“登録”を押すと登録が行われ次のプログラム番号 94 と登録内容が表示されます。

設定不要 (プログラム番号 94)



お願い

- ・設定不要です。〔プログラム番号 94...0 の状態のままお使いください〕
- ・設定しますと、誤動作の原因になります。

プログラム番号 94 の次はプログラム番号 100 となります。

プログラムボードからの住戸番号登録許可 / 禁止設定 (プログラム番号 **100**)

お願い 住戸番号の登録方法は、下表のようになり、プログラム番号100の設定をしてください。

室内親機の種類	室内親機の該当機種	プログラム番号100の設定	制御装置プログラムボードによる住戸番号の登録
住戸番号の自動登録 可	VL-M366FA、VG-M369FA、VL-M366LX VL-M367FA、VJ-M368FA、VG-M371FA VG-J372FA、VG-M373A、VL-M367LMA VG-M376D、VG-M377D、	0 (出荷時状態)	不要
住戸番号の自動登録 不可	VL-365C等	1	必要

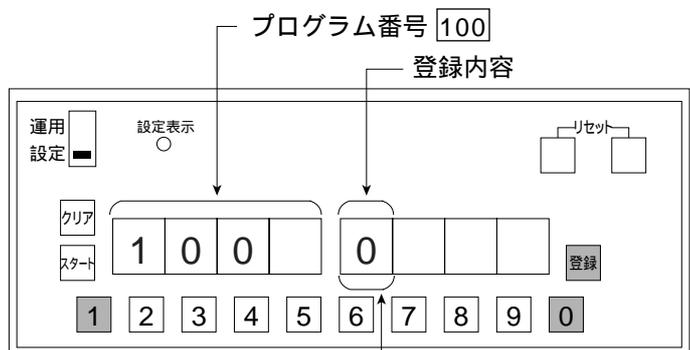
また、住戸番号毎のセキュリティパターン〔**1** (出荷時)、**2**、**3**、**4**〕プログラム番号900～973は、住戸番号の自動登録**不可**の室内親機では無視されます。

住戸番号の自動登録とは、

- 室内親機の自動登録操作により、住戸番号を自動的に制御装置 (若い番号順に並べ) に登録されます。

〔ただし、制御装置プログラムボードの設定モードが運用側のみ住戸番号は登録可能で、設定側では、登録不可です。〕

- 登録設定条件： 室内親機と制御装置間の接続配線完了のこと。
制御装置のプログラムボードにより、プログラム番号90、11～18の設定が正しく行われていること。
室内親機、制御装置にAC電源が供給されていること。
制御装置のプログラムボードは、運用側であること。
設定側では、住戸番号の自動登録不可。
(制御装置のプログラムボードによる住戸番号の登録設定は不要です。
住戸番号以外のプログラム設定は、制御装置側のプログラムボードにより設定します。
室内親機は、住戸番号の自動登録可能タイプであること。
(自動登録可能タイプでない場合、制御装置のプログラムボードで行います。)
室内親機のハンドセットは、かけた状態であること。
セキュリティが作動していないこと。



- 前の「設定不要 (プログラム番号 **94**)」後、または
- ① モードスイッチを設定 (下) 側にし、プログラムボタン「1」「0」「0」「登録」を順に押す。

(出荷時状態)

- 0: プログラムボードから住戸番号の登録設定不要の場合
〔室内親機の種類が住戸番号の自動登録**可**〕
- 1: プログラムボードから住戸番号の登録設定をする場合

② 変更はプログラムボタン「1」または「0」を押す。

③ 「登録」を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号**101**が表示されます。

LC1～8に接続された室内親機の住戸番号の **確認** / 設定 (プログラム番号 **101**～**864**)

プログラム番号 **101**～**864**の間に欠番があります。

下記のように系統ごとにプログラム番号が決まっています。

参考	系統目	接続台数	プログラムNO.	プログラム番号欠番 (表示されません)	中央制御装置 接続端子名
	1	1～64	101～164	(165～200)	1系統
	2	1～64	201～264	(265～300)	2系統
	3	1～64	301～364	(365～400)	3系統
	4	1～64	401～464	(465～500)	4系統
	5	1～64	501～564	(565～600)	5系統
	6	1～64	601～664	(665～700)	6系統
	7	1～64	701～764	(765～800)	7系統
	8	1～64	801～864		8系統

プログラム番号 **864**の次は、プログラム番号 **900**になります。

セキュリティパターン設定

住戸番号表の記入例

住戸番号表 (1系統目用)

部屋番号 (住戸番号) が決まれば

記入する 出荷時未設定

プログラム番号 101～164		プログラム番号 101～164					
系統1	接続台数	加付プログラム番号	登録予定住戸番号	系統1	接続台数	加付プログラム番号	登録予定住戸番号
		記入欄	確認			記入欄	確認
LC1 接 続 端 子 1系統	1	101	101	LC1 接 続 端 子 1系統	33	133	406
	2	102	102		34	134	407
	3	103	103		35	135	408
	4	104	104		36	136	409
	5	105	105		37	137	501
	6	106	106		38	138	502
	7	107	107		39	139	503
	8	108	108		40	140	504
	9	109	109		41	141	505
	10	110	201		42	142	506
	11	111	202		43	143	507
	12	112	203		44	144	508
	13	113	204		45	145	509
	14	114	205		46	146	601
	15	115	206		47	147	602
	16	116	207		48	148	603
	17	117	208		49	149	604
	18	118	209		50	150	605
	19	119	301		51	151	606
	20	120	302		52	152	607
	21	121	303		53	153	608
	22	122	304		54	154	609
	23	123	305		55	155	701
	24	124	306		56	156	702
	25	125	307		57	157	703
	26	126	308		58	158	704
	27	127	309		59	159	705
	28	128	401		60	160	706
	29	129	402		61	161	707
	30	130	403		62	162	708
	31	131	404		63	163	709
	32	132	405		64	164	

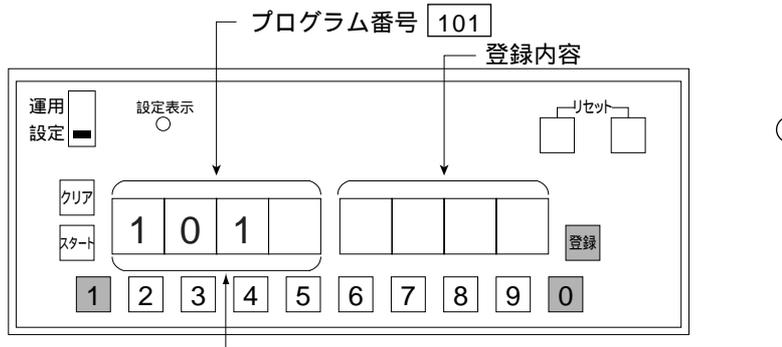
【ご注意】 住戸番号は3桁または4桁です。

住戸番号表よりプログラム番号110～住戸番号201

住 戸 番 号 の 登 録 に お い て は

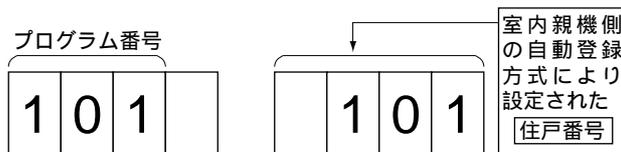
1 住戸番号が登録できない場合は、すでに住戸番号が登録されています。確認してください。
(重複登録防止機能付)

2 住戸番号は、3桁または4桁のみ登録可能です。ただし000、0000は登録できません。

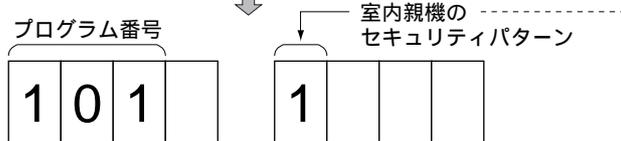


a

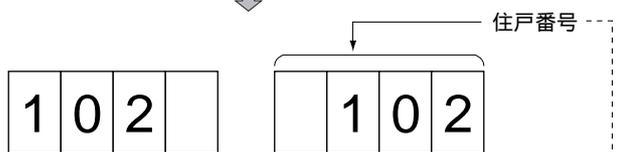
- ・前の「プログラムボードからの住戸番号登録許可/禁止設定」後、または
- ・プログラムボタン“1”と“0”と“1”と“登録”を押す。
(表示部にプログラム番号101が表示される。)



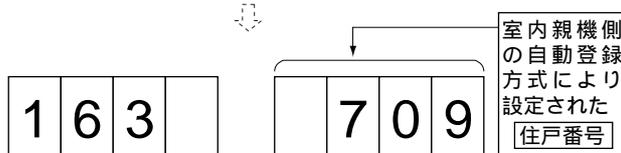
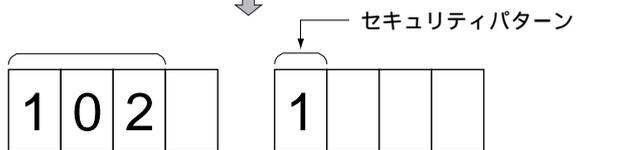
b 室内親機側の自動登録方式により登録された住戸番号(例)101を確認することができます。



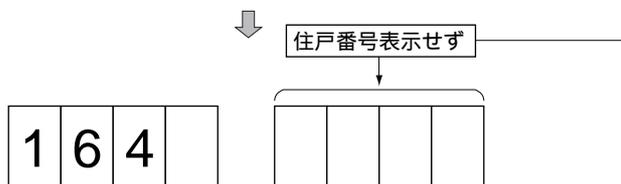
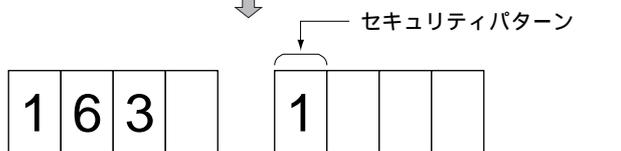
c “登録”を再度押すと自動的に登録された室内親機のセキュリティパターン1が表示される。セキュリティパターン1〔プログラム番号900～913〕の内容を変更したい場合または、セキュリティパターンを234に変更したい場合は下記の様に設定してください。



d “登録”を押す。
(前の1セキュリティパターンが登録される。)と同時にプログラム番号102に登録されている住戸番号が表示され、確認する。
“登録”で、セキュリティパターン1が表示。



繰り返す
セキュリティパターンを1以外に変更する場合はプログラムボタン“2”または“3”または“4”と“登録”を押す。その住戸番号のセキュリティパターンのみ変更されます。
セキュリティパターンの機能項目設定は109頁～116頁を参照願います。



住戸番号が表示されないところまで、到達した場合。

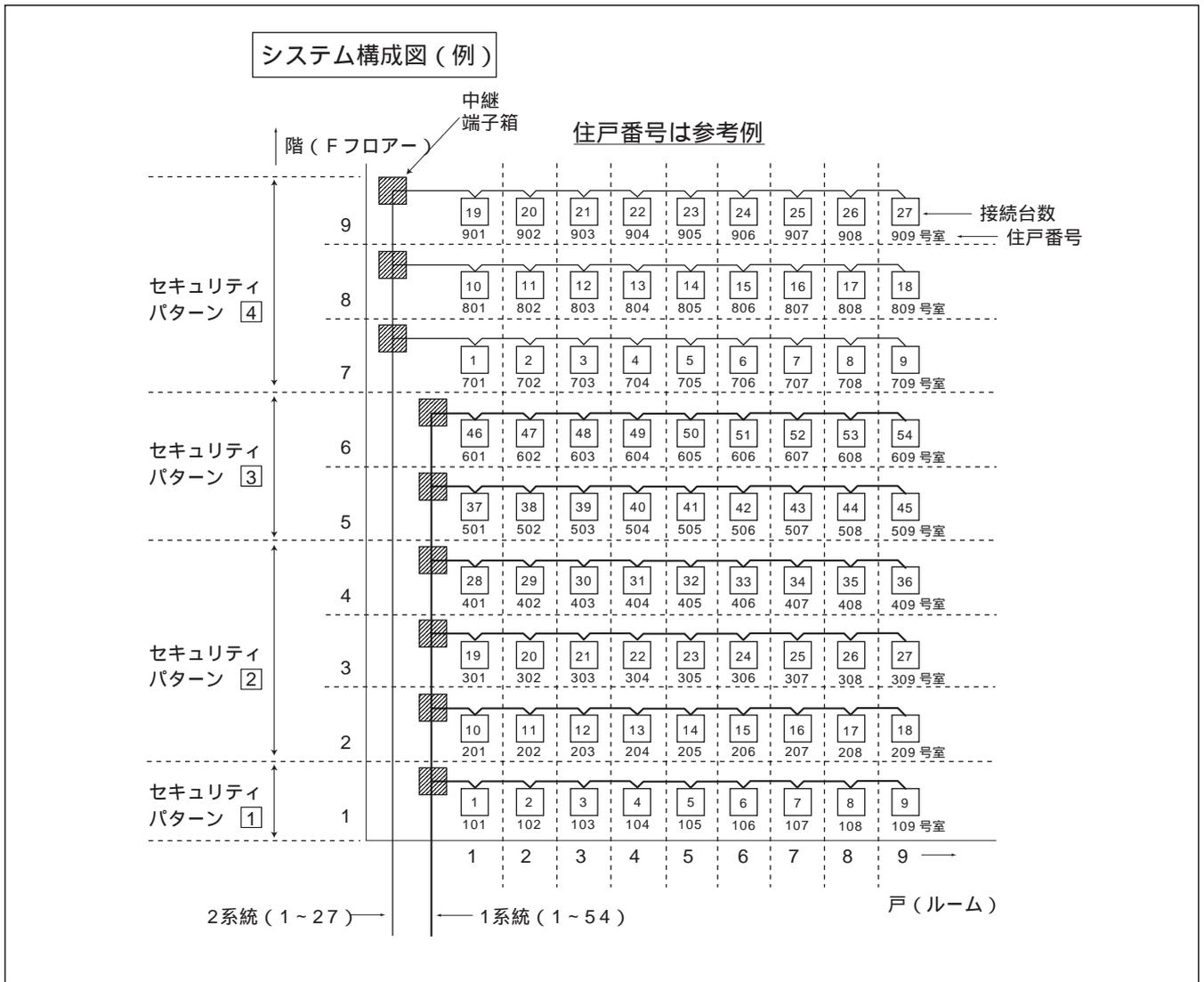
・住戸番号表により、室内親機全台数が、自動登録されているか確認願います。

住戸番号の確認終了後、スタートボタン900登録とプログラムボタンを押しセキュリティパターンの設定プログラム番号を呼出します。

セキュリティ機能付室内親機のセキュリティパターン 1、2、3、4 の設定 (プログラム番号900~973)

お知らせ セキュリティパターンはSV方式及びVL-M367FA、VJ-M368FAのみ有効でプログラム番号910~913、930~933、950~953、970~973はSV方式以降で有効です。
 カラーモニター室内親機の場合、セキュリティパターンは無効です。(ただし、904、924、944、964のみ有効)

- ・室内親機側のセキュリティ設定は、従来のデップスイッチによる設定から、制御装置側でのプログラム設定によるパターン設定方式に変更しています。
 - ・1システムで最大4種類のセキュリティ区別が可能です。(セキュリティパターン 1 ~ 4)
- 参考までに下記(例)を参照願います。



住戸番号とセキュリティパターンの一覧表(例)

上図のシステム構成図を参照し作成。

住戸番号	台数	セキュリティパターンの種類	セキュリティパターンの機能項目変更	
			プログラム番号	変更内容
101~109	9台	パターン 1	902	0 1
201~409	27台	パターン 2	923	0 1
501~609	18台	パターン 3	945	0 1
			947	0 1
701~909	27台	パターン 4	968	00 50

お知らせ 室内親機側で住戸番号を自動登録すると、セキュリティパターン **1** が自動的に設定されます。

【 別途：セキュリティパターン **1** の機能項目（プログラム番号900～913）は変更できます。】
 詳細は、109～110頁を参照願います。

- ・前頁を参考に件名のシステム構成図をもとに「住戸番号とセキュリティパターンの一覧表」を作成し、間違った設定にならないように確認をお願いします。

詳細は109～116頁参照

住戸番号とセキュリティパターン一覧表

住戸番号	台数	セキュリティパターンの種類	セキュリティパターンの機能項目変更		確認欄
			プログラム番号	変更内容	

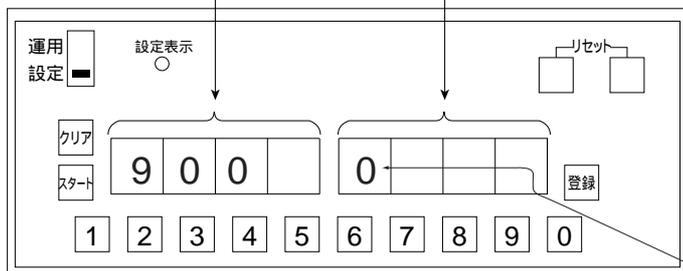
セキュリティ機能付室内親機のセキュリティパターン 1 内容を変更する場合

室内親機側での住戸番号自動登録方式により住戸番号（プログラム番号 101 ~ 864）とセキュリティパターン 1 が自動的に設定されていますが、セキュリティパターン 1 の機能項目を変更する場合は、次頁を参照しプログラムボードにて設定します。

セキュリティパターンの種類	プログラム番号
⇒ セキュリティパターン 1	900 ~ 913
セキュリティパターン 2	920 ~ 933
セキュリティパターン 3	940 ~ 953
セキュリティパターン 4	960 ~ 973

プログラム番号864の後、900に飛びます（865～899は欠番です）

プログラム番号 900 表示内容 (出荷時状態)



セキュリティパターン 1 の場合

・前の「住戸番号の確認」後、プログラムボタン「9」「0」「0」と「登録」を押す

900	0	防犯玄関子機警報の有り/無し 0: 警報無し(出荷時状態) 1: 警報有り
・「登録」を押すと次のプログラム番号へ		
901	0	防犯2のみ警報遅延時間(30秒/60秒)設定 0: 30秒、1: 60秒
・「登録」で次へ		
902	0	防犯警報30秒自動停止の有り/無し 0: 自動停止無し、1: 自動停止有り (室内親機の防犯警報を30秒後に自動停止を行うかを設定)
・「登録」で次へ		
903	0	警報30分自動停止の有り/無し (警報音を30分後に自動停止を行うかを設定) 0: 自動停止無し、1: 自動停止有り (ただし火災・ガスもれ・非常は除く)
・「登録」で次へ		
904	1	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し 0: 鳴動無し、表示無し 1: 鳴動有り、表示有り (住戸の水もれ警報の鳴動を行うかを設定) 2: 鳴動無し、表示有り
・「登録」で次へ		
905	0	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し (トイレコールON時の移報鳴動を行うかを設定) 0: 移報無し 1: 移報有り
・「登録」で次へ		
906	00	トイレコールON時の移報遅延時間(0~60秒) (トイレコール移報音の遅延時間を設定) 00: 0秒 0~60秒 (00~60)
・「登録」で次へ		
907	0	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し (バスコールON時の移報鳴動を行うかを設定) 0: 移報無し 1: 移報有り
・「登録」で次へ		
908	00	バスコールON時の移報遅延時間(0~60秒) (バスコール移報音の遅延時間を設定) 00: 0秒 0~60秒 (00~60)
・「登録」で次へ		
909	2	火災確認時間(共同住宅用自火報の場合)2:2分、2~5:2~5分 「室内親機側の火災警報音が火災感知器が作動しました。確認してください。」から「火事です。火事です。火災が発生しました。」に切替わる時間(確認時間)の設定
・「登録」で次へ		
910	0	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し 防犯発報時に戸外表示付玄関子機への警報を30秒遅らせるかの設定 プログラム番号900が(1)の場合のみ有効 0: 無し(室内と同時) 1: 有り(室内より30秒遅延)
・「登録」で次へ		
911	0	バス、トイレSW対応種別 バスコール、トイレコールに取り付けたスイッチの種別を設定(ロック式の場合はスイッチ連動になります) 0: ノンロック式 1: ロック式
・「登録」で次へ		
912	0	家人呼びSWロック/ノンロック 家人呼びに取り付けたスイッチの種別を設定。 また、ノンロック(1)に設定すると非常に ります。(ロック式の場合はスイッチ連動になります) 0: ロック式 (家人呼び) 1: ノンロック式
・「登録」で次へ		
913	1	外部試験時テレコン移報出力(火災出力)有り/無し 外部試験時にテレコン移報の有無を設定 1: 有り 0: 無し
・「登録」で		
920	0	セキュリティパターン 2 へ

セキュリティ機能付室内親機のセキュリティパターン 2 を設定する場合

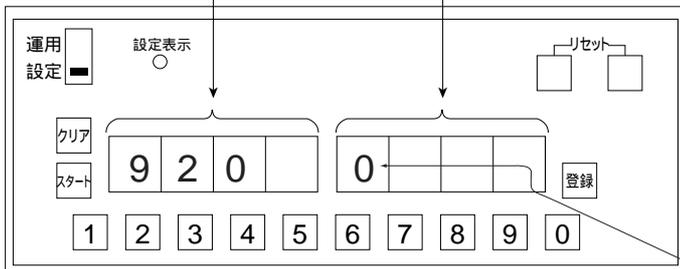
システム上においてセキュリティパターンを2種類設定したい場合は、2つ目のパターンとしてセキュリティパターン 2 を次頁を参照し、プログラムボードにて設定します。

お願い プログラムボードにより該当する住戸番号の次に表示されるセキュリティパターンNo.を1 2に変更すること。(106頁参照)

セキュリティパターンの種類	プログラム番号
セキュリティパターン 1	900 ~ 913
⇒ セキュリティパターン 2	920 ~ 933
セキュリティパターン 3	940 ~ 953
セキュリティパターン 4	960 ~ 973

プログラム番号913の後、920に飛びます(914~919は欠番です)

プログラム番号 **920** 表示内容 (出荷時状態)



セキュリティパターン **2** の場合

・前の「住戸番号の確認」後、プログラムボタン「9」「2」「0」と「登録」を押す

9 2 0	0	920	防犯玄関子機警報の有り/無し 0: 警報無し(出荷時状態) 1: 警報有り
9 2 1	0	921	防犯2のみ警報遅延時間(30秒/60秒)設定 0: 30秒、1: 60秒
9 2 2	0	922	防犯警報30秒自動停止の有り/無し 0: 自動停止無し、1: 自動停止有り (室内親機の防犯警報を30秒後に自動停止を行うかを設定)
9 2 3	0	923	警報30分自動停止の有り/無し (警報音を30分後に自動停止を行うかを設定) 0: 自動停止無し、1: 自動停止有り (ただし火災・ガスもれ・非常は除く)
9 2 4	1	924	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し (住戸の水もれ警報の鳴動を行うかを設定) 0: 鳴動無し、表示無し 1: 鳴動有り、表示有り 2: 鳴動無し、表示有り
9 2 5	0	925	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し (トイレコールON時の移報鳴動を行うかを設定) 0: 移報無し 1: 移報有り
9 2 6	0 0	926	トイレコールON時の移報遅延時間(0~60秒) (トイレコール移報音の遅延時間を設定) 00: 0秒 0~60秒 (00~60)
9 2 7	0	927	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し (バスコールON時の移報鳴動を行うかを設定) 0: 移報無し 1: 移報有り
9 2 8	0 0	928	バスコールON時の移報遅延時間(0~60秒) (バスコール移報音の遅延時間を設定) 00: 0秒 0~60秒 (00~60)
9 2 9	2	929	火災確認時間(共同住宅用自火報の場合)2:2分、2~5:2~5分 「室内親機側の火災警報音が火災感知器が作動しました。確認してください。」から「火事です。火事です。火災が発生しました。」に切替わる時間(確認時間)の設定
9 3 0	0	930	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し 防犯発報時に戸外表示付玄関子機への警報を30秒遅らせるかの設定 プログラム番号920が(1)の場合のみ有効 0: 無し(室内と同時) 1: 有り(室内より30秒遅延)
9 3 1	0	931	バス、トイレSW対応種別 バスコール、トイレコールに取り付けたスイッチの種別を設定(ロック式の場合はスイッチ連動になります) 0: ノンロック式 1: ロック式
9 3 2	0	932	家人呼びSWロック/ノンロック 家人呼びに取り付けたスイッチの種別を設定。 また、ノンロック(1)に設定すると非常に ります。(ロック式の場合はスイッチ連動になります) 0: ロック式(家人呼び) 1: ノンロック式
9 3 3	1	933	外部試験時テレコン移報出力(火災出力)有り/無し 外部試験時にテレコン移報の有無を設定 1: 有り 0: 無し
9 4 0	0	940	セキュリティパターン 3 へ

セキュリティ機能付室内親機のセキュリティパターン 3 を設定する場合

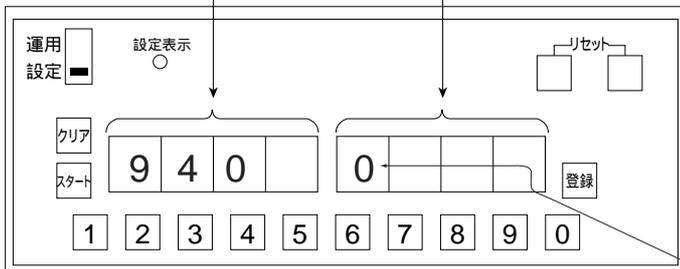
システム上においてセキュリティパターンを3種類設定したい場合は、3つ目のパターンとしてセキュリティパターン 3 を次頁を参照し、プログラムボードにて設定します。

お願い プログラムボードにより該当する住戸番号の次に表示されるセキュリティパターンNo.を1 3に変更すること。(106頁参照)

セキュリティパターンの種類	プログラム番号
セキュリティパターン 1	900 ~ 913
セキュリティパターン 2	920 ~ 933
⇒ セキュリティパターン 3	940 ~ 953
セキュリティパターン 4	960 ~ 973

プログラム番号933の後、940に飛びます(934~939は欠番です)

プログラム番号 **940** 表示内容 (出荷時状態)



セキュリティパターン **3** の場合

・前の「住戸番号の確認」後、プログラムボタン「9」「4」「0」と「登録」を押す

940	防犯玄関子機警報の有り/無し	0: 警報無し(出荷時状態) 1: 警報有り
941	防犯2のみ警報遅延時間 (30秒/60秒) 設定	0: 30秒、1: 60秒
942	防犯警報30秒自動停止の有り/無し	0: 自動停止無し、1: 自動停止有り (室内親機の防犯警報を30秒後に自動停止を行うかを設定)
943	警報30分自動停止の有り/無し	(警報音を30分後に自動停止を行うかを設定) 0: 自動停止無し、1: 自動停止有り (ただし火災・ガスもれ・非常は除く)
944	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し	0: 鳴動無し、表示無し 1: 鳴動有り、表示有り (住戸の水もれ警報の鳴動を行うかを設定) 2: 鳴動無し、表示有り
945	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し	0: 移報無し 1: 移報有り (トイレコールON時の移報鳴動を行うかを設定)
946	トイレコールON時の移報遅延時間 (0~60秒)	00: 0秒 0~60秒 (トイレコール移報音の遅延時間を設定) (00~60)
947	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し	0: 移報無し 1: 移報有り (バスコールON時の移報鳴動を行うかを設定)
948	バスコールON時の移報遅延時間 (0~60秒)	00: 0秒 0~60秒 (バスコール移報音の遅延時間を設定) (00~60)
949	火災確認時間 (共同住宅用自火報の場合) 2:2分、2~5:2~5分	「室内親機側の火災警報音が火災感知器が作動しました。確認してください。」から「火事です。火事です。火災が発生しました。」に切替わる時間(確認時間)の設定
950	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し	0: 無し(室内と同時) 1: 有り(室内より30秒遅延) 防犯発報時に戶外表示付玄関子機への警報を30秒遅らせるかの設定 プログラム番号940が(1)の場合のみ有効
951	バス、トイレSW対応種別	0: ノンロック式 1: ロック式 バスコール、トイレコールに取り付けたスイッチの種別を設定(ロック式の場合はスイッチ連動になります)
952	家人呼びSWロック/ノンロック	0: ロック式 (家人呼び) また、ノンロック(1)に設定すると非常になります。(ロック式の場合はスイッチ連動になります)
953	外部試験時テレコン移報出力(火災出力)有り/無し	1: 有り 0: 無し 外部試験時にテレコン移報の有無を設定
960	セキュリティパターン 4 へ	

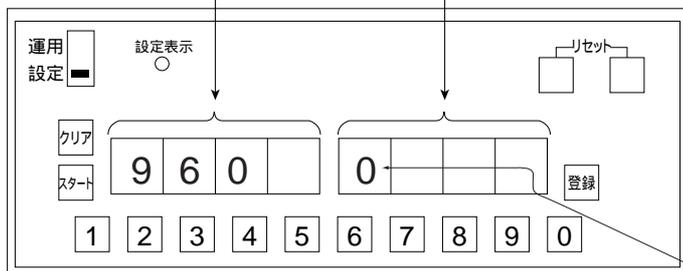
セキュリティ機能付室内親機のセキュリティパターン 4 を設定する場合

システム上においてセキュリティパターンを4種類設定したい場合は、4つ目のパターンとしてセキュリティパターン 4 を次頁を参照し、プログラムボードにて設定します。

お願い プログラムボードにより該当する住戸番号の次に表示されるセキュリティパターンNo.を1 4に変更すること。(106頁参照)

セキュリティパターンの種類	プログラム番号	
セキュリティパターン 1	900 ~ 913	プログラム番号953の後、960に飛びます(954 ~ 959は欠番です)
セキュリティパターン 2	920 ~ 933	
セキュリティパターン 3	940 ~ 953	プログラム番号973の後、1000に飛びます(974 ~ 999は欠番です)
⇒ セキュリティパターン 4	960 ~ 973	

プログラム番号 **960** 表示内容 (出荷時状態)

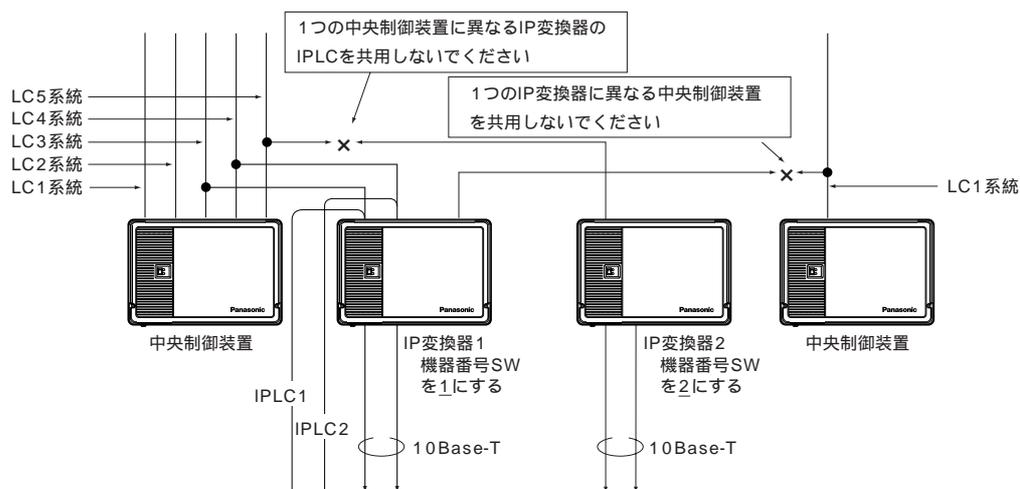


セキュリティパターン **4** の場合

・前の「住戸番号の確認」後、プログラムボタン「9」「6」「0」と「登録」を押す

960	防犯玄関子機警報の有り/無し	0: 警報無し(出荷時状態) 1: 警報有り
961	防犯2のみ警報遅延時間 (30秒/60秒) 設定	0: 30秒、1: 60秒
962	防犯警報30秒自動停止の有り/無し	0: 自動停止無し、1: 自動停止有り (室内親機の防犯警報を30秒後に自動停止を行うかを設定)
963	警報30分自動停止の有り/無し	(警報音を30分後に自動停止を行うかを設定) 0: 自動停止無し、1: 自動停止有り (ただし火災・ガスもれ・非常は除く)
964	水漏れ住戸内鳴動の有り/無し	0: 鳴動無し、表示無し 1: 鳴動有り、表示有り (住戸の水もれ警報の鳴動を行うかを設定) 2: 鳴動無し、表示有り
965	トイレコールON時の玄関子機移報有り/無し	(トイレコールON時の移報鳴動を行うかを設定) 0: 移報無し 1: 移報有り
966	トイレコールON時の移報遅延時間 (0~60秒)	00: 0秒 0~60秒 (トイレコール移報音の遅延時間を設定) (00~60)
967	バスコールON時の玄関子機移報有り/無し	(バスコールON時の移報鳴動を行うかを設定) 0: 移報無し 1: 移報有り
968	バスコールON時の移報遅延時間 (0~60秒)	00: 0秒 0~60秒 (バスコール移報音の遅延時間を設定) (00~60)
969	火災確認時間 (共同住宅用自火報の場合) 2:2分、2~5:2~5分	「室内親機側の火災警報音が火災感知器が作動しました。確認してください。」から「火事です。火事です。火災が発生しました。」に切替わる時間(確認時間)の設定
970	防犯玄関子機30秒移報遅延有り/無し	防犯発報時に戸外表示付玄関子機への警報を30秒遅らせるかの設定 プログラム番号960が(1)の場合のみ有効 0: 無し(室内と同時) 1: 有り(室内より30秒遅延)
971	バス、トイレSW対応種別	バスコール、トイレコールに取り付けたスイッチの種別を設定(ロック式の場合はスイッチ連動になります) 0: ノンロック式 1: ロック式
972	家人呼びSWロック/ノンロック	家人呼びに取り付けたスイッチの種別を設定。 また、ノンロック(1)に設定すると非常になります。(ロック式の場合はスイッチ連動になります) 0: ロック式 (家人呼び) 1: ノンロック式
973	外部試験時テレコン移報出力(火災出力)有り/無し	外部試験時にテレコン移報の有無を設定 1: 有り 0: 無し
1000	1	プログラム番号 1000 となります。

IPLC1 ~ 8の接続系統番号設定 (プログラム番号 1000⁻¹ ~ 1000⁻⁸)



プログラム表

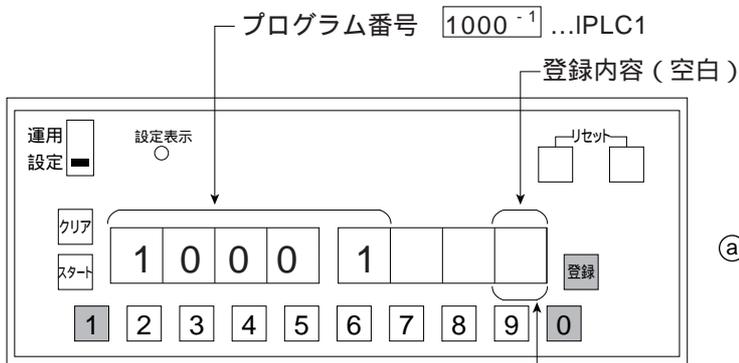
プログラム番号	対 象	確認			
		初期値	接続する系統番号を記入する 1桁 (1~8)	チェック欄	
1000	1	IPLC ₁ 設定用	空白	3	
	2	IPLC ₂ 設定用	空白	4	
	3	IPLC ₃ 設定用	空白		
	4	IPLC ₄ 設定用	空白		
	5	IPLC ₅ 設定用	空白		
	6	IPLC ₆ 設定用	空白		
	7	IPLC ₇ 設定用	空白		
	8	IPLC ₈ 設定用	空白		

1桁

1~8: 接続系統番号

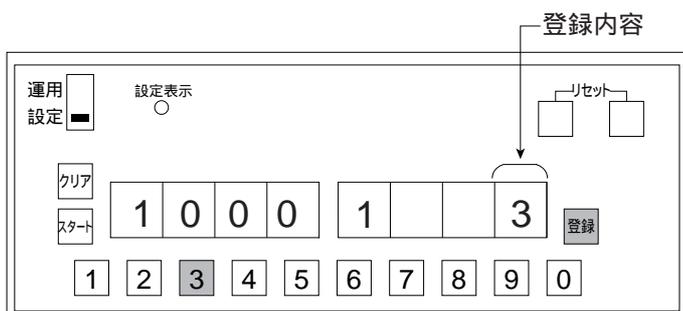
空白: 未接続

プログラム表の頁の (注1~4) を参照願います。

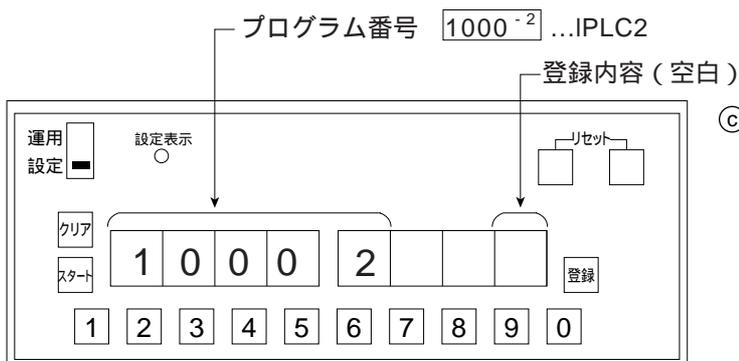


- ①
- ・前の「セキュリティパターン」4 (プログラム番号「973」)後、または
 - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1” “0” “0” “0” “登録”を順に押す。

1~8：接続系統番号
空白：未接続



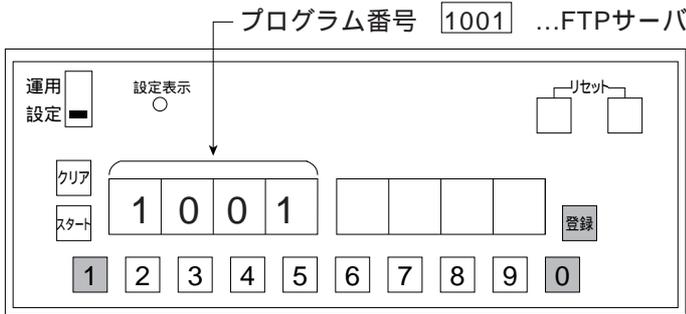
- ② IPLC1が接続されている系統番号1桁(1~8)をプログラムボタン「1~8」で登録します。



- ③ “登録”を押すと1000-2が表示されます。

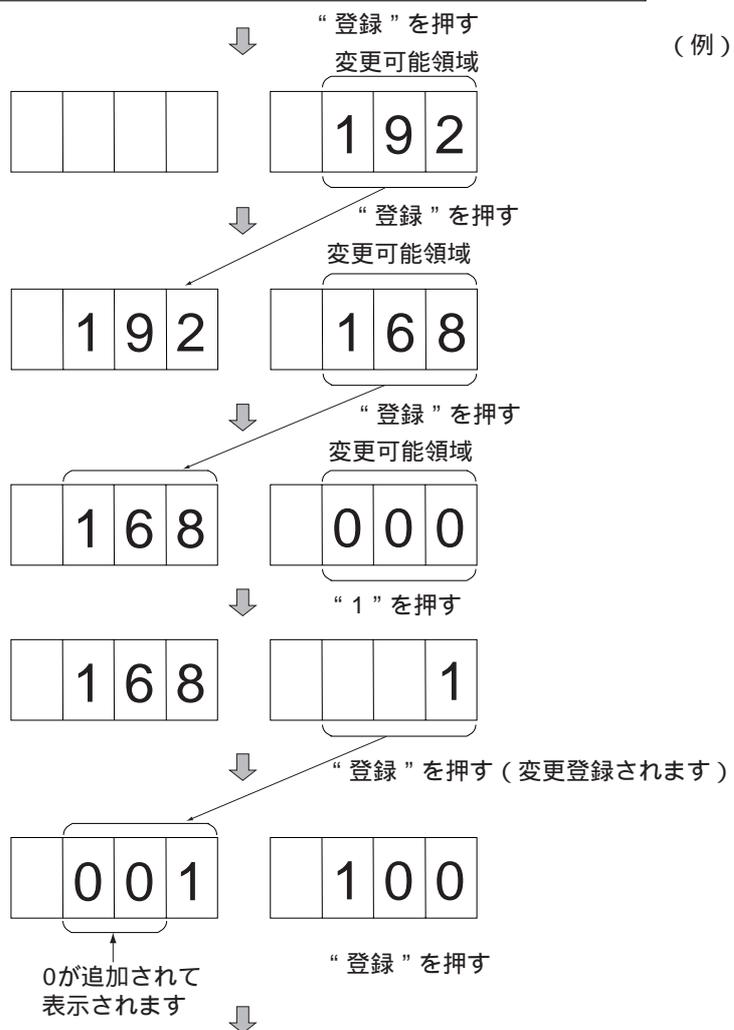
以下プログラム番号「1000-8」まで繰り返します。
プログラム番号「1000-8」の次はプログラム番号「1001」となります。

FTPサーバーのIPアドレス、デフォルトゲートウェイのIPアドレス、サブネットマスク設定 (プログラム番号 1001 ~ 1003)

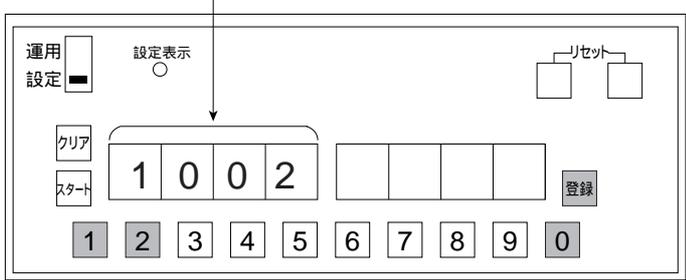


- ・前の「IPLC8の接続系統番号設定」後、または
- ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1” “0” “0” “1” “登録”を順に押す。

(例) 192.168.0.100 192.168.1.100に変更



プログラム番号 1002 ...デフォルトゲートウェイのIPアドレス



- ・デフォルトゲートウェイのIPアドレス設定 (プログラム番号 1002)が表示されます。
- または
- ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1” “0” “0” “2” “登録”を順に押す。

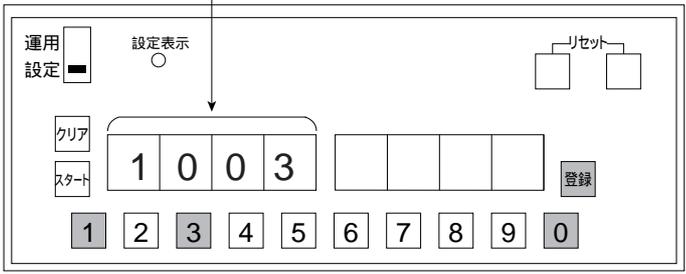
↓
次のページへ

↓ “登録” を押す

プログラム番号 **1001** と
同様の操作方法です。

↓ “登録” を押す

プログラム番号 **1003** ...サブネットマスク

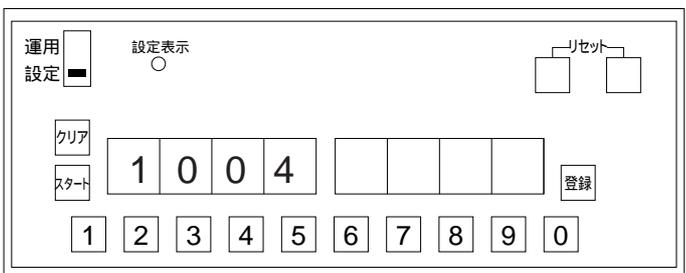


- ・サブネットマスク設定（プログラム番号 **1003**）が表示されます。
- または
- ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタン“1” “0” “0” “3” “登録”を順に押す。

↓ “登録” を押す

プログラム番号 **1001** と
同様の操作方法です。

↓ “登録” を押す



- ・ログインアカウント設定（プログラム番号 **1004**）が表示されます。

ログインアカウント、ログインパスワード設定(プログラム番号 1004、1005)

プログラム番号 1004 ...ログインアカウント

The screen displays the program number '1004' in the main display area. Below it, there are four input fields for the login account, with the first two containing '1' and '0'. A numeric keypad is visible at the bottom with buttons 1-0. A '登録' (Register) button is on the right. At the top, there are controls for '運用設定' (Operation Setting), '設定表示' (Setting Display), and 'リセット' (Reset).

- ・前の「サブネットマスク設定」後、または
- ・プログラムボタン“1” “0” “0” “4” “登録”を順に押す。

↓ “登録”を押す
登録内容

The screen shows the entered login account '12345678' in the main display area. The first four digits '1234' are in the first two input fields, and the last four digits '5678' are in the next two input fields.

(例) 「12345678」 「01234」に変更

↓ プログラムボタン
“0” “1” “2” “3” “4”を順に押す。

The screen shows the entered program number '01234' in the main display area. The first digit '0' is in the first input field, and the next four digits '1234' are in the following input fields.

↓ “登録”を押す (「01234」の5桁が変更登録されます)

プログラム番号 1005 ...ログインパスワード

The screen displays the program number '1005' in the main display area. Below it, there are four input fields for the login password, with the first two containing '1' and '0', and the last two containing '0' and '5'. A numeric keypad is visible at the bottom with buttons 1-0. A '登録' (Register) button is on the right. At the top, there are controls for '運用設定' (Operation Setting), '設定表示' (Setting Display), and 'リセット' (Reset).

- ・ログインパスワード設定 (プログラム番号 1005)が表示されます。
- または
- ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1” “0” “0” “5” “登録”を順に押す。

↓ “登録”を押す

プログラム番号 1004 と同様の操作方法です。

↓ “登録”を押す

The screen displays the program number '02' in the main display area. Below it, there are four input fields for the login password, with the first two containing '0' and '2', and the last two containing '0' and blank space. A numeric keypad is visible at the bottom with buttons 1-0. A '登録' (Register) button is on the right. At the top, there are controls for '運用設定' (Operation Setting), '設定表示' (Setting Display), and 'リセット' (Reset).

- ・プログラム番号 02 に戻ります。

プログラム番号	設定内容		初期値	備考
57	1	共同玄関7の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定	同上 備考) 住戸用、業務用はプログラム番号 40で指定する
	2	" 2	【空白】未設定	
58	1	共同玄関8の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定	
	2	" 2	【空白】未設定	
60	年月日設定		【010101】01年1月1日	【YYMMDD】YY年MM月DD日
61	時分秒設定		【000000】0時0分0秒	【HHMMSS】HH時MM分SS秒
64	共用部通話最大接続時間		【03】3分	【01～10】分単位
65	住戸間通話最大接続時間		【01】1分	【01～10】分単位
68	報知音鳴動時間帯		【0700-1900】 7時0分-19時0分	【0000～2359】-[0000～2359]鳴動時間帯 【空白】鳴動無し
71	共同玄関1の電気錠解錠時間		【15】15秒	【01～60】秒単位
72	" 2	"	【15】15秒	
73	" 3	"	【15】15秒	
74	" 4	"	【15】15秒	
75	" 5	"	【15】15秒	
76	" 6	"	【15】15秒	
77	" 7	"	【15】15秒	
78	" 8	"	【15】15秒	

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ & セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地 ☎(045)932-1231 (大代表)

AA0801-0

C8QA5787AN